

平成30年度
広島県立美術館年報

平成30年度
広島県立美術館年報



目 次

I	沿革	2
II	展覧会	
	展覧会一覧	5
	特別展	
	1 ポストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち	6
	2 ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～	10
	3 ブリュエゲル展 画家一族 150年の系譜	14
	4 サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法	18
	5 第65回日本伝統工芸展広島展	22
	所蔵作品展	27
III	普及活動	
	1 第6回新県美展（第70回広島県美術展）	40
	2 第7回広島県ジュニア美術展	41
	3 博物館実習	43
	4 学校・地域との連携事業 「美術作品鑑賞教室・出張講座」	44
	5 新規作成ワークシート・所蔵作品ミニガイド	46
	6 学校等による利用状況	47
	7 県民ギャラリー利用状況	51
	8 友の会事業報告	54
IV	事業実施状況	57
V	業務一覧	62
VI	入館者数一覧	72
VII	美術品等収集状況	74
VIII	美術品等の貸出し	80
IX	関係法規	83
X	名簿	94

I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる	昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行(昭和52年広島県教育委員会規則第2号)
昭和38年 4月	調査費計上	昭和53年 10月	開館10周年記念展開催
昭和39年 4月	設計委託料計上	昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
10月	建設促進委員会開催	12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和40年 4月	整地費など計上	昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定	4月	定宗一宏館長(非常勤)任命
12月	建設募金委員会発足	10月	広島県立美術館条例一部改正(昭和55年広島県条例第19号)施設使用料
昭和42年 1月	起工式挙行	昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和55年広島県教育委員会規則第10号)
昭和43年 3月	旧館竣工	4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年広島県教育委員会規則第5号)課の名称変更・入館料の免除
4月	広島県立美術館条例施行(昭和43年広島県条例第20号)	10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年広島県条例第5号 基金額1億円)
	広島県立美術館管理運営規則施行(昭和43年広島県教育委員会規則第1号)	昭和57年 3月	定宗館長辞職
	加藤豊館長(常勤)任命	4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和57年広島県条例第10号)入館料・施設使用料
6月	広島県立美術館協議会条例施行(昭和43年広島県条例第38号)	9月	縮景園窓口入園窓口を設置
7月	広島県立美術館協力を結成	昭和60年 3月	阿川館長辞職
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和43年広島県教育委員会規則第13号)分掌事務	4月	赤木博典館長(常勤)任命
21日	落成式挙行	昭和61年 10月	事務局職員による県立美術館整備計画検討会議を設置
22日	旧館開館	昭和62年 2月	渋谷文庫開設
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定	3月	県立美術館整備計画検討会議、整備構想案をまとめる
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定		赤木館長辞職
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和44年広島県教育委員会規則第2号)	4月	吉岡典威館長(兼務)任命
	職員の職・職員の職務	11月	県教育委員会、広島県立美術館整備構想検討委員会を設置、委員8名を委嘱
	館藏品常設展開設	昭和63年 4月	菅川健二館長(兼務)任命
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命		広島県立美術館条例一部改正(昭和63年広島県条例第7号)入館料・施設使用料
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足		広島県立美術館美術品等取得基金、1億円を増額(基金額2億円)
5月	浜本正弘館長事務取扱任命	11月	広島県立美術館整備構想検討委員会、整備構想をまとめ県教育委員会に答申
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命	平成元年 3月	さところ文庫開設
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和47年広島県教育委員会規則第11号)職員の職	5月	広島県立美術館整備基本計画検討委員会を設置、委員18名を委嘱(座長 橋口収県商工会議所連合会会長)
	羽白幸雄館長(非常勤)任命	7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を設置、委員6名を委嘱
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊	平成2年 3月	「広島県立美術館所蔵作品図録」発刊
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正(昭和48年広島県条例第30号)	4月	広島県立美術館美術品など取得基金、5億円を増額(基金額7億円)
	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年広島県教育委員会規則第14号)補助職員の職及び職務		
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年広島県教育委員会規則第19号)職員の職等		
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和49年広島県教育委員会規則第4号)その他の職員の職		
昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和50年広島県条例第25号)施設使用料		
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和51年広島県条例第9号)入館料		

12月	知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁	平成12年 2月 1日	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正
平成3年 2月	知事、県議会本会議において「基金設計に着手する」ことを提案	平成13年 3月26日	広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止
3月	県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)を可決	29日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免
4月	広島県立美術館整備基本計画をまとめる 美術品等特別収集に着手 広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)	7月10日	常盤豊館長(兼務)就任
平成4年 7月	施設利用業務休止。館蔵品常設展示室休室	10月22日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免
9月	閉館記念式典挙行	12月20日	平山郁夫名誉館長辞任
10月	事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする 旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)	平成14年 3月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化
平成5年 3月	解体工事、整地完了 新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手	4月 1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更
4月	久保信保館長(兼務)任命	平成16年 7月 1日	関靖直館長(兼務)就任
12月	寺協研館長(兼務)任命 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)	平成17年12月20日	広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号)展示施設等の利用許可の条件、取消し等及び制限 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正
平成6年 5月	事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2幟会館(2階)に移転 広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)	平成19年 4月 1日	榎田好一館長(兼務)就任
平成7年 4月	常廣泰登館長(専任)任命 広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)	6月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正
12月	新館竣工 新館鍵引渡し式を挙行	12月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正
平成8年 1月	事務所を新館に移転	平成20年 4月 1日	指定管理者制度導入
4月 1日	木曾功館長(兼務)就任	平成21年 4月 1日	所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行 広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号) 広島県美術展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号)
7月 1日	平山郁夫名誉館長就任		藤田雄山館長(兼務)就任
5日	広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料	平成21年12月 1日	平田光章館長(兼務)就任
22日	広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料	平成22年 4月 1日	抹香尊文館長(兼務)就任
10月 1日	「広島県立美術館コレクション選」発刊	6月 1日	広島県美術品等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)
5日	新館開館記念式挙行	6月28日	広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤廃に伴う改正
6日	新館開館 広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額50億円)	平成23年 4月 1日	越智裕二郎館長就任
平成9年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料	6月29日	広島県立美術館評価委員会設置
4月 1日	広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定	7月11日	広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、入館料の納付等および減免、利用料金の納付等・減免及び収入
平成10年 3月24日	広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付 広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)	平成24年 4月 1日	広島県立美術館の入特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成24 広島県規則第38号)
7月 1日	辰野裕一館長(兼務)就任		

平成25年 2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用申込期間の変更	平成28年 3月22日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第7号)入館料・利用料金の減免、所蔵作品展の利用料金の範囲
3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成25年 広島県規則第13号) 広島県立美術館条例一部改正に伴う改正	10月12日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広島県条例第47号)指定管理による管理、入館料の納付等、利用料金の納付等、入館料の減免、利用料金の減免、利用料金の収入
平成26年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県条例第17号、第23号)入館料・施設使用料及び開館時間	平成29年 3月23日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成29年 教育委員会規則第1号)利用料金の減免、利用料金の減免の申請
平成27年 3月16日	広島県立美術館条例一部改正(平成27年 広島県条例第3号)展示施設等の利用料金の減免	平成29年 4月 1日	広島県立美術館の入館料に関する規則一部改正(平成29年 広島県規則第16号)入館料の免除
4月 1日	千足伸行館長就任		

Ⅱ 展覧会

展覧会一覧

特別展

No.	展 覧 会 名	会 期
1	ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち	平成30年 4月11日(水)～6月10日(日)
2	ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～	平成30年 7月21日(土)～9月24日(月・振)
3	ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜	平成30年10月 8日(月・祝)～12月16日(日)
4	サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法	平成31年 1月 5日(土)～2月11日(月・祝)
5	第65回日本伝統工芸展広島展	平成31年 2月21日(木)～3月10日(日)

所蔵作品展

	展 覧 会 名	会 期
第1期	彫刻展示スペース	平成30年 4月18日(水)～7月 1日(日)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	
第2期	彫刻展示スペース	平成30年 7月 4日(水)～9月 9日(日)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	
第3期	彫刻展示スペース	平成30年 9月12日(水)～12月24日(月・振)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	
第4期	彫刻展示スペース	平成31年 1月 2日(水)～4月14日(日)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	

1 ポストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち

- 会 期／平成30(2018)年4月11日(土)～6月10日(日)
主 催／広島県立美術館、ポストン美術館、広島ホームテレビ、
イズミテクノ、中国新聞社
後 援／アメリカ大使館、中国放送、広島テレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz
協 賛／大日本印刷、広島県信用組合
協 力／日本航空、日本貨物航空、広島県理容美容専門学校
企画協力／NHKプロモーション
入 館 料／一 般 1,400(1,200)円
高・大学生 900(700)円
小・中学生 600(400)円
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／20,754人(61日間)



パリという魅力あふれる都市に生きる女性、パリジェンヌ。彼女たちは時代の変化とともに様々な表情を見せてきた。知的な会話を楽しむサロンの主宰者、子を慈しむ美しい母、流行を生み出すファッションista、画家のミューズ、そして自ら道を切り開き才能を開花させた画家や女優—本展覧会では、マネの《街の歌い手》をはじめ、ドガやルノワールなど印象派の巨匠が描いた女性の肖像、カサットやモリゾなど女性芸術家による傑作、カルダンやバレンシアガの斬新なドレスからブリジット・バルドーほか映画や舞台で活躍した女優のポートレートまで、ポストン美術館の所蔵品約120点を展示。また、多岐に亘る講演会やイベントを会期前・会期中に実施し、18世紀から20世紀のパリを体現してきた女性たちの有り様を多角的に辿った。(本展担当者：山下 寿水)

関連事業

(1) プレ講演会

A 「ベルト・モリゾと近代都市パリ」

日 時：2月25日(日) 13:30～15:00

講 師：坂上 桂子(早稲田大学文学学術院教授)

会 場：地階講堂

参加者：82人

B 「ヨーロッパのメイクアップ&ヘアモード200年」

日 時：3月10日(土) 10:30～12:00

講 師：津田 紀代(文化学園大学非常勤講師／元ポーラ文化研究所主任学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：52人

C 「映像で見るパリジェンヌのファッション史—ウォルトからサン・ローランまで—」

日 時：3月10日(土) 13:30～15:00



講師：浜田 久仁雄(神戸ファッション美術館首席学芸員)

会場：地階講堂

参加者：75人

(2) 記念講演会

「劇場の女性たち—印象派絵画を中心に」(広島県立美術館友の会共催)

日時：4月21日(土) 13:30~15:00

講師：喜多崎 親(成城大学教授)

会場：地階講堂

参加者：106人



(3) 美術講座

「パリジェンヌ展補遺：狂乱の時代—20年代のパリ」

日時：5月27日(日) 13:30~15:00

講師：山下 寿水(当館学芸員)

会場：地階講堂

参加者：36人

(4) ギャラリートーク

日時：4月20日(金)、27日(金)、5月11日(金)、18日(金)各日11:00~、18:00~
6月1日(金)、8日(金)各日11:00~

講師：山下 寿水(当館学芸員)

会場：3階企画展示室

参加者：計271人



(5) ウェブレポーター大募集

日時：4月13日(金) 17:00~19:30

会場：3階企画展示室

参加者：11人

(6) 写真撮影コーナー「あなたもパリジェンヌ」

日時：4月11日(水)~6月10日(日)開館時間内

協力：石田あさきトータルファッション専門学校

会場：3階ロビー

(7) パリジェンヌ気分でヘアメイク体験

日時：5月19日(土) 13:00~15:00

会場：3階ロビー

参加者：70人



(8) ロビーコンサート

A 「春に寄せて」

日時：4月1日(日) 15:00~

演奏：藤井 美雪(メゾソプラノ)、平野 満(ピアノ)

会場：1階ロビー

参加者：220人

B 「パリの空の下で」

日時：5月12日(土) 12:00~

演奏：野口 美紀、羽原 里美(アコーディオン)

会 場：1階ロビー

参加者：230人

(9) パリジェンヌ マルシェ

日 時：5月12日(土) 10:00~17:00

6店舗が参加し、パリを想起させるマルシェを開催した。

会 場：美術館エントランス

来場者：600人

主要関連番組

(1) テレビ

広島ホームテレビ

ニュース(プレ講演会告知2月16日)、ニュース(プレ講演会告知3月2日)、『ココ!ブランニュー』(招待4月8日)、ニュース(展覧会開幕4月11日)、『5up』(担当者出演4月11日、マルシェ告知5月11日、6月8日)、『情報ランド』(5月1日、25日、30日、31日)、ニュース(1万人セレモニー5月10日)

NHK

ニュース(展覧会開幕4月12日)

(2) ラジオ

エフエムふくやま 「GO!GO!Bびんご~」(担当者出演3月31日)

エフエムはつかいち 「いきいきFactory」(担当者出演4月12日)

エフエムおのみち 「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(担当者出演4月26日)

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞	2月11日	社会面	社告
	2月20日	SELECT芸能	「ボストン美術館 パリジェンヌ展」
	4月7日	特集紙面	
	4月12日	開幕記事	
	4月13日	PR面	展覧会情報
	4月15日	ミュージアム	であいましょう
	5月1日	文化面	山下学芸員寄稿
	5月1日	社会面	1万人セレモニー
	5月4日	PR面	魅惑の逸品
	5月10日	情報交差点	パリジェンヌマルシェ
	5月23日	文化面	連載①魅惑のドレス
	5月24日	文化面	連載②魅惑のドレス
	5月25日	文化面	連載③魅惑のドレス
	6月1日	PR面	ドレス試着写真スポット

朝日新聞 3月6日 広告

産経新聞 4月13日 開幕記事

(2) 雑誌等

『フルハップ』(春号)、『ぴあ』(4月号)、『春ぴあ』(2月14日号)、『旨い広島宮島』(春号)、『Wink』



(4月号)、『Cue』(3月9日号)、『Cue備後』(3月16日号)、『JAF』(4月号)、『to you』(4月号)、『月刊ミュウミュウ』(3月29日号)、『TJ Hiroshima』(4月号)、『プレスネット』(3月15日号)、『ウェンディ広島』(4月号・5月号)、『リビング広島』(4月28日号)、『リビング岡山』(4月14日号)、『リビング福山』(3月17日号)、『アートコレクターズ』(2月号)、『ホットペッパー』(5月号)、『くれえばん』(4月号)、『山口県タウン情報トライアングル』(4月号)、『ワーキン』(4月号)、『あさみん』(4月号)、『マツダ労働組合月刊』(4月号)、『広島県職員退職者連合 ふれあい』(4月号)、『県医師会速報』(5月5日号)、『広島経済レポート』(5月号)

(3) WEB・SNSほか

『ぴあポイントサイト』(12月22日～)、『インターネットミュージアム』(2月14日～)、『まいぶれ』(2月19日～)、『チラシミュージアム』(2月19日～)、『ミニナルアート』(3月7日～)、『アートナビ』(3月7日～)、『アートアジェンダ』(3月8日～)、『エソールほっと通信』(3月9日～)、『ホルベインアーチストナビ』(3月10日～)、『ひろたび』(3月16日～)、『Walker Plus』(3月22日～)、『マイフェバ』(3月29日～)、『ブンカッキーひろしま』(4月3日～)、『広島県中小企業共済協同組合HP』(4月20日～)、『ウォーカープラス』(5月～)、『食ベタインジャー』(5月～)、『WINK FB』(5月～)、『TJ Hiroshima FB』(5月～)、『朝日新聞デジタル』(5月～)、『Yahooロコ!』(5月～)、『日本旅行』(5月～)、『広島経済新聞』(5月～)

カタログ内容

地図

年表

はじめに

1章 パリという舞台—邸宅と劇場にみる18世紀のエレガンス

2章 日々の生活—家庭と仕事、女性の役割

3章 「パリジェンヌ」の確立—憧れのスタイル

4章 芸術をとりまく環境—制作者、モデル、ミュージズ

5章 モダン・シーン—舞台、街角、スタジオ

作家解説

出品リスト

参考文献

展覧会巡回先

名古屋ボストン美術館 平成29(2017)年6月10日(土)～10月15日(日)

世田谷美術館 平成30(2018)年1月13日(土)～4月1日(日)

2 ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～

会 期／平成30(2018)年7月21日(土)～9月24日(月・振)
主 催／広島県立美術館、広島テレビ、中国新聞社、イズミテクノ
協 賛／大田鋼管、広島県信用組合
展示協賛／ア・ファクトリー
企画制作協力／スタジオジブリ
入 館 料／一 般 1,400(1,200)円
 高・大学生 1,000(800)円
 小・中学生 600(400)円
 ※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／295,689人(66日間)



1985年に設立された日本を代表するアニメーション会社であるスタジオジブリ。「風の谷のナウシカ」(1984年／制作会社トップクラフト)から「思い出のマーニー」(2014年)まで、約30年の歩みを、主として宣伝手法に注目して振り返る展覧会。会場には、当時を振り返るポスターやチラシといった広告宣伝物や、鈴木敏夫氏による宣伝計画に関する資料、企画書など未公開資料を含む資料類が数千点展示された。また、資料類の他、「となりのトトロ」(1988年)に登場するトトロの巨大なぬいぐるみや、実際に乗ることが出来るネコバス、また「空飛ぶ機械達」をテーマにした展示では、「天空の城ラピュタ」(1986年)に関する巨大な飛行艇の模型が来場者の人気を集めた。

人気アニメの展覧会であることから注目度が高く、子どもから大人まで、多くの来場者を得、当館の歴代特別展の入場者数の記録を打ち立てた。

なお、本展は全国巡回の展覧会で、2019年夏時点で累計200万人を超える驚異的な展覧会であるにも関わらず、美術関係者および関係メディアでは全く話題になっていない。ジブリ展のような娯楽性の高い展覧会に依存する地方美術館の運営状態に対し、正確な現状把握がもとめられよう。

(本展担当者：神内 有理)

関連事業

- (1) スペシャルトーク
日 時：7月21日(土) 11:00～12:30
講 師：青木 貴之(スタジオジブリ本展プロデューサー)
 石森 達也(本展デザイナー)
 堀尾 寛太(アーティスト・エンジニア)
演 題：「ジブリの大博覧会」ができるまで
会 場：地階講堂
参加者：149人
- (2) 「天空の城ラピュタ」上映会
日 時：9月8日(土) 9:30～11:35
会 場：地階講堂
参加者：147人(事前申込制)



(3) ロビーコンサート

日 時：7月30日(月) 12:00～

演 奏：石原有希子&広島ジュニアマリンバアンサンブル

会 場：1階ロビー

参加者：280人

主要関連番組

(1) テレビ

広島テレビ 『テレビ派』生中継(7月20日)、『ジブリの大博覧会がやってくる』(8月19日)、

『テレビ派 今イコ!』(8月27日)

NHK総合 『ジブリのうた』(8月9日)、ニュース(8月27日)

(2) ラジオ

エフエム東広島 「映画マルシェ」(7月4日)

エフエムはつかいち (8月7日)

エフエムおのみち 「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(担当者出演8月7日)

山陰放送ラジオ (8月30日)

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 4月1日 社告

4月6日 最速先行チケット販売中

5月18日 あす前売り券発売

6月15日 子ども記者募集

6月20日 チケットプレゼント

6月26日 内覧会募集

6月29日 内覧会募集

7月3日 ニュースの窓

7月19日 トークイベント告知

7月20日 ジブリの大博覧会

7月21日 きょう開幕

7月22日 ジブリ展開幕

7月27日 ジブリの世界へようこそ① ロビーコンサート

7月28日 ロビーコンサート

7月31日 連載①「歩こう」 飛行船

8月1日 連載②「歩こう」 ネコバス

8月2日 連載③「歩こう」 風車

8月3日 ジブリ展大人にも発見

8月3日 ジブリの世界へようこそ② ポニョステッカー

8月8日 ジブリのうた(NHK)放送

8月10日 ジブリの世界へようこそ③ 事前チケット購入のすすめ

8月16日 「天空の城ラピュタ」上映会募集

8月17日 ジブリの世界へようこそ④ スタジオジブリを再現

8月18日 ミニ情報 テレビで紹介
 8月23日 北斎とジブリ
 8月24日 ジブリの世界へようこそ⑤ 上映会募集
 8月28日 寄稿「ジブリの大博覧会」に寄せて
 8月31日 ジブリの世界へようこそ⑥ 映画の宣伝物
 9月5日 連載④「見つけた！」 ドールハウス
 9月6日 連載④「見つけた！」 まっくろくろすけ
 9月7日 連載⑤「見つけた！」 光る文字盤
 9月11日 ジブリ展20万人超え
 9月14日 ジブリの世界へようこそ⑦ 夜の飛行船
 9月14日 グッズ代金過大徴収
 9月26日 ジブリ展閉幕 29万人

読売新聞 9月5日 ひろしま県民情報

(2) 雑誌等

『ウェンディ』（7月号・8月号）、『ママンペール』（7月5日号）、『ぐらんぷあーま』（7月号）、『FunFunFun』（8月号）、『to you』（7月号）、『つくりびと』（7月号）、『リビングひろしま』（8月号）、『広島県医師会速報誌』（8月15日号）、『くれえばん』（9月号）、『マツダ労働組合 月刊誌』（9月号）、『えんじいな』（9月7日号）、『広島県民だより』（7月号）、『公立学校共済組合広島支部 福利ひろしま』（6月号）、『Cue 巻頭特集』（8月4日号）、『中国新聞 子ども新聞』（8月19日号）

(3) WEB・SNSほか

『アートアジェンダ』（5月30日～）、『広島経済新聞』（6月～）、『まいぶれ』（5月30日～）、『ミニナルアート』（6月6日～）、『ひろたび』（6月～）、『食べタインジャー』（6月12日～）、『Walkerplus』（7月3日～）、『JAF』（6月25日～）、『シネフィル』（8月1日～）、『ぴあ』（7月31日～）、『美術手帖(ウェブ版)』（7月19日～）、『広島県中小企業共済協同組合』（8月2日～）、『広島県 広報課ブログ』（8月下旬～）、『広島県民サイト わしら』（8月～）

カタログ内容

鈴木敏夫ロングインタビュー「宣伝に興味のなかった僕が、映画の宣伝をしながら考えてきたこと」
 24作品（『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『火垂るの墓』『魔女の宅急便』『おもひでぽろぽろ』『紅の豚』『海がきこえる』『平成狸合戦ぽんぽこ』『耳をすませば』『On Your Mark』『もののけ姫』『ホーホケキョとなりの山田くん』『千と千尋の神隠し』『猫の恩返し』『ギブリーズepisode 2』『ハウルの動く城』『ゲド戦記』『崖の上のポニョ』『借りぐらしのアリエッティ』『コクリコ坂から』『風立ちぬ』『かぐや姫の物語』『思い出のマーニー』）の資料類図版

展覧会巡回先

愛・地球博記念公園	平成27(2015)年9月12日(土)～11月8日(日)
新潟県立近代美術館	平成28(2016)年3月5日(土)～5月15日(日)
六本木ヒルズ展望台東京シティビュー	平成28(2016)年7月7日(木)～9月11日(日)
長崎歴史文化博物館	平成29(2017)年4月15日(土)～6月25日(日)
大分県立美術館	平成29(2017)年7月7日(金)～9月3日(日)
世宗文化会館(ソウル(韓国))	平成29(2017)年12月5日(火)～平成30(2018)年3月2日(金)
兵庫県立美術館	平成30(2018)年4月7日(土)～7月1日(日)

富山市ガラス美術館
福岡市博物館
沖縄県立博物館・美術館

平成30(2018)年12月8日(土)～平成31(2019)年2月24日(日)
平成31(2019)年3月15日(金)～令和元(2019)年6月23日(日)
令和元(2019)年7月13日(土)～9月8日(日)



3 広島県立美術館開館50周年記念 ブリュエーゲル展 画家一族150年の系譜

会 期／平成30(2018)年10月8日(月・祝)～12月16日(日)
主 催／広島県立美術館、広島テレビ、イズミテクノ
後 援／中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7 MHz

協 賛／光村印刷

広島展協賛／大和証券、大田鋼管、広島県信用組合

協 力／日本通運

企画協力／NTVヨーロッパ

特別協力／ARTHEMISIA

入 館 料／一 般 1,500(1,300)円

高・大学生 1,000(800)円

小・中学生 600(400)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数 22,266人(70日間)



ピーテル・ブリュエーゲル1世は、聖書の世界や農民の生活などを描いた作品で知られる、16世紀フランドル(現在のベルギーにあたる地域)を代表する画家である。その類まれなる才能は子孫にも受け継がれ、4世代およそ150年にわたって、優れた画家を輩出し続けた。

本展では、貴重なプライベート・コレクションを中心に、ブリュエーゲル一族の画業の特色を伝える約100点を展示。一族や同時代のフランドルの画家たちが手がけた風景画、風俗画、花の静物画など、大半が日本初公開となる作品により、16、17世紀のヨーロッパ絵画史を彩った、画家一族の芸術の多彩な魅力を紹介した。
(本展担当者：藤崎 綾)

関連事業

(1) 講演会

①日 時：10月8日(月・祝) 14：30～16：00

講 師：千足 伸行(当館館長/成城大学名誉教授)

演 題：「農民のブリュエーゲルから花のブリュエーゲルへ—華麗なる画家一族」

会 場：地階講堂

参加者：138名

②(広島県立美術館友の会共催)

日 時：10月20日(土) 13：30～15：00

講 師：高城 靖之(東京都美術館学芸員)

演 題：「ブリュエーゲル一族の系譜と
作品制作をめぐる状況」

会 場：地階講堂

参加者：131名



(2) ギャラリートーク

日 時：10月12日(金)、26日(金)、11月9日(金)、12月7日(金)各日11：00～
11月23日(金)、12月7日(金)各日17：00～

講 師：藤崎 綾(当館主任学芸員)

会 場：3階企画展示室

参加者：計185人

(3) ウェブレポーター大募集

日 時：10月12日(金) 17：00～

会 場：3階企画展示室

参加者：12人

(4) ロビーコンサート

①「16世紀フランドルの音楽」

日 時：10月20日(土) 12：00～

演 奏：ファナ古楽合奏団

会 場：1階ロビー

参加者：210人

②「初期バロックの音楽～スウェーリンクからの潮流」

日 時：12月1日(土) 12：00～

演 奏：中川 詩歩(ソプラノ)、田尻 健(テノール)、福原 之織(チェンバロ)

会 場：1階ロビー

参加者：212人

(5) 4世代ファミリー特別ご招待

日 程：11月1日(木)～11月30日(金)

参加者：2組



主要関連番組

(1) テレビ

広島テレビ ニュース(開幕報道 10月8日)、『テレビ派』(中継10月8日)、
ニュース(入館者1万人 11月9日)、『ぶらぶら美術・博物館』(再放送)(11月13日)、
『GO！GO！エンタ』(11月10日、15日、24日、29日)、『てっぺん』(11月2日)

広島ホームテレビ 『5up』(10月12日)

NHK 『ひるおび』(告知11月16日)

(2) ラジオ

広島エフエム 『GOOD JOG』(10月8日～11日)

エフエムふくやま 「すてきにティータイム」『おはようときめきタイム』(担当者出演10月1日)

エフエムおのみち 「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(担当者出演10月31日)

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 「ミュージアムで会いましょう」(10月5日)
「ミュージアムガイド」(10月4日、11日、18日、25日、11月1日、8日、22日、29日、
12月3日、6日)
記事：11月21日
広告：11月2日、10日、17日、23日、12月8日
中国新聞セレクト 10月2日、16日、23日、30日、11月6日、13日、20日、27日、12月4日、11日
読売新聞 10月10日、11月10日
朝日新聞 10月5日(イベントナビ)

(2) 雑誌等

『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』(85号)、『Cue備後』(9月14日号)、『旨い広島宮島』(秋号)、
『ふるハップ』(10月号)、『TJ Hiroshima』(10月号)、『マツダ労災組合』(10月号)、『to you』(10月号)、
『Cue』(10月12日号)、『リビングひろしま』(10月15日号)、『Wink』(10月23日号)、『JAF』(11月号)、
『arch』(11月号)、『プレスネット』(11月号)、『くれえぼん』(11月号)、『広島県医師会情報誌』(11
月号)、『経済春秋』(11月号)、『つくりびと』(11月号)、『経済レポート』(11月号)、『ウエンディ広島』
(11月1日号)、『ホットペッパー』(12月号)
ツアーチラシ：穴吹トラベル(9月～)、サンデン旅行(9月～)

(3) WEB・SNSほか

『美術館・博物館情報サイトアートジェンダ』(8月末～)、『まいふれ』(9月～)、『インターネッ
トミュージアム』(8月末～)、『ひろたび』(9月～)、『Walker plus』(8月末～)、『アートエクス
プレス』(9月～)、『マイフェバ』(9月～)、『シネフィル』(9月～)、『ホルベインアーティスト』(9
月～)、『ぴあポイントサイト』(9月～)、『Yahoo ロコ』(9月～)、『JR西日本 おでかけ情報』(9
月～)、『じゃらん おでかけ情報』(9月～)、『ミニナルアート』(9月～)、『美術展ぴあ』(2018年
秋冬)、『広島県立美術館メールマガジン』(11月16日、24日、30日、12月7日)

カタログ内容

ブリュッゲル一族 —フランドル神話の立役者— セルジオ・ガッディ
ブリュッゲル様式が意味するもの アンドレア・ヴァンドシュナイダー
ブリュッゲル一族 クラウス・エルツ
ピーテル・ブリュッゲル1世、あるいは第二のボス マクシミリアーン・マルテンス

図版

ブリュッゲル一族の系譜

第1章 宗教と道徳

[コラム]ネーデルラントの絵画伝統とロマンイズム

第2章 自然へのまなざし

第3章 冬の風景と城砦

[コラム]模倣作と共作

第4章 旅の風景と物語

第5章 寓意と神話

第6章 静物画の隆盛

[コラム]一族の使用した支持体 —板、カンヴァス、銅板、大理石—

第7章 農民たちの踊り

カタログ／作品解説

ブリューゲル展関連年表

ブリューゲル展関連地図

参考文献

展覧会巡回先

東京都美術館 平成30(2018)年1月23日(火)～4月1日(日)

豊田市美術館 平成30(2018)年4月24日(火)～7月16日(月)

札幌芸術の森美術館 平成30(2018)年7月28日(土)～9月24日(月・振)

郡山市立美術館 平成31(2019)年1月11日(金)～3月31日(日)

4 サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法

会 期／平成31(2019)年1月5日(土)～2月11日(月・祝)
主 催／広島県立美術館、イズミテクノ、中国放送、
読売新聞社 美術館連絡協議会
後 援／在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、
広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7 MHz

特別協力／パリ市

協 力／日本航空

特別協賛／大日本印刷

協 賛／ライオン、損保ジャパン日本興亜、
サントリーコミュニケーションズ株式会社、大和証券、
リベラ株式会社、大田鋼管、広島県信用組合

企画協力／DNPアートコミュニケーションズ

入 館 料／一 般 1,200(1,000)円

高・大学生 800(600)円

小・中学生 500(300)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／18,110人(38日間)



フランスを代表するポスター作家、レイモン・サヴィニャック(1907-2002)は、シンプルな造形とあざやかな色彩、ユーモアに満ちた表現で、第二次世界大戦後のフランスのポスターを一新した。本展では、彼の出世作となった《牛乳石鹸モンサヴォン》をはじめ、ダンロップ、ミシュラン、シトロエンほかヨーロッパの錚々たる企業のポスター、縦3メートル以上に及ぶ大型ポスターなど、彼の代表作を一堂に展示。さらに、ポスターが並ぶ当時の風景写真、貴重な原画や資料まで、合計約200点を通して、ユーモアとエスプリ溢れる作風でパリの街角を彩ったサヴィニャックの世界を紹介した。

(本展担当者：森 万由子)

関連事業

- (1) 記念講演会「サヴィニャック：魔法のひみつ」(広島県立美術館友の会共催)

日 時：1月26日(土) 13:30～15:00

講 師：植木 啓子(大阪新美術館建設準備室 研究副主幹)

会 場：地階講堂

参加者：70人

- (2) ワークショップ「自分を伝えるロゴタイプを作ろう」

日 時：1月27日(日) 13:00～17:00

講 師：野村 勝久

(グラフィックデザイナー・本展広報物デザイン制作)



会 場：地階講堂
対 象：高校生以上
参加者：11人

(3) 美術講座「ポスターの街・パリとサヴィニャック」

日 時：2月3日(日) 13:30~15:00

講 師：森 万由子(当館学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：72人



(4) ギャラリートーク

日 時：1月11日(金)、25日(金)、2月1日(金)、8日(金)各日11:00~
1月18日(金)、2月8日(金)各日17:00~

講 師：森 万由子(当館学芸員)

会 場：3階企画展示室

参加者：計129人



(5) ウェブレポーター大募集

日 時：1月11日(金) 17:00~18:30

会 場：3階企画展示室

参加者：10人

(6) ロビーコンサート

①「パリの街角で ~ マヌーシュ ジャズ」

日 時：1月19日(土) 12:00~

演 奏：TONTON TRIO

会 場：1階ロビー

参加者：256人

②日 時：2月9日(土) 12:00~

演 奏：広島文化学園大学

会 場：1階ロビー

参加者：95人



外部イベント

(1) 広島市映像文化ライブラリー関連上映

サヴィニャックがポスター制作に関わったロベール・ブレソン監督作『ラルジャン』、影響を受けたといわれる喜劇映画の中から、『ロイドの巨人征服』をピアノ生演奏つきで上映。

「ラルジャン L'Argent」

1月12日(土) 14:00~、18:00~

「ロイドの巨人征服 Why Worry ?」

1月13日(日) 14:00~

ピアノ演奏：小林 知世

※いずれも会場は広島市映像文化ライブラリー

(2) スライドトーク「ポスターの街・パリとサヴィニャック」

日 時：1月20日(日) 14:00~15:00

講 師：森 万由子(当館学芸員)

会 場：エディオン蔦屋家電2Fイベントルーム

参加者：12人

主要関連番組

(1) テレビ

中国放送 夕方ニュース(1月5日)、ニュース(1月30日)

広島ホームテレビ 『5up』(担当者出演1月8日、18日)

NHK ニュース(1月17日)

(2) ラジオ

RCCラジオ 「RCC PLAY！ RADIO」(担当者出演12月30日)、

「本名正憲のおはようラジオ」(担当者出演1月14日)、

「おひルーム」(担当者出演1月18日)

エフエムふくやま 「レディオBINGO おはようときめきタイム」(担当者出演1月1日)

エフエムはつかいち 「いきいきFactory」(担当者出演1月10日)

エフエムおのみち 「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(担当者出演1月15日)

主要関連記事・広告

(1) 新聞

読売新聞 1月6日 開幕

1月13日 「サヴィニャック展から(上)」森学芸員寄稿

1月15日 「サヴィニャック展から(中)」森学芸員寄稿

1月16日 「サヴィニャック展から(下)」森学芸員寄稿

1月20日 トートバッグプレゼント

1月31日 入場者1万人

朝日新聞 1月29日 告知

日刊広島 1月1日 告知

(2) 雑誌等

『月刊 経済春秋』(1月号)、『Cue備後』(11月30日号)、『リビングふくやま』(12月29日号)、『くれえばん』(1月号)、『TJ Hiroshima』(1月号)、『JAF MATE』(1月号)、『to you』(1月号)、『ウェンディ広島』(1月1日号)、『Wink』(1月号)、『美術の窓』(1月号)、『エクスペリメ』(冬号)、『旨い！広島・宮島』(冬号)、『ホットペッパー』(1月号)、『アンスティチュ・フランセ九州』、『トライアングル』(1月号)、『リビングひろしま』(12月29日号)、『ぴあ秋冬』(秋冬号)、『プレスネット』(1月号)、『経済レポート』(1月号)、『広島県医師会速報』(1月号)、『福利ひろしま』(1月号)、『県民だより』(1月号)、『Lmi』(1月号)

(3) WEB・SNSほか

『広島県立美術館メールマガジン』、『広島県立美術館Facebook』、『ブンカッキーネットひろしま』ひろしま文化振興財団、『ひろたび』公益財団法人広島観光コンベンションビューロー、『インターネットミュージアム』株式会社丹青社、『ホルバインアーチストナビ』ホルバイン工業、『Walkerplus』株式会社KADOKAWA、『アートアジェンダ』株式会社FAITH、『美術手帖』株式会社美術出版社、『ミニナルアート』株式会社イーエム、『ぴあポイントサイト』、『キナリノ』株式会社カカコム

カタログ内容

ごあいさつ

「日本における特別巡回展 「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」によせて」アンヌ・イダルゴ(パリ市長)

「サヴィニャック、パリの魔術師」ティエリー・ドゥヴァンク(パリ市フォルネー図書館学芸員)

「メッセージ」アニー・シャルパンティエ(サヴィニャック著作権継承者)

ポスターの魔術師サヴィニャックが誕生するまで

- 1 幼年期～ポスターに魅入られるまで
- 2 カッサンドルに学ぶ
- 3 戦時中・戦後の時代
- 4 サヴィニャックと出版物

10の項目から見つめるサヴィニャックのポスター

[トピック]ベルナル・ヴィルモとの二人展：サヴィニャック独自の画風の幕開け

- 1 動物たち

[トピック]モンサヴォン・ポスターの誕生

- 2 オトコの人、オンナの人
- 3 働く人
- 4 製品に命を吹き込む
- 5 子どもたち
- 6 指さすヒト
- 7 自動車とその部品
- 8 タバコ
- 9 ビック(ボールペン)

- 10 パリ

[年譜]デザイン史の流れとレイモン・サヴィニャック

「グランヴィルからサヴィニャックへ、引き継がれた「ユーモア」～フランス、ポスターの黄金時代～」

小野寛子(練馬区立美術館主任学芸員)

「1枚のポスター原画から」橋本優子(宇都宮美術館主任学芸員)

参考文献

作品リスト

謝辞

展覧会巡回先

練馬区立美術館 平成30(2018)年2月20日(火)～4月15日(日)

宇都宮美術館 平成30(2018)年4月29日(日)～6月17日(日)

三重県立美術館 平成30(2018)年6月30日(土)～9月2日(日)

兵庫県立美術館 平成30(2018)年10月27日(土)～12月24日(月・振)

5 第65回日本伝統工芸展広島展

会 期／平成31(2019)年2月21日(木)～3月10日(日)
主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、
NHK広島放送局、朝日新聞社、公益社団法人日本工芸会
後 援／文化庁
協 賛／マツダ、大田鋼管、ヒロタニ、ヒロテック
入 館 料／一 般 700(500)円
高・大学生 400(200)円
中学生以下無料
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／10,654人(18日間)



日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を発展継承させることを目的に、昭和29年に創設された。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としている。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作9点を含む301点を展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資することに努めた。

(本展担当者：岡地 智子)

広島県在住入選者

陶 芸 今田 拓志《をる陶》
染 織 平 恵子《紬織着物「切子」》
漆 芸 金城一國齋《切金螺鈿箱「青麦」》
木竹工 小林 松齋《枳拭漆盛器》、藤井義久《千鳥編花籠「黎明」》
人 形 部谷きよみ《木彫彩色「春風」》
諸工芸 栗根 仁志《七宝蓋物「律」》、宇田勢津子《有線七宝蓋物「五月晴」》、
菅坂 安子《有線七宝蓋物「滄海の夜明」》

関連事業

- (1) 記念講演会(広島県立美術館友の会共催)
日 時：2月23日(土) 13:30～15:00
講 師：十四代今泉今右衛門
[人間国宝(重要無形文化財「色絵磁器」の保持者)]
演 題：「色鍋島・今右衛門の伝統」
会 場：地階講堂
参加者：191名



(2) ギャラリートーク(作品解説)

日 時	講師(内容)	参加者
2月22日(金) 11:00～	岡地 智子(全般)	45名
17:00～	岡地 智子(全般)	5名
2月23日(土) 11:00～	小林 小斎(木工)	50名
2月24日(日) 11:00～	金城一国斎(漆芸)	200名
3月1日(金) 11:00～	今田 拓志(陶芸)	55名
17:00～	岡地 智子(全般)	12名
3月2日(土) 11:00～	栗根 仁志(七宝)	50名
15:00～	ワークショップ参加の子供(全般)	30名
3月3日(日) 11:00～	部谷きよみ(人形)	80名
3月8日(金) 11:00～	菅坂 安子(七宝)	50名
17:00～	岡地 智子(全般)	30名
3月9日(土) 15:00～	佐故 龍平(金工)	65名
3月10日(日) 11:00～	平 恵子(染織)	75名

会 場：3階企画展示室

(3) 制作実演

日 時	講師(内容)	参加者
2月24日(日) 14:30～	金城一国斎(漆芸)	170名
3月3日(日) 14:30～	部谷きよみ(人形)	100名
3月10日(日) 14:30～	平 恵子(染織)	68名

会 場：3階ロビー

(4) 子ども鑑賞コース 出張授業

平成30年11月30日(金)	広島市立船越小学校4年生(76名)	馬 宏明(漆芸)
12月14日(金)	広島県立高陽東高等学校3年生(13名)	木村 芳郎(陶芸)
平成31年1月15日(火)	三原市立木原小学校1-6年生(13名)	田代 昭夫(漆芸)
1月18日(金)	府中町立府中北小学校4年生(58名)	小林 松斎(木工)

(5) 子ども鑑賞コース ワークショップ

日 時：3月2日(土) 13:00～16:00
講 師：福田 浩子(当館学芸課長)
岡地 智子(当館学芸員)
内 容：「ギャラリートークに挑戦しよう！」
会 場：3階大会議室・3階企画展示室
参加者：6名、ギャラリートーク参加者30名



(6) こども鑑賞ガイドブック、キャラクターカード作成・配布

ガイドブック：A5版16ページ、3,000部
カード：名刺サイズ6種類、各1,000部

(7) その他関連イベント

ア スライドトーク

日 時：3月9日(土) 11:00～
講 師：岡地 智子(当館学芸員)
内 容：「展覧会の『裏側』お見せします！」

会 場：3階ロビー

参加者：35名

イ ロビーコンサート

①森本ケンタ ロビーコンサート&スペシャルミニトーク

日 時：2月24日(日) 12:00～

出 演：森本 ケンタ(ギタリスト)

トークゲスト：金城 一国斎(漆芸作家・本展受賞作家)

会 場：1階ロビー

参加者：420名

②日 時：3月9日(土) 12:00～

演 奏：広島文化学園大学

会 場：1階ロビー

参加者：103名

ウ 広島会場限定展覧会オリジナルケーキとクッキーの制作・販売

地元の洋菓子店(you-ichi GLUE/広島市中区)の協力を得て、広島の作家の受賞作品をイメージしたケーキとクッキーを制作・販売した。

○ケーキ：2月22日(金)～26日(火)の期間中、1日10食限定

○クッキー：会期中、100個



主要関連番組

(1) テレビ

NHK 『日曜美術館 生きて流れよ～第65回 日本伝統工芸展～』(再放送/Eテレ/広島県内2月17日)、
『お好みワイドひろしま』(総合/広島県内2月22日)

広島ホームテレビ 『みみよりライブ 5up!』(担当者出演3月4日)

(2) ラジオ

NHK 『ひろしまコイらじ』(ラジオ第1/中国地方 担当者出演2月13日)

エフエムおのみち 「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』(担当者出演2月27日)

主要関連記事

(1) 新聞

朝日新聞 8月29日 「伝統工芸展 県内9人入選」

「麦の生命力 螺鈿で表現 朝日新聞社賞 金城一国斎さん」

「紬織 江戸切子ヒントに 日本工芸会新人賞 平恵子さん」

9月18日 「第65回日本伝統工芸展 美と創造の息づかい」

12月1日 「漆芸にまなざし真剣 安芸区の船越小で出張授業」

12月15日 「引き込むパワー アートの根源 陶芸家の木村さん、高校で授業」

1月16日 「漆塗りに真剣 マイ箸づくり 伝統工芸展前に 三原で出張授業」

1月19日 「宮島細工 触れて親しむ 伝統工芸展前に府中町で出張授業」

2月8日 「伝統工芸展 催し多彩 21日から 県立美術館」

2月20日 社告

2月20日 「第65回日本伝統工芸展 美と創造の息づかい」

2月20日 「工芸技法キャラ トートバッグに」

2月21日 「漆芸の粋 ケーキに重ね 日本伝統工芸展作品「青麦」モチーフ」
 2月22日 「技と美 光る301点 中区で伝統工芸展開幕」
 2月22日 「集う 森本ケンタロビーコンサート&スペシャルトーク」
 2月23日 県内入選作品解説記事 ①金城一国斎
 2月24日 県内入選作品解説記事 ②平恵子
 2月25日 「ギターの音色×工芸の美 県立美術館 森本ケンタさん演奏」
 2月26日 県内入選作品解説記事 ③栗根仁志
 3月1日 県内入選作品解説記事 ④藤井義久
 3月2日 県内入選作品解説記事 ⑤部谷きよみ
 3月3日 県内入選作品解説記事 ⑥今田拓志
 3月3日 「作品の魅力 子どもが解説 県立美術館でギャラリートーク」
 3月5日 県内入選作品解説記事 ⑦菅坂安子
 3月5日 「思い聞き創作体験 伝統工芸展ワークショップ」
 3月8日 県内入選作品解説記事 ⑧宇田勢津子
 3月8日 「技法を擬人化 ガイドブック 伝統工芸展で配布」
 3月9日 県内入選作品解説記事 ⑨小林松斎
 (広告)広島県版：2月16日(全5段)、19日(半3段)、22日(全5段)、23日(全5段)、
 24日(全7段)、3月1日(全4段)、3日(半3段)、5日(半5段)、
 7日(全5段)

備後版：3月2日、9日、11日(フリー半5段)

(折込チラシ)2月16日

中国新聞 1月17日、2月28日

読売新聞 2月20日

(2) 雑誌等

『Grandeひろしま』(冬号)、『ビジネス朝日』(2月号)、『TJ Hiroshima』(2月号)、『ウエンディ』(2月号)、『くれえばん』(2月号)、『経済レポート』、『旨い宮島広島』(3～5月号)、『Wink』(3月号)、
 『リビングひろしま』、『県民だより』(1月号)、『サンデー周南新聞』(1月19日号)

(3) WEB・SNSほか

『まいぷれ広島』、『ぴあポイントサイト』、『JRおでかけ』、『じゃらんnet』、『JR西日本』、『ひろしま文化大百科』、『広島県観光連盟サイト』、『マイフェバ』、『インターネットミュージアム』、『美術手帖』、『ページワンスタジオ』、『アートアジェンダ』、『共済組合ホームページ』

カタログ内容

趣旨

出品目録

出品作品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告 「鍛金」伝承者養成研究会
 第65回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

展覧会巡回先

東京 平成30(2018)年9月19日(水)～10月1日(月) 日本橋三越本店

名古屋 平成30(2018)年10月3日(水)～10月8日(月・祝) 名古屋栄三越

京都	平成30(2018)年10月17日(水)～10月22日(月)	京都高島屋
金沢	平成30(2018)年10月26日(金)～11月4日(日)	石川県立美術館
大阪	平成30(2018)年11月7日(水)～11月12日(月)	大阪高島屋
岡山	平成30(2018)年11月15日(木)～12月2日(日)	岡山県立美術館
松江	平成30(2018)年12月5日(水)～12月25日(火)	島根県立美術館
高松	平成31(2018)年1月2日(水)～1月20日(日)	香川県立ミュージアム
仙台	平成31(2018)年1月23日(水)～1月29日(火)	仙台三越
福岡	平成31(2018)年2月6日(金)～2月11日(月・祝)	福岡三越
松山	平成31(2018)年3月12日(火)～3月17日(日)	松山三越



青磁仙人 陶芸

はるか昔、1～3世紀頃に
誕生した陶芸界の長老

歴史が長い証は、
遠くまで運ばれた
鉄のダンベルを
持ち上げる様子を
つけたことにより、
美しいガラスの
マントを
着けたのじゆ。

アイテム

- ガラスのマント
- 鉄のダンベル

どんな技法?

青磁は、やきものの表面を青色や緑色のガラス質の膜で覆う技法です。今から約1800年くらい前に中国で生まれ、発達しました。このガラス質の膜は「釉薬」とよばれ、やきものを美しく飾るだけでなく、水もれや汚れを防ぐ役目を果たします。長石などの鉱物や植物を焼いてできた灰が原料です。これらの原料を水で溶いたものを器の表面にかけ、1250度以上の窯の中で焼くと、固けてガラス質に変化します。青磁に使われる釉薬には、わずかに鉄分が含まれていて、窯の中の酸素の少ない状態にして焼くと、この鉄分が化学変化を起こし、青色や緑色に発色するのです。




▲青磁球(鉄のダンベル) ▲青磁鉢(ガラスのマント)

Q 知りたい! 産地

陶芸とは、やきものを作る技術のことです。土から作る陶器と石の粉から作る磁器の2種類に大きく分けられます。これらの原料に水を加えて練ったもので形を作り、窯に入れて高温で焼いて作られます。青磁は水も吸収しやすく、釉薬はほとんど水を溶かさないという特徴があります。

所蔵作品展

平成30年度は、開館50周年にあたる記念の年であることから、所蔵作品展においてもそれを意識した企画を春と秋に行った。特に秋の所蔵作品展では、名品100選を展示した他、来場者による作品の人気投票や記念クリアファイルの作成、美術史家・高階秀爾氏と当館館長・千足伸行による記念講演会・特別対談、学芸員による連続講座(計6回)などのイベントを行った。

他にも、昨年度からの継続事業として、和高節二、中央アジアの工芸、菅井汲、マン・レイの作品を紹介するミニガイドブックを作成・配布した。

入場者数/77,852人(338日間)

春の所蔵作品展

光と影の時代—1920～30年代の美術

平成30年 4月18日(水)～7月1日(日)

前期：4月18日(水)～5月27日(日)

後期：5月29日(火)～7月1日(日)

彫刻展示スペース 光と影の時代—1920～30年代の美術 工芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	六角 紫水	1867-1950	大空と洋海の驚異手箱	1934(昭和9)	高15.3 30.2×23.3	漆・蒔絵・平文	1合	第15回帝展	前期
2	赤塚 自得	1871-1936	金地蝶牡丹唐草蒔絵文庫		高17.0 29.0×23.0	木・漆・蒔絵・螺鈿	1合		後期
3	清水 南山	1875-1948	花卉文壺	1926(大正15)	高16.0 径12.2	銅・彫金	1口		
4	富本 憲吉	1886-1963	白磁壺	1928(昭和3)	高23.3 径29.0	磁器	1口		
5	バーナード・リーチ	1887-1979	染付山水文壺	1926(大正15)頃	高19.8 胴径21.2	陶器	1口		
6	河井寛次郎	1890-1966	青瓷桃子餅	1923(大正12)	高10.8	青磁	1口		
7	浜田 庄司	1894-1978	ガレナ釉搔落文蓋壺	1922(大正11)頃	高15.2 一辺9.6	陶器	1合		
8	吉田源十郎	1896-1958	阿ざみ紋漆皮果物鉢		高9.1 長径38.5	革・漆	1口		後期
9	音丸 耕堂	1898-1997	堆黒玉簪香盆	1930(昭和5)	径37.2	漆・堆漆・彫漆	1枚		前期
10	加藤土師萌	1900-1968	磁器香炉「瑞鳳」	1933(昭和8)	高21.5 幅32.4	磁器・色絵	1合	第14回帝展	
11	蓮田修吾郎	1915-2010	鍍銅盤	1937(昭和12)	高6.5 径29.8	銅・鍍金	1枚	総合工芸美術展	

第1室 光と影の時代—1920～30年代の美術 西洋美術

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
12	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
13	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
14	エル・リシツキー	1890-1941	ブロンズ：第1ケストナー版画集	1923	60.5×43.5	リトグラフ・紙	6面のうち2面		前期 後期
15	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
16	バーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		
17	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		
18	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	パウハウス宣言書表紙	1919	30.5×18.5	木版・紙	1面		前期
19	パウル・クレー	1879-1940	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 内なる光に照らされた聖人	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面		前期
20	ワシリー・カンディンスキー	1866-1944	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第4集 コンポジション	1924	27.9×24.4	リトグラフ・紙	1面		前期
21	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 海辺の別荘	1921	32.7×38.2	木版・紙	1面		後期
22	パウル・クレー	1879-1940	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 ホフマンの舞台	1921	35.5×26.0	リトグラフ・紙	1面		後期
23	オスカー・シュレンマー	1888-1943	パウハウス版 新ヨーロッパ版画集 第1集 人物集合像K 1	1921	48.8×33.8	リトグラフ・紙	1面		後期
24	ジョージ・グロス	1893-1959	群盗	1922	70.0×51.0	リトグラフ・紙	9面のうち3面		前期 後期
25	マックス・バックマン	1884-1950	ヤールマルクト	1921	56.5×41.3	ドライポイント・紙	10面のうち3面		前期 後期
26	ベン・シャーン	1898-1969	四人の検事	1931-32	24.8×37.5	グワッシュ・板	1面		前期
27	ベン・シャーン		陪審員席	1932-33	41.9×58.4	グワッシュ・紙	1面		後期
28	トーマス・ハート・ベントン	1889-1975	禁酒法の取締り	1925頃	40.6×45.7	油彩・画布	1面		
29	マックス・エルンスト	1891-1976	オイディプス I	1934(1992鑄造)	高62.0	ブロンズ	1点		
30	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992鑄造)	高66.0	ブロンズ	1点		
31	クルト・シュヴィッターズ	1887-1948	メルツ394, ピナコテーク	1922	17.9×14.3	紙・コラージュ	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
32	マン・レイ	1890-1976	アングルのヴァイオリン	1924	30.8×23.1	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		前期
33	マン・レイ		解剖台の上でシシと初傘が偶然出会ったに似て	1933	24.9×37.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		前期
34	マン・レイ		ヌード/ソラリゼーション	1929	29.0×21.3	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		後期
35	マン・レイ		贈り物	1921	20.2×14.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		後期
36	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
37	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	43.0×26.0	コロタイプ・紙	34点組のうち2面		前期 後期
38	パブロ・ピカソ	1881-1973	フランコの夢と嘘	1937	I : 38.8×57.2 II : 38.7×56.7	エッチング・シュガー・アクリル・紙	2面		前期
39	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Iの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクリル・紙	1面		後期
40	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(IIの第5刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アクリル・紙	1面		後期

第2室 光と影の時代—1920～30年代の美術 日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
41	南 薫造	1883-1950	ピアノ	1921(大正10)	103.0×83.1	油彩・画布	1面	平和記念東京博覧会	
42	南 薫造		風景(新橋)	1930(昭和5)	31.0×41.0	油彩・板	1面		
43	小林徳三郎	1884-1949	西瓜	1932(昭和7)	45.5×53.0	油彩・画布	1面	第27回春陽会展	
44	米山 利助	1885-1969	風景	1922(大正11)	109.0×78.0	油彩・画布	1面		
45	石谷辰治郎	1885-1942	静物	1920(大正9)	66.5×45.5	油彩・画布	1面		
46	黒田重太郎	1887-1970	風景	1921-23(大正10-12)頃	37.9×45.5	油彩・画布	1面		
47	川口 軌外	1892-1966	月空	1930(昭和5)	72.6×91.0	油彩・画布	1面		
48	小早川篤四郎	1893-1959	少女全像	1930(昭和5)	130.3×97.0	油彩・画布	1面	第11回帝展	
49	児島善三郎	1893-1962	真珠の首飾り	1925-28(大正14昭和3)頃	50.5×44.5	油彩・画布	1面		
50	若山 為三	1893-1961	習作	1922(大正11)	80.1×60.5	油彩・画布	1面		
51	田中 万吉	1895-1945	南仏カーニユ全景	1924-27(大正13昭和2)頃	53.3×65.4	油彩・画布	1面		
52	田中 万吉		婦人像	1925(大正14)	90.7×72.5	油彩・画布	1面	第6回春陽会展	
53	里見 勝蔵	1895-1981	肖像(K夫人像)	1931(昭和6)	100.0×72.7	油彩・画布	1面	第1回独立展	
54	名井 萬亀	1896-1976	初空襲	1943(昭和18)	61.0×80.5	油彩・画布	1面		
55	吉田 卓	1897-1929	裸婦	1926(大正15)頃	91.0×72.5	油彩・画布	1面		
56	永田 一脩	1903-1988	静物	1925(大正14)	45.5×53.0	油彩・画布・コラージュ	1面		
57	山路 商	1903-1944	犬とかたつむり	1937(昭和12)	80.1×116.4	油彩・画布	1面		
58	山路 商		ピエロ		33.8×24.6	油彩・紙	1面		
59	新海 覚雄	1904-1968	抽象	1924(大正13)	37.0×65.0	油彩・画布	1面	第21回太平洋画会展	
60	村井 正誠	1905-1999	スエズの朝	1932(昭和7)	46.0×55.0	油彩・画布	1面	個展(34紀伊国屋ギャラリー)	
61	檜山 武夫	1906-1932	風景	1932(昭和7)	72.1×75.0	油彩・画布	1面		
62	麩 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1面	第7回槐樹社展	
63	麩 光		花	1941(昭和16)頃	23.6×32.8	油彩・板	1面		
64	太田 忠	1908-1971	雪景	1941(昭和16)	129.1×97.8	油彩・画布	1面	第6回新制作展	
65	今西 中通	1908-1947	作品	1939(昭和14)	53.0×72.8	油彩・画布	1面		
66	土屋 幸夫	1911-1996	落椿	1936(昭和11)	31.9×40.8	油彩・画布	1面		
67	寺田 政明	1912-1989	月光によりて	1943(昭和18)	31.8×40.9	油彩・板	1面	新人画会展	
68	岡部 繁夫	1912-1969	卓上静物	1937(昭和12)	73.0×91.0	油彩・画布	1面	第23回広島県美術展	
69	松本 竣介	1912-1948	ニコライ堂	1941(昭和16)	32.0×41.0	油彩・板	1面		
70	岩岡 貞美	1913-1945	耕丘	1944(昭和19)	119.5×71.0	油彩・画布	1面	第14回独立展	
71	岩岡 貞美		炭焼き風景	1944(昭和19)	119.5×71.0	油彩・画布	1面		

第3室 光と影の時代—1920～30年代の美術 日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
72	田中 頼璋	1868-1940	漁樵問答図	1927(昭和2)	178.5×95.0	絹本彩色	1幅		
73	横山 大観	1868-1958	霊峰不二		49.1×57.1	絹本彩色	1幅		
74	大村 廣陽	1891-1983	藤の花かげ	1926(大正15)	196.8×345.2	絹本彩色	4曲1隻	第7回帝展	
75	福田平八郎	1892-1974	雪の日	1932(昭和7)	144.0×50.4	紙本彩色	1幅	第1回六潮会展	
76	福田 恵一	1895-1956	千利休	1942(昭和17)頃	41.0×52.0	絹本彩色	1幅		
77	福田 恵一		加藤清正		94.0×113.0	絹本彩色	1幅		
78	児玉 希望	1898-1971	飛泉涼々	1931(昭和6)	260.0×145.0	絹本彩色	1幅	第12回帝展	
79	児玉 希望		猿猴捉月	1933(昭和8)	255.0×105.0	絹本彩色	1面	第14回帝展	
80	児玉 希望		忠貞双絶	1941(昭和16)	各149.5×68.0	絹本彩色	2面	第5回児玉画藝展	
81	和高 節二	1898-1990	売魚婦	1933(昭和8)頃	134.6×52.4	紙本彩色	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
82	和高 節二		村の消防夫	1932(昭和7)	189.3×108.6	紙本彩色	1面		
83	和高 節二		浄心	1943(昭和18)頃	190.0×290.0	紙本彩色	4曲1隻		
84	丸木 位里	1901-1995	雨乞	1939(昭和14)	172.0×140.0	紙本彩色	1幅	第1回丸木位里・船田玉樹個展	
85	丸木 位里		不動	1941(昭和16)	213.0×106.0	紙本彩色	1幅	第1回岩橋英逸・丸木位里・船田玉樹三人展	
86	坂口 一草	1902-1997	清閑	1927(昭和2)	179.0×88.0	紙本彩色	1幅	第14回院展	
87	塩出 英雄	1912-2001	双鳩	1936(昭和11)	168.5×186.5	紙本彩色	4曲1隻		
88	奥田 元宋	1912-2003	秣	1961(昭和36)	130.0×190.0	紙本彩色	1面		
89	奥田 元宋		青山白雲	1987(昭和62)	180.3×124.4	紙本彩色	1面		
90	平山 郁夫	1930-2009	天山南路(昼)	1960(昭和35)	164.2×218.8	紙本彩色	1面		

第4室 パリジェンヌ展へのオマージュ

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
91			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
92			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
93			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
94	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高51.5×123×14	ブロンズ	1点		
95	小林 千古	1870-1911	女子正面	1900-01(明治33-34)頃	90.0×76.0	油彩・画布	1面		
96	小林 千古		自画像	1903-05(明治36-38)頃	67.5×58.0	油彩・画布	1面		
97	菅井 汲	1919-1996	Adam et Eve(アダムとイブ)	1952(昭和27)	117.5×81.0	油彩・画布	1面		
98	菅井 汲		DIABLE PARTANT POUR LA LUNE(月へ旅立つ鬼)	1963(昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面		
99	森口 邦彦	1941-	友禪着物 「溪流」	1973(昭和48)	桁64.3 丈157.5	絹・友禪染	1領	第20回日本伝統工芸展 朝日新聞社賞	
100	森口 邦彦		友禪着物 「薔園」	1981(昭和56)	桁61.8 丈170.5	絹・友禪染	1領		
101	森口 邦彦		友禪着物 「新雪」	1986(昭和61)	桁61.3 丈172.0	絹・友禪染	1領		
102	森口 邦彦		友禪訪問着 「光波」	1989(平成元)	桁64.2 丈173.0	絹・友禪染	1領		
103	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方2」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
104	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方4」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
105	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方5」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
106	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方7」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
107	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方10」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
108	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方13」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
109	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方16」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
110	森口 邦彦		友禪平面作品「線の載り方17」	1982(昭和57)	90.0×90.0	紙・友禪技法	1面	森口邦彦作品展(朝日画廊)	
111	森口 邦彦		友禪平面作品「Shadow Magic I」	1984(昭和59)	90.0×73.0	紙・友禪技法	1面	三人展(赤坂グリーンギャラリー)	
112	森口 邦彦		友禪平面作品「Shadow Magic II」	1984(昭和59)	90.0×73.0	紙・友禪技法	1面	三人展(赤坂グリーンギャラリー)	
113	森口 邦彦		友禪平面作品「Shadow Magic III」	1984(昭和59)	90.0×73.0	紙・友禪技法	1面	三人展(赤坂グリーンギャラリー)	
114	森口 邦彦		Etude sur le vert 12	1990(平成2)	86.5×78.2	紙・友禪技法	1面	個展(Galerie Jeanne-Bucher)	
115	森口 邦彦		Etude sur le vert 16	1990(平成2)	78.2×86.5	紙・友禪技法	1面	個展(Galerie Jeanne-Bucher)	
116	森口 邦彦		Etude sur le vert 25	1990(平成2)	78.2×86.5	紙・友禪技法	1面	個展(Galerie Jeanne-Bucher)	

関連事業

ギャラリーリレートーク

「光と影の時代—1920～30年代の美術」

日時：5月25日(金) 11:00～

講師：角田 新、福田浩子、森 万由子、藤崎 綾、神内有理(当館学芸員)

夏の所蔵作品展

サマーミュージアム 空想の世界へ(彫刻展示スペース・第1室・第2室)

小特集 和高節二/中央アジアの工芸(第3室・第4室)

平成30年7月4日(水)～9月9日(日)

彫刻展示スペース サマーミュージアム 空想の世界へ—空を飛ぶ夢

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	笹山 忠保	1939-	魔法のじゅうたん	1974(昭和49)	高79.8 51.6×8.5	陶	1点	第1回信楽陶芸展優秀賞	
2	名井 萬亀	1896-1976	チャウヤク(跳躍)	1946(昭和21)	60.4×72.6	油彩・画布	1面		第31回二科展
3	八木 一夫	1918-1979	いつも離陸の角度で	1977(昭和52)	高27.0 27.5×30.5 高33.5 30.0×27.3	黒陶・鉛板	1組		
4	新田 稲実	1922-2010	風	2005(平成17)	162.0×130.3	油彩・画布	1面		第90回二科展・内閣総理大臣賞
5	菅井 汲	1919-1996	LE CIEL(空)	1970(昭和45)	78.0×171.0	アクリル・画布	1面		
6	菅井 汲		SIGNAL DU CIEL(空のシグナル)	1970年代前半	184.5×140.0	アクリル・画布	1面		
7	宮永 理吉	1935-	天空の森	1997(平成9)	高64 47.5×18.5	磁器	1点	京都現代陶芸6人展、高島屋美術画廊(東京、京都)	
8	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		
9	柳原 睦夫	1934-	空の力学	1976(昭和51)	高30.4 38.0×36.0	陶	1点		
10	橋本 雅邦	1835-1908	風神雷神	1895(明治28)	各138.0×52.0	絹本彩色	2幅		
11	鈴木 治	1926-2001	鳥のプロペラ	1981(昭和56)	高44.0 36.0×20.0	陶	1点		
12	カジミール・マレーヴィチ	1878-1935	シュルレアティズムの素描(空からの展望)	1928	17.0×19.6	鉛筆・紙	1面		

第1室 サマーミュージアム 空想の世界へ—無意識の物語

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
13	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	
14	サルバドール・ダリ		マルドロールの歌	1934	32.5×25.0他	エッチング・紙	30面のうち3面		
15	益田 芳徳	1934-2010	記憶I	1990(平成2)	高24.0 65.0×43.5	ガラス	1点		
16	川上 力三	1935-	廃景	1984(昭和59)	高75.0 45.0×45.0	陶	1点		
17	山路 商	1903-1944	犬とかたつむり	1937(昭和12)	80.1×116.4	油彩・画布	1面		
18	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
19	角 浩	1909-1994	平和のメリーゴーランド	1976(昭和51)	100.0×80.3	油彩・画布	1面	ユネスコ国際展(バグダッド)	
20	ワシリー・カンディンスキー	1866-1944	小さな世界	1922	35.6×28.0他	紙・木版・リトグラフ・ドライポイント	12面のうち3面		
21	林 康夫	1928-	緑の滴	1958(昭和33)	高30.7 38.5×28.5	陶	1点		
22	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	各43.0×26.0	コロタイプ・紙	34面のうち18面		
23	マックス・エルンスト		オイディプス I	1934(1992鋳造)	高62.0	ブロンズ	1点		
24	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992鋳造)	高66.0	ブロンズ	1点		
25	龔 光	1907-1946	二重像	1941(昭和16)	24.5×20.0	墨・紙	1面		
26	龔 光		鳥(ほ)	1941(昭和16)	22.4×33.4	墨・紙	1面		
27	殿敷 侃	1942-1992	作品(顔)	1973(昭和48)	13.8×17.4	インク・紙	1面		
28	殿敷 侃		作品(身体)	1974(昭和49)	14.0×17.6	インク・紙	1面		
29	名井 萬亀	1896-1976	憩い	1970(昭和45)	72.6×52.6	油彩・画布	1面		
30	八木 一夫	1918-1979	右の目と左の目の情報	1968(昭和43)	高21.3 23.5×15.0	黒陶	1点		
31	佐藤 敏	1936-	MAN・面・MAN	1971(昭和46)	高45.0 32.0×37.0	陶	1点		
32	林 秀行	1937-	仮面の談笑	1982(昭和57)	高22.0×奥行18.5×幅18.8 高17.0×奥行19.0×幅16.5	陶	1組		

第2室 サマーミュージアム 空想の世界へ—めくるめく空想

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
33	宇根元 警	1904-1970	花のある季節	1969(昭和44)	71.0×90.9	油彩・画布	1面		
34	吉原 英雄	1931-2007	版画集『ベトショップ』 ① 三匹の羊	1979(昭和54)	46.5×38.0	リトグラフ・紙	1面	個展(1979)	
35	吉原 英雄		版画集『ベトショップ』 ② デューラーの兎	1979(昭和54)	37.3×47.5	リトグラフ・紙	1面	個展(1979)	
36	永瀬 義郎	1891-1978	浪漫	1978(昭和53)	72.7×54.3	混合技法・紙	1面		
37	谷中 安規	1897-1946	月のロケーション	1935(昭和10)	15.0×15.5	木版・紙	1面		
38	安部 毅	1915-1983	月	1955(昭和30)	100.0×72.5	油彩・画布	1面	自由美術春季選抜展	
39	善 鳩人	1916-1989	薄明	1961(昭和36)	110.0×158.0	紙本彩色	1面	第25回新制作展	
40	寺田 政明	1912-1989	生と死の凝視	1950(昭和25)	91.3×116.5	油彩・画布	1面	第14回自由美術展	
41	深沢 幸雄	1924-2017	月下の対話	1985(昭和60)	37.3×47.5	リトグラフ・紙	1面		
42	水船 六洲	1912-1980	燭明り	1967(昭和42)	高202×54×40	木、彩色	1点	第10回新日展	内閣総理大臣賞
43	小林 千古	1870-1911	習作		145.5×107.5	油彩・画布	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
44	フランス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
45	南 薫造	1883-1950	想		75.0×60.0	油彩・画布	1面		
46	太田 忠	1908-1971	橋のある風景	1952(昭和27)	130.5×162.6	油彩・画布	1面	第16回新制作協会展	
47	名井 萬亀	1896-1976	郊外電車	1953(昭和28)	40.8×52.8	油彩・画布	1面		
48	名井 萬亀		道	1956(昭和31)	197.0×100.0	油彩・画布	1面	第2回現代日本美術展	
49	丸木 スマ	1875-1956	巢	1953(昭和28)	107.0×77.0	紙本彩色	1幅	第38回院展	
50	丸木 スマ		蝶	1953(昭和28)	107.0×77.5	紙本彩色	1幅	女流画家協会展	
51	圓鏝 勝三	1905-2003	姫と大蛇	1978(昭和53)	高143.5×50×35	木・彩色	1点		
52	古沢 岩美	1912-2000	死の誕生	1954(昭和29)	97.0×193.9	油彩・画布	1面		
53	児玉 希望	1898-1971	河童	1955(昭和30)頃	35.5×17.5	絹本彩色	1面		
54	児玉 希望		瀾	1964(昭和39)頃	156.0×135.5	絹本彩色	1面		
55	田村 宗立	1846-1918	地獄図		147.0×72.0	絹本彩色	1幅		
56	橋本 雅邦	1835-1908	竜虎争気		各126.0×50.0	絹本墨画淡彩	2幅		
57	宋 紫石	1715-1786	山水図		102.5×36.7	絹本墨画淡彩	1幅		
58	川端 玉章	1842-1913	山水人物図	1908(明治41)	167.0×104.0	紙本墨画淡彩	4面		
59	奥田 元宋	1912-2003	秋戀真如	1977(昭和52)	156.5×197.5	紙本彩色	1面	第9回改組日展	
60	平山 郁夫	1930-2009	広島生変図	1979(昭和54)	171.0×364.0	紙本彩色	一隻	第64回院展	

第3室 小特集：和高節二

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
61	和高 節二	1898-1990	娘旅芸人	1928(昭和3)	173.5×184.6	紙本彩色	1面		
62	和高 節二		薪を入れる娘	1935(昭和10)頃	158.7×150.7	紙本彩色	1面	第1回再興中央美術社展(入選)	
63	和高 節二		早乙女	1929(昭和4)	212.5×203.2	紙本彩色	1面	第10回帝展入選作	
64	和高 節二		むらのこども	1927-1928(昭和2-3)頃	32.0×37.2	紙本彩色	1面		
65	和高 節二		仔牛とたわむれる農夫	1923(大正12)	53.5×47.0	紙本彩色	1面		
66	和高 節二		母子	1921(大正10)	61.0×73.0	紙本彩色	1面		
67	和高 節二		旅芸人の顔	1928(昭和3)	41.0×44.5	紙本彩色	1面		
68	和高 節二		幼女		24.5×26.9	鉛筆・紙	1面		
69	和高 節二		少女(貞子)	1926(大正15)	30.0×31.0	鉛筆・コンテ・紙	1面		
70	和高 節二		女2		35.6×49.2	コンテ・紙	1面		
71	和高 節二		娘の顔1	1924(大正13)	37.8×51.5	鉛筆・コンテ・紙	1面		
72	和高 節二		菅原氏像		35.8×33.5	コンテ・紙	1面		
73	和高 節二		妻の像	1919(大正8)	40.3×33.5	木炭・紙	1面		
74	和高 節二		牡牛	1940(昭和15)	118.0×64.1	紙本彩色	1面		
75	和高 節二		みやまの女	1931(昭和6)	221.5×228.6	紙本彩色	1面	第11回帝展入選作か	
76	和高 節二		秋日和	1938(昭和13)	155.5×171.0	紙本彩色	1面	第1回現代美術展(入賞)	
77	和高 節二		仔牛(べっち)と村女(原題牛と村人)	1939(昭和14)	132.6×248.4	紙本彩色	1面	第26回院展	
78	和高 節二		売られゆく仔牛	1961(昭和36)	各172.0×264.0	紙本彩色	1面	1961(和高節二日本画展/広島・天満屋)	
79	和高 節二		仔牛誕生	1970(昭和45)	158.3×263.2	紙本彩色	1面	1970(第4回丹頂会展か)	
80	和高 節二		猫と話をする老人	1953(昭和28)頃	91.0×142.0	紙本彩色	1面		
81	和高 節二		ひなた	1955(昭和30)	83.0×96.4	紙本彩色	1面	第7回広島県美術展	
82	和高 節二		夏の花	1969(昭和44)	各153.6×165.5	紙本彩色	1面	1968(県美展)、1969(第2回丹頂会展/広島・天満屋)	
83	和高 節二		供出米	1967(昭和42)	各149.2×355.8	紙本彩色	1面	和高節二個展(広島・天満屋)	
84	和高 節二		おしし	1937(昭和12)	40.1×46.0	紙本彩色	1面		
85	和高 節二		お正月(蓬餅)		41.4×62.0	紙本彩色	1面		
86	和高 節二		ぶどう		33.7×45.5	紙本彩色	1面		
87	和高 節二		柿	1937-38(昭和12-13)頃	53.0×63.0	紙本彩色	1面		
88	和高 節二		石崖	1967(昭和42)	181.5×178.0	紙本彩色	1面		

第4室 柿右衛門様式の優品

No.	作者・民族名・地域	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間	
89		重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代	17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
90		伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代	17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
91		伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代	17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		

第4室 小特集：中央アジアの工芸

No.	作者・民族名・地域	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
92	タシケン(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	216.0×174.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
93	シャフサプス(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	1850頃	244.0×154.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
94	フェルガナ盆地	刺繍布(スザニ)	19世紀末	206.0×156.0	(表)木綿・絹糸・刺繍 (裏)木綿・プリント絹糸・刺繍	1枚		
95	キマルカンド(現ウズベキスタン)	刺繍布(ジャイナマズ)	19世紀中期	259.0×168.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
96	ブハラ(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	206.0×152.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
97	ブハラ(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	245.0×160.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
98	ブハラ(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀後半	217.0×150.0	(表)木綿・絹糸・刺繍 (裏)経：絹・緯：木綿・経緋	1枚		
99	ブハラ(現ウズベキスタン)	刺繍布(スザニ)	19世紀前半	244.0×190.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
100	ウズベク人	男性用外衣(チャパン)	19世紀末	129.6×207.7	経：絹・緯：絹・経緋・裏にプリント木綿・見返し経緋	1領		
101	ウズベク人	女性用外衣(チャパン)	1900頃	123.5×127.9	経：絹・緯：絹・経緋・裏にプリント木綿・見返し赤無地木綿	1領		
102	ウズベク人、タシケルガン	女性用刺繍靴	20世紀	長25.8	革・刺繍	1足		
103	テケ族、トルクメン人	女性用被衣(チルビ)	20世紀	総丈111.5	絹・刺繍	1領		
104	テケ族、トルクメン人	女性用被衣(チルビ)	20世紀	総丈122.0	絹・刺繍	1領		
105	テケ族、トルクメン人	外衣	1900頃	丈115.2	絹	1領		
106	ヨムート族、トルクメンまたは北部アフガニスタン	女性用頭布(ゲイナーチ)	20世紀	196.5×203.0	絹	1枚		
107	テケ族、トルクメン人	女性用上衣(コイネク)	1930以前	丈148.7	絹	1領		
108	ヨムート族、トルクメン人	男性用上衣	1900頃	66.1×155.7	絹	1領		
109	ヨムート族、トルクメン人	男性用上衣	19世紀	丈65.4	絹・絹刺繍・見返しプリント木綿	1領		
110	テケ族、トルクメン人	女性用革靴	1900頃	長25.0	革	1足		
111	ウズベク人、ラカイ	刺繍靴	20世紀初頭	126×56, 11.5×13.5	刺繍	1枚		
112	ウズベク人、シャフサプス	刺繍靴	1900頃	20.8×29.8	刺繍	1枚		
113	ウズベク人、タシケルガン	刺繍靴	20世紀前期	19.4×14.2	刺繍	1枚		
114	ウズベク人、北東ウズベク	刺繍靴	19世紀	20.4×14.6	刺繍	1枚		
115	ウズベク人、ブハラ	刺繍靴	19世紀	20.7×16.2	刺繍	1枚		
116	ウズベク人、ブハラ	刺繍靴	19世紀	54.2×37.3	絹経緋・毛織物・絹刺繍・金糸刺繍・組紐・裏にプリント木綿	1枚		
117	テケ族、トルクメン人	刺繍靴	19世紀	19.6×11.3	刺繍	1枚		
118	テケ族、トルクメン人	刺繍靴	19世紀中期	16.7×13.4	刺繍	1枚		
119	ヨムート族、トルクメン人	刺繍靴	20世紀初頭	34.8×22.9	刺繍	1枚		
120	ヨムート族、トルクメン人	刺繍靴	20世紀初頭	15.5×10.4	刺繍	1枚		
121	エルサリ族、トルクメン人	刺繍靴	19世紀中期	15.4×10.1	木綿布・絹刺繍・ガラスビーズ	1枚		
122	エルサリ族、トルクメン人	刺繍靴	19世紀中頃	16.0×3.1	木綿布・絹刺繍・ボタン	1枚		
123	テケ族、トルクメン人	花嫁用頭飾り	19世紀前半	高31.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
124	テケ族、トルクメン人	花嫁用頭飾り(エグメ)	18-19世紀	幅20.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
125	テケ族、トルクメン人	花嫁用頭飾り(エグメ)	19世紀中期	幅23.0	銀・鍍金・カーネリアン・絹布・木版木綿	1点		
126	ヨムート族、トルクメン人	未婚女性用帽子(グツパ)	19-20世紀	高15.5 径18.0	銀・鍍金・カーネリアン・絹布	1点		
127	テケ族、トルクメン人	未婚女性用帽子飾り(グツパ)	1905/06 (ビジュラ暦1323)	高7.5	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
128	テケ族、トルクメン人	こめかみ飾り(テネチル)	18世紀	長62.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
129	テケ族、トルクメン人	こめかみ飾り(テネチル)	19世紀後半	長24.0 25.0	銀・鍍金・カーネリアン・ガラス・組紐	1組		
130	西ヨムート族、トルクメン人	耳飾り(グラク・ハルカ)	18世紀	径6.1	銀・トルコ石またはガラス	1対		
131	ジャフアンバイ・ヨムート族、トルクメン人	耳飾り(グラク・ハルカ)	19-20世紀	高8.0 9.5	銀	4対		
132	北ヨムート族、トルクメン人	首胸飾り(ブカウ)	19世紀初期	幅16.0	銀・鍍金・カーネリアン	1組		
133	チョレスム族、トルクメン人	首胸飾り(ブカウ)	19世紀中期	高28.0 幅19.0	銀・カーネリアン・トルコ石	1連		
134	テケ族、トルクメン人	護符入れ(トゥマル)	17-18世紀	幅31.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
135	サルイク族、トルクメン人	護符入れ(トゥマル)	19世紀前半	幅17.5	銀・鍍金・カーネリアン・ガラス	1点		
136	エルサリ族またはヨムート族、トルクメン人	護符入れ(トゥマル)	18-19世紀	高25.5 幅21.5	銀	1点		
137	西ヨムート族、トルクメン人	護符入れ(クムシユドガ)	19世紀後半	幅14.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
138	北ヨムート族、トルクメン人	護符入れ(クムシユドガ)	18世紀	幅6.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
139	ヨムート族、トルクメン人	留め飾り(チャプラズ、チャンガ)	19世紀前半	幅12.3	銀	1対		
140	テケ族、トルクメン人	護符入れ(ヘイケル)	19世紀初期	幅11.0	銀・鍍金・カーネリアン・革	1点		
141	テケ族、トルクメン人	護符入れ(ヘイケル)	19世紀前半	幅13.0	銀・鍍金・カーネリアン・革	1点		
142	テケ族、トルクメン人	護符(ダグダン)	19世紀後半	高14.0 幅8.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
143	テケ族、トルクメン人	胸飾り(ダグダン)	19世紀後半	幅10.0	銀・鍍金・カーネリアン・ガラス	1点		
144	エルサリ族、トルクメン人	護符(ドガ)	19世紀前半	高14.0 幅12.0	銀・珊瑚・ガラスビーズ・絹刺繍	1点		
145	エルサリ族、トルクメン人	護符(ドガ)	19世紀初期	高14.0 幅9.0	銀	1対		
146	トルクメン人	飾りボタン(グルヤカ)	18-20世紀		銀・鍍金・カーネリアン・トルコ石・ガラス	23点		

No.	作者・民族名・地域	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
147	トルクメン人、ヒワ	胸飾り(シエルベリ・グルヤカ)	18-19世紀	径13.0	銀・鍍金・ガラス	1枚		
148	テケ族、トルクメン人	背飾り(アシク)	1806/07(ヒジュラ暦1221)	高26.5	銀・鍍金・カーネリアン	1枚		
149	ヨムート族、トルクメン人	背飾り(アシク)	19世紀前半	高22.0	銀・鍍金・カーネリアン・革	1枚		
150	サルイク族、トルクメン人	背飾り(アシク)	18世紀	高22.0	銀	1枚		
151	エルサリ族、トルクメン人	背飾り(アシク)	19世紀初期	高27.0	銀・カーネリアン	1枚		
152	テケ族、トルクメン人	背飾り(ゴシヤ・アシク)	18世紀	高10.0	銀・鍍金・カーネリアン	1枚		
153	ジャファアバイ・ヨムート族、トルクメン人	背飾り(サチユモンジュク)	19世紀中期	長56.0 幅14.0	銀・鍍金・カーネリアン・絹布	1枚		
154	ジャファアバイ・ヨムート族、トルクメン人	背飾り(サチユモンジュク)	20世紀初期	高64.0 幅28.0	銀	1連		
155	北ヨムート族またはエルサリ族、トルクメン人	髪飾り(サチユバグ)	19世紀後期	高51.0	銀・カーネリアン	1対		
156	トルクメン人、アフガニスタン北部	髪飾り	19-20世紀	長5.0 8.5	銀	3個		
157	テケ族、トルクメン人	腕飾り(ビレジク)	19世紀中期	高7.9	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
158	ヨムート族、トルクメン人、イラン	腕飾り(ビレジク)	1908(ヒジュラ暦1326)	高8.7	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
159	ヨムート族、トルクメン人、イラン	腕飾り(ビレジク)	19-20世紀	高16.3	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
160	トルクメン人	指輪(ユズユク)	19-20世紀		銀・鍍金・カーネリアン・ガラス	33点		
161	トルクメン人	指輪(キュケンリ・ユズユク)	19-20世紀		銀・鍍金・カーネリアン・ガラス	6件		
162	エルサリ族、トルクメン人	手飾り(キュケンリ・ユズユク)	20世紀初期	径2.4 装飾板6×5	銀・カーネリアン・ガラス	1連		
163	テケ族、トルクメン人	男児用背飾り(オク・ヤイ)	19世紀前半	幅14.5	銀・鍍金	1点		
164	トルクメン人	男児用背飾り(オク・ヤイ)	19世紀後期	高16.5 幅11.5	銀・カーネリアン	1点		
165	テケ族、トルクメン人	男児用背飾り	19世紀	幅14.5	銀・鍍金・カーネリアン・トルコ石	1点		
166	サルイク族、トルクメン人	男児用背飾り(ゴンジュク)	19世紀前半	高16.0 幅8.0	銀・カーネリアン・珊瑚・ガラス	1枚		
167	エルサリ族、トルクメン人	子供用胸掛け	19世紀後半	長63.0 幅56.0	銀・貝・絹経緋布・綿布・絹刺繍・裏に綿木綿	1枚		
168	ヨムート族、トルクメン人	子供用胸掛け	19-20世紀	長73.0 幅34.0	銀・貝・綿布・絹刺繍・ベルベット・裏に綿木綿	1枚		
169	西ヨムート族、トルクメン人、フハラ	男性用帯(グサク)	19世紀後半	長98.0 前金具幅16.5	銀・鍍金・縞瑪瑙・革	1条		
170	テケ族、トルクメン人、ヒワ	男性用背飾り	19世紀後半	径13.0	銀・鍍金	1枚		
171	ジャファアバイ・ヨムート族、トルクメン人	鞭(ガムチ)	19世紀後半	柄長30.0 全長87.0	革・銀・鍍金・カーネリアン・トルコ石	1本		
172	ヨムート族、トルクメン人	鞭(ガムチ)	19世紀中期	長さ87.0	革・銀	1本		
173	トルクメン人	噛み煙草入れ(ナス・ケディ)	19世紀	高14.0 径5.0	銀・瓢箪	1点		
174	森 薫	中央アジアの衣服と布(原画)	2018(平成30)	各33.2×24.2	紙・インク・水彩	2枚		

関連事業

①ワークショップ「中央アジアの刺繍をしてみよう」

日時：7月27日(金)、8月31日(金)各日13:30~15:00

講師：福田浩子、岡地智子(当館学芸員)

②子ども向けワークシートの配布

関連記事

毎日新聞 9月4日 乙嫁語り 中央アジア工芸展

その他

『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド④野に生きた画家・和高節二』・『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑤中央アジアの工芸』を来館者に無料配布

秋の所蔵作品展

開館50周年記念 広島県立美術館名品セレクション

平成30年9月12日(水)～12月24日(月・振)

前期：9月12日(水)～11月4日(日)

後期：11月6日(火)～12月24日(月・振)

彫刻展示スペース 日本彫刻・工芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
2			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1 軀		
3			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1 軀		
4	平櫛 田中	1872-1979	落葉	1913(大正2)	高74.5	木	1 軀	第7回文展	
5	水船 六洲	1912-1980	はつ雁抄	1972(昭和47)	高155×57×51.5	木・彩色	1 軀	第4回改組日展	
6	圓鏝 勝三	1905-2003	月夜の僧	1985(昭和60)	高88×97×90	木・銅板・彩色	1 軀	第17回改組日展	
7	芥川 永	1915-1998	カンタリス(遠くの声3)	1984(昭和59)	高71×30.9×30.9	ブロンズ	1 軀	第48回新制作協会展	

第1室 西洋美術

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
8	ライオネル・ファインガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1 面		
9	パウロ・クレイ	1879-1940	ある音楽家のための楽譜	1924	25.7×31.1	インク・水彩・紙	1 面		
10	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンピトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1 面		
11	アレクサンダー・カールト	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1 面		
12	パブロ・ピカソ	1881-1973	フランコの夢と嘘	1937	31.8×42.3	エッチング・シュガー・アークアチント・紙	2 面		前期
13	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第4刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アークアチント・紙	1 面		前期
14	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅰの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アークアチント・紙	1 面		後期
15	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第5刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アークアチント・紙	1 面		後期
16	パブロ・ピカソ		フランコの夢と嘘(Ⅱの第3刷)	1937	31.7×42.2	エッチング・シュガー・アークアチント・紙	1 面		後期
17	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫りのある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1 面		
18	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いたち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1 面		
19	ベン・シャーン	1898-1969	強制収容所	1944	61.0×61.0	テンペラ・板	1 面		
20	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴェーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1 面		
21	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1 面		
22	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイ・フレイム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1 点		
23	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高30.5	ブロンズ・弦	1 点		
24	バーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1 点		
25	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944(1983-84鑄造)	高125.7	ブロンズ	1 点		

第2室 日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
26	小林 千古	1870-1911	ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1 面	第10回白馬会展	
27	和田 三造	1883-1967	風景(ノバリ)	1909(明治42)	62.5×37.5	油彩・画布	1 面		
28	南 薫造	1883-1950	坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1 面	第4回文展	
29	小林 和作	1888-1974	春の山	1967(昭和42)	80.0×100.0	油彩・画布	1 面		
30	田中 万吉	1895-1945	サントロッペの漁港	1924-27(大正13-昭和2)頃	65.0×81.0	油彩・画布	1 面		
31	里見 勝蔵	1895-1981	娘の化粧	1928(昭和13)	80.3×65.2	油彩・画布	1 面	第15回二科展	
32	名井 萬亀	1896-1976	宮古市浄土が濱	1973(昭和48)	112.0×162.8	油彩・画布	1 面		
33	中西 利雄	1900-1948	マドモアゼル嬢	1938(昭和13)	62.5×48.4	水彩・紙	1 面		
34	岡田 謙三	1902-1982	北市場	1942(昭和17)	104.2×87.0	油彩・画布	1 面	第29回二科展	
35	山口 長男	1902-1983	象形	1956(昭和31)	182.3×183.2	油彩・板	1 面	第41回二科展	
36	山路 商	1903-1944	自画像	1942(昭和17)	26.0×19.2	油彩・板	1 面		
37	村井 正誠	1905-1999	スエズの朝	1932(昭和7)	46.0×55.0	油彩・画布	1 面	個展('34)	
38	檜山 武夫	1906-1932	陸橋	1931(昭和6)	91.0×91.0	油彩・画布	1 面	第18回二科展	
39	井上長三郎	1906-1995	屠殺場	1936(昭和11)	203.0×270.0	油彩・画布	1 面	第6回独立展	
40	鶴岡 政男	1907-1979	海のあやかし	1958(昭和33)	130.3×194.0	油彩・画布	1 面	第3回現代日本美術展	
41	麩 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1 面		
42	太田 忠	1908-1971	池のある風景	1956(昭和31)	162.1×130.3	油彩・画布	1 面	第2回現代日本美術展	
43	土屋 幸夫	1911-1996	果てしなき餐食	1938(昭和13)	37.9×45.5	油彩・画布	1 面	創紀美術協会前哨展	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
44	寺田 政明	1912-1989	二つの道	1954(昭和29)	116.9×91.2	油彩・画布	1面	第18回自由美術展	
45	岡部 繁夫	1912-1969	作品NR	1963(昭和38)	181.8×227.5	油彩・画布	1面		
46	松本 竣介	1912-1948	車庫近く	1942(昭和17)	33.4×45.5	油彩・画布	1面		
47	桂 ゆき	1913-1991	土	1939(昭和14)	61.0×50.0	油彩・画布	1面		
48	菅井 汲	1919-1996	SOLEIL BLEU(青い太陽)	1969(昭和44)	235.5×236.0	アクリル・画布	1面		
49	金光 松美	1922-1992	Mt.WHITNEY	1976(昭和51)	112.0×243.9	油彩・画布	1面		
50	高橋 秀	1930-	かにのある静物	1960(昭和35)	110.0×134.0	油彩・画布	1面		
51	入野 忠芳	1939-2013	裂鱗(れっか) 75-6	1975(昭和50)	130.3×162.1	油彩・画布	1面	第11回現代日本美術展大賞	

第3室 中・近世絵画／日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
52	狩野派		西湖図	室町時代	各137.5×353.6	紙本墨画	6曲1双		後期
53	狩野派		巖島図	江戸時代	151.0×334.0	紙本金地彩色	6曲1隻		前期
54	宋 紫石	1715-1786	柳下白鷄図	1769(明和6)	112.6×44.5	絹本彩色	1幅		後期
55	曾我 蕭白	1730-1781	伯顔図	1767(明和4)頃	133.2×57.0	紙本墨画	1幅		前期
56	福原 五岳	1730-1799	唐人人物図	1785(天明5)	171.0×276.5	紙本彩色	2曲1隻		前期
57	岡 岷山	1734-1806	梅花小禽図	江戸時代	42.4×33.4	絹本彩色	1面	『諸家書画帖』のうち	後期
58	頼 山陽	1780-1832	寒林訪友図	1827(文政10)	132.0×27.6	紙本墨画	1幅		前期
59	平田 玉蘊	1787-1855	唐美人図	江戸時代	42.4×33.4	絹本彩色	1面	『諸家書画帖』のうち	前期
60	里見 雲嶺	1849-1928	管絃祭図	1917(大正6)	51.5×74.1	絹本彩色	1幅		前期
61	竹内 栖鳳	1864-1942	城址	1924(大正13)	80.6×94.2	絹本墨画淡彩	1幅	第1回淡交会展	前期
62	田中 頼璋	1868-1940	高士訪友図	1914(大正3)頃	241.0×142.0	絹本彩色	1幅		後期
63	横山 大観	1868-1958	井筒	1897(明治30)	135.6×83.5	絹本彩色	1幅		後期
64	菱田 春草	1874-1911	高士望岳(莊重)	1902(明治35)	103.4×47.9	絹本墨画	1幅	第12回日本美術院絵画研究会	後期
65	内島 暁園	1874-1917	異国人物図	明治時代	199.1×142.0	絹本彩色	1面		前期
66	丸木 スマ	1875-1956	動物	1952(昭和27)	90.0×94.0	紙本彩色	1幅	童画展	前期
67	村上 華岳	1888-1939	菩薩図	1924(大正13)頃	58.2×50.6	絹本彩色	1幅		前期
68	森谷南人子	1889-1981	初春閑村	1938(昭和13)	116.0×195.0	紙本彩色	1面	第2回新文展	
69	金島 桂華	1892-1974	牡丹	1948(昭和23)	各163.0×171.0	紙本彩色	2曲1双	第4回日展	
70	速水 御舟	1894-1935	隠岐の海	1914(大正3)	113.0×42.2	絹本彩色	1幅	第1回赤曜会展	後期
71	甲斐莊楠音	1894-1978	横櫛	1918(大正7)	165.0×72.0	絹本彩色	1面	第1回国画創作協会展	後期
72	福田 恵一	1895-1956	イスパニアに寄る常長	1923(大正12)	111.3×115.8	絹本彩色	1幅	日本美術展	後期
73	児玉 希望	1898-1971	浅春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1面		
74	和高 節二	1898-1990	村の子供	1933(昭和8)	177.5×184.6	紙本彩色	2曲1隻	昭和8年度日本画会展	
75	丸木 位里	1901-1995	ラクダ	1938(昭和13)	171.0×183.0	紙本彩色	2曲1隻	第6回春の青龍社展	
76	船田 玉樹	1912-1991	日輪	1940(昭和15)	各181.0×181.0	紙本彩色	2曲1隻	紀元2600年奉祝日本画展	
77	塩出 英雄	1912-2001	春山	1969(昭和44)	176.0×242.0	紙本彩色	1面	第54回院展	
78	奥田 元宋	1912-2003	待月	1949(昭和24)	130.4×204.2	絹本彩色	1面	第5回日展	
79	平山 郁夫	1930-2009	受胎霊夢	1962(昭和37)	179.5×178.8	紙本彩色	1面	第47回院展	

第4室 日本とアジアの工芸

No.	作者・民族名・地域	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
80			草花蒔絵螺鈿書見台	桃山時代～江戸時代初期	高34.0 幅32.3	木・漆・蒔絵・螺鈿	1基		
81	三代金城一國齋	1829-1915	獅子牡丹高盛絵菓子器	1886(明治19)	総高165 19.0×19.0	木・漆・堆彩漆・高盛絵	1合		
82	植松 抱民	1845-1899	萩に雁研出蒔絵 文台		高12.5 35.6×61.2	木・漆・銀・蒔絵	1具		
83	植松 抱民		桜に燕研出蒔絵 硯箱		高4.3 4.0×21.0	木・漆・銀・蒔絵	1合		
84	六角 紫水	1867-1950	刀筆天部奏楽方盆	1927(昭和2)	高2.2 19.6×19.6	木・漆・漆絵・彫刻	1枚	第8回帝展	
85	清水 南山	1875-1948	波に龍文水瓶	1937(昭和12)	高33.0 径13.0	銀・鍍金・彫金	1点	第1回新文展	
86	浜田 庄司	1894-1978	黒釉鎗流描大鉢	昭和30年代後半	高13.8 径47.0	陶器	1口		
87	松田 権六	1896-1986	鷺蒔絵棚	1938(昭和13)	高69.5 39.3×90.5	木・漆・蒔絵・螺鈿・平文・鎌倉彫	1基	第2回新文展	後期
88	門田 篁玉	1916-	連作「蕾」	1975(昭和50)	高28.4 径57.5	竹	1口	第7回日展入選作	
89	八木 一夫	1918-1979	盲亀	1964(昭和39)	高34.0 13.0×31.0	黒陶	1点		
90	鈴木 治	1926-2001	神経質な鳥	1975(昭和50)	高18.7 20.0×12.6	青白磁・(台)木	1点		
91	今井 政之	1930-	釉彩海老飾皿	1973(昭和48)	径52.5 高9.1	陶器	1枚		
92	加守田章二	1933-1983	曲線彫文扁壺	1970(昭和45)	高27.1 12.0×23.0	陶器	1口		
93	ホラーサーン地方		青銅銀象嵌大水盤	12世紀中期	高22.5 径70.5	青銅・銀・鑄造	1口		

No.	作者・民族名・地域	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
94	ホラーサーン地方		胡銅円筒形灯籠	12世紀	高30.0 径24.0	砂張・打出・透彫	1基		
95	スラ(現ウズベキスタン)		刺繍布(スザニ)	19世紀前半	253.0×172.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
96	ウズベク人		女性用外衣(チャパン)	1900頃	129.0×162.8	経:絹・緯:綿・経緋・裏にプリント木綿	1領		
97	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈126.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		
98	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈125.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		
99	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルピ)	19世紀	総丈124.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		
100	テケ族、トルクメン人		背飾り(アシク)	1806/07(ビジュラ暦1221)	高26.5	銀・鍍金・カーネリアン	1枚		
101	北ヨムート族、トルクメン人		花嫁用頭飾り	1923/24(ビジュラ暦1342)	高14.7(下げ飾り除く)	銀・鍍金・ガラス	1点		
102	テケ族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	18世紀後半	幅27.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
103	インド		藍地葉文更紗	18世紀	254.4×93.0	木綿・手描防染	1枚		
104	インド、デカン		紺地クリシュナ・ゴビ文金更紗	18世紀	172.0×136.8	木綿・描絵金更紗	1枚		
105	インド、コロマデル海岸		生命の樹文更紗	1770頃	310.0×219.0	木綿・手描媒染防染	1枚		
106	インドネシア、パルメタガナ		影絵人形文経緯緋肩掛(グリーンシン)	19世紀	217.0×48.8	木綿・経緯緋	1枚		
107	ウズベク人		女性用脚衣	20世紀初頭	長90.2	経:絹・緯:綿・経緋	1枚		
108	ウズベク人		女性用上衣(コイネク)	20世紀初頭	142.0×191.6	経:絹・緯:絹・経緋	1領		
109	ヨムート族、トルクメン人		女性用上衣(コイネク)	1930以前	丈120.5	絹・見返しプリント木綿	1領		

関連事業

①記念講演会・対談(共催:広島県立美術館友の会)

日時:12月8日(土)

第一部(講演会) 13:30~14:30

講師:高階秀爾氏(元国立西洋美術館館長・大原美術館館長)

第二部(対談) 14:45~15:45

高階秀爾氏×千足伸行(当館館長)

会場:地階講堂

②当館学芸員による連続講座(各日13:30~15:00/場所:地階講堂)

10月6日(土) 神内有理「広島県立美術館の50年」

10月14日(日) 福田浩子「個性ある美術館コレクション—日本とアジアの工芸」

10月27日(土) 山下寿水「激動する美術—両大戦間期のドイツ、フランスを中心に」

11月3日(土・祝) 藤崎綾「近代日本洋画の魅力—当館のコレクションから」

11月25日(日) 角田新「自分を信じて—名井万亀の道—」

12月2日(日) 隅川明宏「広島の絵画と京・江戸」

③来場者による作品人気投票

日時:平成30年10月2日(火)~12月24日(月・振)

◎連続講座受講者及び人気投票者には特典として50周年記念オリジナルクリアファイルを謹呈

関連番組

広島テレビ『テレビ派 メイドイン広島』「50周年特集」(11月22日)

NHK『ひるまえ直送便』「秋の所蔵作品展紹介」(12月14日)

山陰放送ラジオ(8月30日)

関連記事

朝日新聞「県立美術館 至宝100点 開館50周年記念作品展」(9月14日)

中国新聞「開館50年 所蔵100点厳選」(9月22日)

山陰中央新聞「西日本最大規模開館50年」(10月8日)

中国新聞「美術品の総選挙」(11月1日)

中国新聞「美術館の成り立ち語る 美術評論家の高階さん」(12月28日)

冬の所蔵作品展

新収蔵品紹介(第4室)

小特集 マン・レイとデュシャン／菅井汲／庭園に集う文化(第1室・第2室・第3室)

平成31年1月2日(水)～4月14日(日)

前期：1月2日(水)～2月24日(日)

後期：2月26日(火)～4月14日(日)

彫刻展示スペース 人間国宝の系譜 江戸から現代まで

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	高11.5 口径24.4	磁器・色絵	1口		
2			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1軀		
3			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1軀		
4	白山 松哉	1853-1923	金地菊蒔絵香合		高1.0 径10.2	木・漆・蒔絵	1合		
5	清水 南山	1875-1948	獅子図目貫	1935(昭和10)	2.5×4.5	銀・金・彫金	1対		
6	加藤土師萌	1900-1968	倣明嘉靖黄地紅彩菊牡丹文角鉢	1954(昭和29)	高4.8 18.9×18.7	磁器・色絵	1口		
7	芹沢 銈介	1895-1984	晴雨屏風	1962(昭和37)	49.5×174.0	紬・型染	1隻		
8	黒田 辰秋	1904-1982	耀貝螺鈿師篋	1981(昭和56)	高19.0 15.5×30.5	木・漆・螺鈿	1合		
9	増村 益城	1910-1996	髹飾盛器	1960(昭和35)	高9.6 径44.3	漆・髹漆	1点	第7回日本伝統工芸展・文化財保護委員会委員長賞	
10	松井 康成	1927-2003	練上華小紋屋形陶篋	1990(平成2)	高19.0 22.0×29.8	陶器	1合		

第1室 小特集：マン・レイー時代の肖像、デュシャンを中心に
マン・レイー芸術家たちとの交友

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
11	マン・レイ	1890-1976	マルセル・デュシャン	1916	30.3×24.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
12	マン・レイ		理性への回帰	1923	28.4×22.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
13	マン・レイ		アングルのヴァイオリン	1924	30.8×23.1	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
14	マン・レイ		黒と白	1926	20.7×28.9	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
15	マン・レイ		ヴェールをかぶったキキ・ド・モンパルナス	1926	35.8×26.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
16	マン・レイ		サルバドール・ダリ	1929	28.7×22.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
17	マン・レイ		パブロ・ピカソ	1933	29.3×20.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
18	マン・レイ		ランプのあるセルボ・トレイト/ワ列ゼーション	1934	28.5×20.9	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
19	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ、木	1点		
20	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴェーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

レディ・メイドー描くことから選ぶことへ

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
21	マルセル・デュシャン	1887-1968	フレッシュ・ウイダー	1920/64	79.0×54.1×10.8	木・ガラス	1点	広島市現代美術館蔵	
22	マルセル・デュシャン		トランクの箱	1941	高10.2×40.7×38.1	ミクストメディア・ミニチュア・複製・レプリカ・写真	1組	高松市美術館蔵	一部展示替えあり
23	マン・レイ	1890-1976	「Tu m」のあるキャサリン・ドワイヤー婦人の書斎	1919	37.6×27.4	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
24	マン・レイ		M.デュシャンのレディメイド「壺乾燥器」	1920頃	27.0×37.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
25	マン・レイ		贈り物	1921	20.2×14.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
26	ジョゼフ・コーネル	1903-1972	オブジェ(ポーリン・クック)	1932	高30.5×20.3×5.7	箱・写真・コルク・ゴムボールなど	1点	個展(ジュリアン・レヴィ画廊、1932)	

運動する事物、それは「視覚的」でなく

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
27	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンピトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
28	マルセル・デュシャン	1887-1968	アネミック・シネマ	1926		映像(約7分)	1本		
29	マン・レイ	1890-1976	アトリエのマルセル・デュシャン	1920	35.7×26.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
30	マン・レイ		マルセル・デュシャンのアトリエ/回転ガラス板	1920	26.7×22.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
31	マン・レイ		カサッティ侯爵夫人/わが魂の肖像	1922	29.2×21.2	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
32	マン・レイ		チェスをするマルセル・デュシャンとラウル・ド・ルシー	1924	22.3×23.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		

ローズ・セラヴィ、あるいは独身者たち

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
33	マルセル・デュシャン	1887-1968	L.H.O.O.Q.	1919	26.8×17.8	複製印刷に鉛筆	1面	高松市美術館蔵	
34	マン・レイ	1890-1976	隣(りあう)金属製の水車のある橋の 後のマルセル・デュシャン	1917	22.5×30.4	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
35	マン・レイ		マルセル・デュシャン、ニューヨーク	1917	37.5×27.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
36	マン・レイ		剃髪したマルセル・デュシャン	1919	37.5×27.1	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
37	マン・レイ		マルセル・デュシャンとジョセフ・ステラ	1920	30.2×22.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
38	マン・レイ		埃の培養	1920	21.1×37.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
39	マン・レイ		剃髪	1920	30.2×24.1	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
40	マン・レイ		M.デュシャンの作品「美しい吐息」	1921	37.8×27.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
41	マン・レイ		ローズ・セラヴィ(マルセル・デュシャン)	1921	32.4×24.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		

第2室 小特集：菅井汲 — 理想を追い求めた作家

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
42	菅井 汲	1919-1996	月へ旅立つ鬼	1963(昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面		
43	菅井 汲		ナショナル・ルート	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1面		
44	菅井 汲		大都会の夜	1966(昭和41)	57.5×40.0	リトグラフ・紙	1面		
45	菅井 汲		自画像	1968(昭和43)	76.5×56.1	シルクスクリーン・紙	1面		
46	菅井 汲		フェスティバル・ド・トーキョー	1969(昭和44)	50.5×182.0	シルクスクリーン・紙	1面		
47	菅井 汲		パーキング	1970(昭和45)	246.0×200.0	アクリル・画布	1面		
48	菅井 汲		自画像	1974(昭和49)	75.4×51.4	シルクスクリーン・紙	1面		
49	菅井 汲		私の車 ポルシェ	1975(昭和50)	33.8×95.5	シルクスクリーン・紙	1面		
50	菅井 汲		V6	1979(昭和54)	230.0×200.0	アクリル・画布	1面		
51	菅井 汲		ヴァリアシオン	1970年代後半	200.5×200.5	アクリル・画布	1面		
52	菅井 汲		ヴァリアシオン	1980(昭和55)	94.5×65.3	アクリル・画布	1面		
53	菅井 汲		V10	1980(昭和55)	200×200	アクリル・画布	1面		
54	菅井 汲		黄色い矢印	1987(昭和62)	197.0×197.0	アクリル・画布	1面		
55	菅井 汲		S.27 S.28	1991(平成3)	250.0×264.0	アクリル・画布	2面		
56	菅井 汲		アクシデント	1992(平成4)	197.0×197.0	アクリル・画布	1面		
57	菅井 汲		カドミウム・レッド31.32	1993(平成5)	250.0×264.0	アクリル・画布	1面		
58	菅井 汲		無題	1993(平成5)	250.0×397.5	アクリル・画布	3面		

第3室 小特集：庭園に集う文化

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
59	望月 玉蟾	1692-1755	九老図	1749(寛延2)頃	116.2×43.4	絹本彩色	1幅		前期
60	望月 玉蟾		維摩居士図	江戸時代	106.0×44.0	絹本墨画	1幅		前期
61			唐子遊び図	江戸時代	各113.5×269.8	絹本彩色	6曲1双		前期
62			宮島図	江戸時代	各149.9×355.6	紙本彩色	6曲1双		後期
63	柳沢 里之	1758-1804	水仙小禽図	1803(享和3)	42.4×33.4	絹本彩色	1面	『諸家書画帖』のうち	前期
64	阿部 正精	1775-1826	楼閣山水図	1795(寛政7)	42.4×33.4	絹本彩色	1面	『諸家書画帖』のうち	後期
65	小倉 武駿	? -1839	花籠図	江戸時代	96.0×43.0	絹本彩色	1幅		前期
66	山野峻峯斎	1784-1852	蓬萊図	江戸時代	各97.0×36.0	絹本墨画淡彩	2幅		後期
67	片田 天玲	1897-1985	二月	1966(昭和41)	160.0×360.0	紙本彩色	6曲1隻		
68	児玉 希望	1898-1971	驟雨来	1947(昭和22)	73.5×84.0	絹本彩色	1面		
69	船田 玉樹	1912-1991	宇治の春	1954(昭和29)	180.0×242.0	紙本彩色	1面	第39回院展	
70	塩出 英雄	1912-2001	婦女図	1946(昭和21)	各170.5×169.0	紙本彩色	2曲1双	第31回院展	
71	塩出 英雄		清泉	1953(昭和28)	231.1×189.6	紙本彩色	2曲1隻	第38回院展	
72	塩出 英雄		草庵	1964(昭和39)	178.2×223.0	紙本彩色	1面	第49回院展	
73	塩出 英雄		山峯	1971(昭和46)	173.4×243.2	紙本彩色	2曲1隻	第56回院展	
74	塩出 英雄		亭橋	1975(昭和50)頃	174.4×242.4	紙本彩色	2曲1隻	第60回院展	
75	奥田 元宋	1912-2003	室戸	1952(昭和27)	100.0×181.5	紙本彩色	1面	第8回日展	
76	三上 巴峽	1913-1985	鳳凰堂	1965(昭和40)	179.0×240.7	紙本彩色	1面	第8回新日展	
77	水谷 愛子	1924-2005	茶事	1982(昭和55)	167.2×211.7	紙本彩色	1面	第65回院展	
78	平山 郁夫	1930-2009	黄河(晨)	1986(昭和61)	171.2×364.6	紙本彩色	4曲1隻	第71回院展	

第4室 新収蔵品紹介

日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
79	橋本 関雪	1883-1945	緋桃白鷺図	1925(大正14)頃	60.9×86.0	絹本彩色	1幅	平成29年度 新収蔵	
80	橋本 関雪		雨後新月図	1939(昭和14)頃	86.9×101.1	絹本墨画淡彩	1幅	平成29年度 新収蔵	
81	村上 華岳	1888-1939	秋草図	1928(昭和3)頃	37.6×42.5	絹本墨画淡彩	1幅	平成29年度 新収蔵	

日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
82	小林 千古	1870-1911	ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面		
83	南 薫造	1883-1950	瀬戸内風景2	1940年代後半	49.8×60.5	油彩・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
84	小林 和作	1888-1974	秋山	1959(昭和34)頃	60.5×73.0	油彩・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
85	小林 和作		石廊崎		80.9×100.5	油彩・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
86	小林 和作		安房峠		24.2×41.0	油彩・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
87	若山 為三	1893-1961	塔のある風景	1924(大正13)	24.0×30.6	油彩・紙	1面		
88	若山 為三		丘の風景	1924(大正13)	26.0×32.1	油彩・紙	1面		
89	名井 萬亀	1896-1976	破滅	1952(昭和27)	65.0×90.5	油彩・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
90	麩 光	1907-1946	風景	1944(昭和19)	41.0×52.5	油彩・画布	1面		
91	殿敷 侃	1942-1992	川岸	1965(昭和40)	35.5×52.0	油彩・合板	1面	平成29年度 新収蔵	
92	殿敷 侃		足	1966(昭和41)	34.0×24.2	油彩・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
93	殿敷 侃		自画像	1975(昭和50)頃	41.0×31.8	油彩・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
94	殿敷 侃		ケロイド(2)	1981(昭和56)	214.5×187.5	シルクスクリーン・画布	1面	平成29年度 新収蔵	
95	殿敷 侃		線の集積	1983(昭和58)頃	109.0×78.5	ボールペン・紙	1面	平成29年度 新収蔵	
96	殿敷 侃		点の集積	1983(昭和58)頃	109.0×79.0	フェルトペン・紙	1面	平成29年度 新収蔵	
97	殿敷 侃		線の集積(大)	1984(昭和59)	138.0×102.0	鉛筆・紙	1面	平成29年度 新収蔵	

工芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
98	五代金城一國斎	1906-1991	高盛絵鉄線花に蜂画香筒	1983(昭和58)	長34.0 径2.5	竹・漆・高盛絵(堆彩漆)	1合	平成29年度 新収蔵	
99	五代金城一國斎		高盛絵四季寄花硯箱	1980(昭和55)	高4.7 27.0×23.0	木・漆・高盛絵(堆彩漆)	1合	平成29年度 新収蔵	

文化勲章受章記念展示

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
100	今井 政之	1930-	「條」苔泥彩壺	1968(昭和43)	高36.0 口径26.5	陶器	1口		
101	今井 政之		象嵌彩窯変磯蟹大皿	1985(昭和60)	高8.7 径60.5	陶器	1枚		
102	今井 政之		躍鳥扁壺	1953(昭和28)	高38.2 幅38.8 奥行22.9	陶器	1口	第9回日展	

関連事業

①ギャラリーリレートーク

日時：3月8日(金) 15:00～

講師：岡地智子、山下寿水、角田 新、隅川明宏(当館学芸員)

②広島県立美術館所蔵作品総選挙結果発表

秋の所蔵作品展で開催された、来館者による人気投票の結果を発表。(館内掲示及びホームページ、フェイスブックなどのSNSにて)

その他

『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑥マン・レイ 喜び、遊ぶ、愉しむ。』・『広島県立美術館 所蔵作品ミニガイド⑦菅井汲 新しい美術を求めて』を来館者に無料配布

Ⅲ 普及活動

1 第6回新県美展(第70回広島県美術展)

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。平成25年度には、より広く県民が参加できる美術展をめざして、新たに映像系部門を加え、また、入館者人気大賞を実施するなどの見直しを行い、「新県美展」としてリニューアルした。

本年度は、応募点数1,081点のうち497点が入選。うち、受賞作品56点(大賞7点、優秀賞14点、奨励賞35点)。これら入選作品に加え、第6回広島県ジュニア美術展大賞受賞者8名の作品や、県内における制作指導や美術文化の発展に貢献した招待作家12名の作品を展示した。また、期間中の入館者人気投票により入館者人気大賞7点が選定された。

主催

広島県

共催

竹原市教育委員会、三次市教育委員会、府中市教育委員会、世羅町教育委員会、福山市、三原市教育委員会、庄原市教育委員会、江田島市教育委員会、中国新聞社

後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、リビングひろしま

開催会場、期間および観覧者数

市町名	会場	会期	観覧者数
広島市(中央展)	広島県立美術館	6月23日(土)～7月8日(日)	5,052人
竹原市	たけはら美術館	7月18日(水)～7月22日(日)	108人
三次市	美術館あーとあい・きさ	7月25日(水)～7月29日(日)	213人
府中市	府中市生涯学習センター	8月8日(水)～8月12日(日)	449人
世羅町	世羅町せらにシタウンセンター	8月15日(水)～8月19日(日)	141人
福山市	ふくやま美術館	8月22日(水)～8月26日(日)	1,254人
三原市	三原リージョンプラザ	8月29日(水)～9月2日(日)	705人
庄原市	庄原市田園文化センター	9月5日(水)～9月9日(日)	339人
江田島市	中町公民館	9月12日(金)～9月16日(日)	404人

合計 8,665人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎加藤 宣也 ○倉田喜久栄 沖野 信子 宮地 真里	◎前田 珠紀 石出喜実子 本田 彰代 川本 敬子	○金蔵美代子 河部 光恵 満居 由賀 安道 隆之	○浅岡 林士 荒木 和雄 塚本 淳子	○吉川 順子 大城 薫 香川 俊
彫塑系	◎野路 孝司	○大村洋二郎	伊東 優	品川 知枝	
工芸系	◎沖田 要 小池 勝	○永谷 早登 森川 直美	○岡本詩穂里	大原 隆行	中元 英夫
書系	◎児玉 裕美 三宅志津恵	○高木 月泉 黒田 勝美	○鶴川 稲山 黒川 紫苑	田中純子(清純) 中森 翔星	芥川 桑園 西岡三千男
写真系	◎関城 良典 丹上 槌馬 川信 晶	○小森 卓爾 本村 博三	○小澤 豊 香川 和久	家本 薫一 岡山 茂	高橋 月美 殿村 芳男
デザイン系	◎岡崎 隆一	○山崎佐知子	山口 正光		
映像系	○竹森 香那	○郷原 由依	久光ゆりえ		

2 第7回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力(感じる力、考える力、みる・かく・つくる力)の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催している。このたびの第7回展では、応募作品3,114点のうち782点が入選。うち、受賞作品126点(大賞8点、優秀賞25点、奨励賞93点)。また、共同作品には12点の出品があった。

主催

広島県

共催

広島県教育委員会、中国新聞社

後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー 76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、広島リビング新聞社

会場

広島県立美術館 地階県民ギャラリー

会期

平成30(2018)年12月15日(土)～12月24日(月・振)

入館料

無料

観覧者数

4,804人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎樋口 千寧	◎伊藤 勇人	◎宮本 仁	○小早川瑠星	○香本 文野	
	○澤田 真緒	○山崎 美空	○折田 結衣	○藤井 咲那	○藤田 紗那	
	○竹本 夏実	○米田 一惺	○川本 光真	○志水 智美	○保手濱聖音	
	角本 翔	河原 昊志	横畠 蓮	高塚 葡唯	大林 開	
	長門 慈海	作田 七翠	石谷 美心	角濱 眞裕	藤原 凧矢	
	高山 華恋	今村 啓吾	松田 韻	相 智信	寺越誠太郎	
	藤井 渉	足立 朋香	赤松 翔太	佐田 朱音	松本 萌花	
	沖井 烈	竹本 圭汰	樋口 茉耶	高橋 花琉	檀上 稜空	
	眞子 遥翔	松本 陽亮	岡本稀々香	森下 心温	丸山 陽愛	
	田川 斗哉	高久龍之丞	三原 章宏	世羅 紗彩	榊本 陸斗	
	山本 夕愛	直井 優樹	植村 璃里	持田 杏樹	清水 成実	
	松岡 心空	平岡 和				
	彫刻系	◎桂 一賀	○藤縄あのん	赤澤 公仁	相馬 言胤	ファウラ宥仁
		中村 怜那				
工芸(工作)系	◎吉田 麻紗	○菅 瑞雪	○林 青空	○本田 一樹	○岡田 優生	
	○伊藤 勇人	土井健太郎	転堂 夏妃	西村 美桜	菅 夏瑞	
	横山 りみ	辻野 花音	瀬戸 大輝	辰巳琳乃助	石田 花音	
	湯谷 友喜	藤川 翼希	佐々木 香	村上 心優	升谷 大香	

写 真 系	椿 秀大 ◎田中 蒼恭 戸田 心実	伊藤 佑斗 ○岩井 智明	田口 湊希 中川 湮	琴森 宙歩 星加壮二郎	本田 小陽 宮村 花菜
デザイン系	◎木村 有希 ○森本 結菜 遠野 歩渚 池本 望美 加藤 紗季 石田 彩楓 木林 美鈴	◎下川 涼乃 ○磯部 美佐 福原 考人 田坂 弥空 中本 帆香 川口ほのか 瀬戸 結子	○赤川 柊斗 ○竹田 楓花 谷本 彩耶 井上 梨央 空久保咲穂 小林 杏菜	○高塚 葡唯 岩下 紘大 賀谷咲和香 丸山 遥 竹下 葵 黒川 彩夏	○馬場 柚希 高塚 東儀 坂本 太輝 松尾 咲良 徳永 友里 茂津目こころ

3 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月17日(金)	9:30~10:15	開講あいさつ・オリエンテーション
	10:15~11:30	講座①「美術館と学芸活動」
	11:30~12:00	ギャラリートーク実習①(概論)
	13:00~14:00	講座②「美術館の展示環境・展示手法」
	14:00~15:00	展覧会见学①「所蔵作品展」
8月18日(土)	9:30~12:00	作品取扱い実習・調書作成①(西洋美術)
	13:00~15:00	作品取扱い実習・調書作成②(日本美術)
	15:00~16:00	展覧会取材(館内取材)
8月20日(月)	9:30~12:00	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)
	13:00~14:00	ギャラリートーク実習②(企画-立案)
	14:00~15:00	ギャラリートーク実習③(実地見学)
	15:00~16:00	ギャラリートーク実習④(企画-立案)
8月21日(火)	9:30~12:00	ギャラリートーク実習⑤(企画-集約)
	13:00~16:00	ギャラリートーク実習⑥(企画-制作)
8月22日(水)	9:30~12:00	ギャラリートーク実習⑦(企画-発表準備)
	13:00~15:00	ギャラリートーク実習⑧(発表)
	15:00~16:00	受講生ディスカッション

受講生所属大学

神戸女子大学、立命館大学、金沢美術工芸大学、武蔵野美術大学、東京工芸大学、比治山大学、安田女子大学、山口大学、尾道市立大学、県立広島大学、広島大学、高知大学、広島市立大学、広島女学院大学(申込順、計22名)

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ギャラリートーク実習」では、所蔵作品展で展示中の作品の中から対象作品を選定し、模擬的なギャラリートークを実施した。受講生は4班に分かれ、グループワークにより、各班で対象者、作品、対象者に合わせたトーク内容、ギャラリートーク全体のテーマを決定。作品を繰り返しよく見ることで発見した見方や感じ方を掘り下げること、作品への理解を深め、鑑賞の楽しみが広がることを体験するとともに、来館者の目線に立ったトーク内容の検討と発表により、学芸業務を追体験することを目的とした。各班のテーマ、対象者、作品は次の通り。

①	美術の中の生き物—不思議な冒険—(対象:初めて所蔵作品展に来られた子ども連れの家族) 鈴木治《鳥のプロペラ》、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、角浩《平和のメリーゴーランド》、宇根元警《花のある季節》、児玉希望《河童》、橋本雅邦《竜虎争気》、和高節二《仔牛誕生》《ひなた》、《伊万里柿右衛門様式色絵馬》、トルクメン人《首胸飾り(ブカウ)》
②	シュルレアリスムが表現する「不安と希望」(対象:高大生、大人) 川上力三《廃景》、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》、ルネ・マグリット《人間嫌いたち》、鬘光《二重像》、古沢岩美《死の誕生》、角浩《平和のメリーゴーランド》
③	変なオブジェ(対象:学校教育の一環として美術館を訪れた高校生) マックス・エルンスト《オイディプスI、II》、川上力三《廃景》、八木一夫《いつも離陸の角度で》、笹山忠保《魔法のじゅうたん》
④	自然の世界へ出かけよう(対象:小・中学生) マックス・エルンスト《博物誌》

(本研修担当者:藤崎 綾)

4 学校・地域との連携事業 「美術作品鑑賞授業・出張講座」

事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、美術館と学校や地域との相互交流を促進する。

(1) 美術作品鑑賞授業

当館の所蔵作品を学校に持ちこみ、教師・学芸員が連携して鑑賞授業を行うことにより、児童・生徒の美術への関心や鑑賞力を高める機会を提供する。なお、この実施校の決定には、県内の各学校に問合せを行ない、近隣に美術館がなく、日頃美術作品に触れる機会の少ない学校を優先するなど、地域や校種のバランス、過去の開催実績を考慮した。

実施日程

① 廿日市市立佐伯中学校

実施月日：平成30年10月17日(水) 10:40~11:30、11:40~12:30、13:30~14:20、14:30~15:20

目標：作品に込められた作者の意図や、表現の工夫を伝え、美術に親しみをもたせる。

内容：ワークシートを用いた個人鑑賞では、作品をひとつ選んでスケッチした後、吹き出しをつけて人物のせりふを考えた。その後の全体鑑賞では、考えたせりふの発表から、作品のどこから想像したのかを聞き、作者・作品解説につなげた。制作背景を知った上で、自身が作品についてどう思うか、どの作品が好きかを再考した。

進行：隅川明宏、森万由子(当館学芸員)

鑑賞作品：平山郁夫《みのり》、芥川永《たき火する人(かえる人/たき火)》、
圓錐勝三《道化師》、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》(レプリカ)

参加人数：計184名(1~3年生)

② 広島県立庄原実業高等学校

実施月日：平成30年10月24日(水) 10:40~11:30、11:40~12:30

目標：美術に親しみをもたせる。自身が受けた印象や作者の意図を、他者と共有する。

内容：ワークシートを用いた個人鑑賞のあと、全体で作品を見て感じたこと、考えたことを発言しあった。適宜パワーポイントで関連作品画像や制作風景等を参照した。制作背景を知った上で、自身が作品についてどう思うか、どの作品が好きかを再考した。

進行：隅川明宏、森万由子(当館学芸員)

鑑賞作品：平山郁夫《みのり》、和高節二《仔牛》、武永楨雄《風雪民家(庄原市山内)》、
今井政之《象嵌赫窯瀬戸の幸大皿》

参加人数：計46名(1年生)

③ 広島市立湯来西小学校

実施月日：平成30年11月12日(月) 10:50~11:35、11:35~12:20

目標：美術に親しみをもたせる。自身が受けた印象や作者の意図を、他者と共有する。

内容：3時間目は1~6年全員で、平山郁夫《みのり》を中心に鑑賞した。対話形式で、作品についての気付きや、印象などを全員で共有したのち、作者・作品解説を行った。4時間目は4~6年の高学年のみで、まずはワークシートを用いた個人鑑賞の時間とした。その後、ワークシートに記入した内容を聞きながら、出てきた意見につなげる形で解説を行った。

制作背景を知った上で、自身が作品についてどう思うか、どの作品が好きかを再考した。
 進行：隅川明宏、森万由子(当館学芸員)
 鑑賞作品：平山郁夫《みのり》、武永慎雄《初冬(湯来町)》、圓鍔勝三《道化師》、
 今井政之《象嵌赫窯瀬戸の幸大皿》
 参加人数：計17名(1～6年生)

(2) 出張講座

本講座は、県立美術館の学芸職員が公民館や生涯学習センター、学校などに出向き、スライドなど鑑賞補助教材を用いて行うもので次の2つのコースを設定した。

A コレクション・トーク 当館所蔵作品や地域文化などをテーマに行う講座(14講座)

B 特別展のためのとくべつ講座 当該年度に開催する特別展を紹介する講座(3講座)

平成30年度における実施状況は次表のとおりで、地域や学校における美術鑑賞活動を支援するとともに、特別展を普及広報し、美術館への関心や親しみを醸成した。

No.	開催日	会場	講師	講座タイトル	参加(人)
1	7月5日(木)	Kultピア明郷	隅川	名勝縮景園の歴史と美意識	120
2	7月26日(木)	五月が丘公民館	角田	水彩画の魅力	50
3	7月28日(土)	安佐南区図書館	福田	中央アジアの刺繍をしてみよう!	30
4	8月1日(水)	廿日市市立大野東中学校	藤崎	「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」を楽しむ 「山路商と広島近代洋画家」	10
5	9月13日(木)	広島市三篠公民館	隅川	名勝縮景園の歴史と美意識	40
6	10月10日(水)	海田公民館	隅川	名勝縮景園の歴史と美意識	20
7	10月18日(木)	府中公民館	隅川	名勝縮景園の歴史と美意識	40
8	11月12日(月)	竹原市立大井公民館	福田	文化体験 シルクロードのパラオを作って食べよう!	15
9	11月19日(土)	広島市東野公民館	隅川	名勝縮景園の歴史と美意識	50
10	11月21日(月)	広島県立美術館講堂	藤崎	「ブリューゲル展 画家一族150年の系譜」を楽しむ	40
11	1月17日(木)	廿日市市平良市民センター	岡地	第65回日本伝統工芸展を楽しむ	24

(全11会場／参加合計 439人)



5 新規作成ワークシート・所蔵作品ミニガイド

1) 来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。平成30年度は新たに3種類のワークシートを作成し、合わせて329種となった。

No.	所蔵品番号	作者名・制作地	作品名	制作年	材質・技法
1	PG-50	マン・レイ	M. デュシャンのレディメイド「曇乾燥器」	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
2	O-815	小林 和作	石廊崎	不詳	油彩・キャンパス
3	P-439	殿敷 侃	ケロイド(2)	1981(昭和56)	シルクスクリーン・紙・キャンパス

ワークシート作例



2) 来館者の鑑賞を支援するため、所蔵作品のミニガイドブック(16頁)を作成している。平成30年度は新たに4種類のミニガイドを作成し、合わせて7種となった。
※No.1~3は平成29年度に作成した。

No.	タイトル
1	児玉希望 伝統と革新の日本画
2	インドの古更紗 世界が憧れた布
3	六角紫水 近代漆芸の風雲児
4	和高節二 野に生きた画家
5	中央アジアの工芸 ウズベクとトルクメンの手仕事
6	マン・レイ 喜び、遊ぶ、愉しむ。
7	菅井 汲 新しい美術を求めて



④ 和高



⑤ 中央アジア



⑥ マン・レイ



⑦ 菅井 汲

6 学校等による利用状況

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
1	岡山市立高松中学校	岡山県岡山市北区高松原古才30	平成30年4月19日	31	0	31
2	広島国際学院大学	広島県広島市安芸区中野6丁目20-1	4月21日	119	12	131
3	瀬戸内市立邑久中学校	岡山県瀬戸内市邑久町山手2	4月27日	12	0	12
4	広島市立長束小学校	広島市安佐南区長束4丁目15-1	4月27日	75	4	79
5	広島県立安芸南高等学校	広島市安芸区矢野西2丁目15-1	4月27日	187	12	199
6	広島県立世羅高校	広島県世羅郡世羅町大字本郷870	5月6日	2	0	2
7	矢掛町立矢掛中学校	岡山県小田郡矢掛町矢掛2957番地	5月8日	25	1	26
8	佐賀市立城南中学校	佐賀県佐賀市南佐賀1丁目20-1	5月8日	6	0	6
9	広島市立深川小学校	広島県広島市安佐北区深川5丁目12-1	5月8日	14	0	14
10	岩国市立周東中学校	山口県岩国市周東町下久原483	5月9日	5	0	5
11	新見市立哲西中学校	岡山県新見市哲西町矢田3193	5月9日	5	0	5
12	赤磐市立磐梨中学校	岡山県赤磐市沢原149	5月10日	13	0	13
13	下松市立末武中学校	山口県下松市美里町1丁目8-1	5月10日	22	0	22
14	射水市立新湊南部中学校	富山県射水市鏡宮193-1	5月10日	2	0	2
15	笠岡市立神島中学校	岡山県笠岡市神島外浦1555	5月10日	8	0	8
16	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	5月11日	12	1	13
17	赤磐市立高陽中学校	岡山県赤磐市上市51番地	5月11日	11	1	12
18	岡山市立福浜中学校	岡山県岡山市南区三浜町2丁目3-26	5月11日	11	0	11
19	岡山市立富山中学校	岡山県岡山市中区海吉1462-5	5月11日	6	0	6
20	岡山市立建部中学校	岡山県岡山市北区建部町建部上734	5月14日	14	0	14
21	笠岡市立大島中学校	岡山県笠岡市大島中7291-1	5月15日	12	0	12
22	鹿児島市立清水中学校	鹿児島県鹿児島市稲荷町36-36-29	5月15日	6	0	6
23	いちき串木野市立羽島中学校	鹿児島県いちき串木野市羽島5355	5月15日	5	0	5
24	鹿児島市立郡山中学校	鹿児島県鹿児島市郡山町1500	5月15日	7	0	7
25	山辺町立山辺中学校	山形県東村山郡山辺町清水1番地1	5月16日	17	0	17
26	佐賀市立東与賀中学校	佐賀県佐賀市東与賀町大字下古賀1127-1	5月16日	36	0	36
27	岩国市立灘中学校	山口県岩国市藤生町2丁目25-1	5月16日	27	0	27
28	豊岡市立小坂小学校／小野小学校	兵庫県豊岡市出石町	5月17日	5	0	5
29	笠岡市立金浦中学校	岡山県笠岡市吉浜1830番地2	5月19日	11	0	11
30	飛騨市立古川中学校	岐阜県飛騨市古川町沼町100	5月22日	12	0	12
31	岩国市麻里布中学校	山口県岩国市室の木町2丁目7-11	5月23日	15	0	15
32	岩国市立由宇中学校	山口県岩国市由宇町北5-2-1	5月24日	58	2	60
33	岩国市立川下中学校	山口県岩国市中津町2丁目22-25	5月24日	9	0	9
34	周南市立熊毛中学校	山口県周南市大字安田1827-1	5月24日	6	0	6
35	岩国市立東中中学校	山口県岩国市三笠町2丁目1-9	5月24日	77	0	77
36	岩国市立平田中学校	山口県岩国市平田6丁目10-33	5月24日	41	0	41
37	平生町立平生中学校	山口県熊毛郡平生町大字曾根1844	5月24日	15	0	15
38	周南市立福川中学校	山口県周南市若山1丁目7-1	5月24日	10	0	10
39	広島桜が丘高等学校	広島県広島市東区山根町36-1	5月24日	2	0	2
40	広島市立国泰寺中学校	広島県広島市中区国泰寺町1丁目1-41	5月25日	2	0	2
41	神戸市立玉津中学校	兵庫県神戸市西区玉津町今津万願寺364	5月27日	23	0	23
42	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市錦見2丁目5-80	5月28日	74	0	74
43	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	5月29日	9	9	18

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
44	周防大島町立大島中学校	山口県大島郡周防大島町大字西屋代2598	5月29日	4	0	4
45	周防大島町立東和中学校	山口県大島郡周防大島町大字西方2048-1	5月30日	8	1	9
46	広島加計学園英数学館高等学校	福山市引野町980-1	6月1日	16	2	18
47	県立広島大学	広島市南区宇品東1丁目1-71	6月2日	58	0	58
48	鈴鹿中等教育学校	三重県鈴鹿市庄野町1230	6月8日	5	0	5
49	新見市立新見南中学校	岡山県新見市石蟹135	6月8日	5	0	5
50	藤沢市立湘洋中学校	神奈川県藤沢市辻堂東海岸4丁目17-1	6月23日	14	0	14
51	比治山大学	広島市東区牛田新町4丁目1-1	6月30日	22	1	23
52	広島県立高陽高等学校	広島市安佐北区真亀3丁目22-1	7月4日	2	0	2
53	広島市立基町高等学校	広島市中区西白島町25-1	7月11日	2	0	2
54	庄原市立高野中学校	庄原市高野町新市1314番地	7月18日	11	2	13
55	女子学院高等学校	東京都千代田区一番町22-10	7月19日	18	1	19
56	広島大学付属東雲中学校	広島市南区東雲3丁目1-33	7月20日	2	0	2
57	広島大学付属東雲中学校	広島市南区東雲3丁目1-33	7月21日	2	0	2
58	広島市立広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東1丁目14-1	7月21日	2	0	2
59	広島市立広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東1丁目14-1	7月22日	4	0	4
60	広島市立三篠小学校	広島市西区三篠町1丁目9-25	7月22日	7	0	7
61	比治山女子中学校	広島市南区西霞町5-16	7月24日	4	0	4
62	広島県立広島皆実高等学校	広島市南区出汐2丁目4-76	7月24日	2	0	2
63	進徳女子高等学校	広島市南区皆実町1丁目1-58	7月24日	2	0	2
64	広島市立城山北中学校	広島市安佐南区八木5丁目34-1	7月25日	2	0	2
65	広島女学院高等学校	広島市中区上職町11-32	7月25日	3	0	3
66	広島県立総合技術高等学校	三原市本郷南5丁目25-1	7月25日	2	0	2
67	崇徳高等学校	広島市西区楠木町4丁目15-13	7月25日	2	0	2
68	岩国市立平田中学校	山口県岩国市平田6丁目10-33	7月27日	19	1	20
69	広島大学国際交流グループ	東広島市鏡山1丁目3-2	7月27日	74	0	74
70	広島市立広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東1丁目14-1	7月27日	2	0	2
71	広島市立広島商業高等学校	広島市東区牛田新町1丁目1-1	7月30日	6	2	8
72	竹原市立竹原中学校	竹原市下野町2230	7月31日	7	1	8
73	広島市立五日市南中学校	広島市佐伯区海老園4丁目2-21	7月31日	4	0	4
74	広島県立広島井口高等学校	広島市西区井口明神2丁目11-1	7月31日	2	0	2
75	広島県立祇園北高等学校	広島市安佐南区祇園8丁目25-1	7月31日	5	0	5
76	広島市立仁保中学校	広島市南区仁保1丁目56-1	8月1日	17	0	17
77	広島市立広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東1丁目14-1	8月1日	22	0	22
78	廿日市市立大野東中学校	廿日市市大野414	8月4日	13	0	13
79	広島市立五日市南中学校	広島市佐伯区海老園4丁目2-21	8月4日	6	0	6
80	広島市立広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東1丁目14-1	8月5日	10	0	10
81	広島市立船越中学校	広島市安芸区船越6丁目44-1	8月7日	20	3	23
82	広島市立東原中学校	広島市安佐南区東原3-8-1	8月8日	22	3	25
83	東広島市立高谷中学校	東広島市高谷町中島760	8月9日	19	2	21
84	広島市立広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東1丁目14-1	8月10日	7	0	7
85	広島市立広島中等教育学校	広島市安佐北区三入東1丁目14-1	8月15日	7	0	7
86	田布施町立田布施中学校	山口県熊毛郡田布施町大字下田布施1050番地4	8月20日	34	2	36
87	岩国市立岩国中学校	岩国市錦見2-5-80	8月20日	31	4	35
88	広島市立日浦中学校	広島市安佐北区あさひが丘7丁目20-1	8月21日	8	0	8

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
89	広島県立商業高等学校	広島市中区舟入南6丁目7-11	8月24日	6	0	6
90	東京理科大学 堀戸研究室	東京都葛飾区新宿6-3-1	9月4日	24	0	24
91	小井出ファッションビューティー専門学校	広島市南区金屋町1-20	9月5日	25	0	25
92	小井出ファッションビューティー専門学校 家政高等課程	広島市南区金屋町1-20	9月7日	17	3	20
93	比治山女子高等学校	広島市南区西霞町5-16	9月7日	2	0	2
94	広島市立飯室小学校	広島市安佐北区安佐町大字飯室1544	9月8日	43	3	46
95	小井出ファッションビューティー専門学校	広島市南区金屋町1-20	9月10日	80	0	80
96	北広島町大朝中学校	山県郡北広島町大朝4683-1	9月12日	18	4	22
97	広島市立深川小学校	広島市安佐北区深川5丁目12-1	9月12日	15	6	21
98	伊万里市立東陵中学校	佐賀県伊万里市松浦町200	9月12日	10	0	10
99	兵庫県洲本市立洲本第一小学校	兵庫県洲本市宇山1丁目1番37号	9月13日	9	2	11
100	広島市立広島特別支援学校	広島市安佐北区倉掛2-47-1	9月14日	2	3	5
101	愛知県立豊田西高等学校	愛知県豊田市小坂町14丁目65	9月14日	4	0	4
102	光市立大和中学校	山口県光市大字塩田3333-1	9月15日	8	2	10
103	広島市立御園宇小学校	東広島市西条町御園宇8544番地6	9月18日	55	4	59
104	学校法人中川学園 広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	9月18日	44	3	47
105	平戸市立南部中学校	長崎県平戸市津吉町241	9月18日	5	0	5
106	学校法人佐藤学園 ヒューマンキャンパス高等学校	広島市中区鉄砲町8-18 広島日生みどりビル1階	9月19日	14	2	16
107	有田町立有田中学校	佐賀県西松浦郡有田町岩谷川内3丁目6-1	9月19日	13	0	13
108	邑南町立石見中学校	島根県邑智郡邑南町中野2645	9月20日	5	0	5
109	広島市立広島特別支援学校	広島市南区出島4丁目1-1	9月21日	9	7	16
110	呉市立片山中学校	呉市東片山町13-5	9月21日	49	5	54
111	比治山女子中学校	広島市南区西霞町5-16	9月23日	6	0	6
112	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	9月28日	5	0	5
113	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	9月28日	2	1	3
114	呉市立倉橋中学校	呉市倉橋町383-2	9月28日	5	1	6
115	明石市立松が丘小学校	兵庫県明石市松が丘3丁目1-1	10月3日	3	0	3
116	名古屋市立緑高等学校	愛知県名古屋市緑区旭出1丁目1104	10月4日	8	0	8
117	長崎県立鶴南特別支援学校(中学3年)	長崎県長崎市蚊焼町721	10月5日	26	14	40
118	女子学院高等学校	東京都千代田区一番町22-10	10月10日	8	0	8
119	尾道市立大学	尾道市久山田町1600-2	10月13日	33	0	33
120	埼玉県立吉川美南高校	埼玉県吉川市大字高久600	10月17日	5	0	5
121	北広島町教育委員会 千代田中央公民館	広島県山県郡北広島町有田1220-1	10月20日	12	2	14
122	岡山市立旭東中学校	岡山市東区大多羅町276	10月26日	41	1	42
123	愛知県立春日井高校	愛知県春日井市鳥居松町1丁目55	10月26日	6	0	6
124	千葉県立土気高等学校	千葉県千葉市緑区あすみが丘東2丁目24-1	10月26日	6	0	6
125	広島文教大学付属高等学校	広島市安佐北区可部東1丁目2-3	10月28日	2	0	2
126	井原市立木之子中学校	岡山県井原市木之子町2957-1	11月1日	12	0	12
127	名古屋市立名東高校	愛知県名古屋市名東区大針1丁目351	11月1日	5	0	5
128	広島県立福山誠之館高校	福山市木之庄町6丁目11-1	11月5日	16	0	16
129	開智中学校	和歌山県和歌山市直川113-2	11月6日	5	0	5
130	広島市立広島商業高校	広島市東区牛田新町1丁目1-1	11月6日	3	0	3
131	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	11月7日	3	0	3
132	静岡大学教育学部附属浜松小学校	静岡県浜松市中区布橋3丁目2-1	11月8日	14	0	14
133	クラーク記念国際高等学校広島キャンパス	広島市中区西白島町7-25	11月8日	20	1	21

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
134	比治山女子高等学校	広島市南区西霞町5-16	11月8日	28	0	28
135	名古屋市立山田高等学校	愛知県名古屋市西区二方町19-1	11月8日	8	0	8
136	広島県立高陽高等学校	広島市安佐北区真亀3丁目22-1	11月8日	2	0	2
137	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	11月9日	35	1	36
138	広島県立広島観音高校	広島市西区南観音町4-10	11月10日	3	0	3
139	広島県立高陽東高校	広島市安佐北区落合南8丁目12-1	11月11日	2	0	2
140	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	11月12日	38	1	39
141	鹿島学園高等学校	広島市中区小町9-28	11月15日	3	0	3
142	広島市立基町高校	広島市中区西白島町25-1	11月16日	2	0	2
143	比治山女子中学校	広島市南区西霞町5-16	11月18日	2	0	2
144	浜松学芸高等学校	静岡県浜松市中区下池川町34番3号	11月21日	10	0	10
145	浜松学芸高等学校	静岡県浜松市中区下池川町34番3号	11月21日	8	0	8
146	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	11月27日	7	1	8
147	東広島市立八本松小学校	東広島市八本松町原10128-137	11月29日	120	6	126
148	安田女子中学校	広島市中区白島北町1-41	12月9日	2	0	2
149	修道中学校	広島市中区南千田西町8-8番1号	12月9日	2	0	2
150	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	12月11日	35	1	36
151	広島市立春日野小学校	広島市安佐南区山本新町18-1	12月12日	166	6	172
152	広島市立可部小学校	広島市安佐北区可部4丁目9-11	12月19日	139	7	146
153	クラーク記念国際高等学校	広島市中区西白島町7-27	12月10日	27	0	27
154	広島市立仁保中学校 美術部	広島市南区仁保1丁目56-1	12月22日	12	1	13
155	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	12月22日	2	0	2
156	岐阜県立関高等学校	岐阜県関市桜ヶ丘2丁目1-1	平成30年1月5日	3	0	3
157	広島県立広島観音高等学校	広島市西区南観音町4-10	1月14日	2	0	2
158	広島市立広島商業高等学校	広島市東区牛田新町1-1-1	2月8日	3	2	5
159	岡山県立倉敷天城中学校	岡山県倉敷市藤戸町269	2月12日	27	0	27
160	鶴岡市立鶴岡第二中学校	山形県鶴岡市宝田2丁目8-34	2月21日	12	0	12
161	広島市立中広中学校	広島市西区中広町3丁目1-41	2月24日	2	0	2
162	立命館高等学校	京都府長岡京市調子1丁目1-1	3月6日	2	0	2
163	上宮高等学校	大阪府大阪市天王寺区上之宮町9-36	3月9日	2	0	2
164	広島県立広島工業高校	広島市南区出汐2丁目4-75	3月9日	2	0	2
165	光市立室積中学校	山口県光市室積新開2丁目4-1	3月15日	6	0	6
166	中央大学高等学校	東京都文京区春日1丁目13-27	3月30日	3	0	3
計				3,013	157	3,170

7 県民ギャラリー利用状況

平成30年4月2日～平成31年4月1日まで

利用団体数		延べ開催日数	入場者数
入場有料	8団体	48日	32,465人
入場無料	83団体	498日	75,782人
計	91団体	546日	108,247人

平成30年度県民ギャラリー利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入場料金	入場者数
第81回 自由美術展	4/2～4/9	1 2 3 4 5	絵画	113点	無料	726
第3回 つかさアートクラブ 絵画作品展	4/9～4/16	1 2	絵画、他(デザイン)	130点	無料	922
“公募2018”第39回 関西総美会展	4/9～4/16	3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	123点	無料	1,208
第21回 全陶展広島支部展	4/16～4/23	1	工芸	27点	無料	429
第58回 新制作広島グループ展	4/16～4/23	2 3 4	絵画、彫塑	58点	無料	1,073
第14回 国際公募新展美術協会展	4/16～4/23	5	絵画、工芸、書、写真	57点	無料	721
第27回 グループ宙遊展	4/23～4/30	1	絵画	38点	無料	712
第50回 黄人展	4/23～4/30	2 3	絵画、彫塑	62点	無料	1,004
第4回広島一水会・第38回路展	4/23～4/30	4 5	絵画	91点	無料	1,031
西からの光・佃静開展	4/30～5/7	1	絵画	21点	無料	379
第21回 広島県伝統工芸能面展	4/30～5/7	2	工芸	64点	無料	420
2018全日本写真連盟広島県本部展 第78回 国際写真サロン展 第18回 広島県本部展 第21回 朝日写真サロン中国展	4/30～5/7	3 4 5	写真	426点	無料	937
第60回記念 新協展	5/7～5/14	1 2 3 4 5	絵画、工芸	129点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	2,458
第66回 光陽展広島準本展	5/14～5/21	1 2 3 4 5	絵画	97点	一般 600円 高校生以下無料	1,115
第57回 大調和会広島巡回展	5/21～5/28	1 2	絵画	71点	無料	1,174
大田耕治藍染展	5/21～5/28	3	工芸	31点	無料	475
広島国際書芸交流展 併催：馬仁武 甲骨文書展	5/21～5/28	4	書	55点	無料	652
第41回 グループ「集」展	5/21～5/28	5	絵画	40点	無料	884
第104回 光風会展	7/16～7/23	1 2 3 4 5	絵画、工芸	165点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	4,681
第84回 東光展	7/23～7/30	1 2 3 4 5	絵画	158点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	2,178
第21回 水彩画(妹尾教室)作品展	7/30～8/6	1	絵画	43点	無料	418
第90回記念 新構造広島巡回展	7/30～8/6	2 3 4	絵画、工芸、写真、他	86点	無料	1,036
第15回 むいち会展	7/30～8/6	5	絵画	36点	無料	521
第32回 日洋展 広島会場	8/6～8/13	1 2 3 4 5	絵画	142点	一般 600円 高大生以下無料	2,447
第47回 MUSABI展	8/13～8/20	1	絵画、工芸、他(デザイン、版画、アルミアート)	18点	無料	378
第9回 太陽の子書の作品展	8/13～8/20	2 3	書	81点	無料	1,036
第61回 広島県児童画連盟展	8/13～8/20	4 5	絵画、写真、他(立体、冊子)	568点	無料	1,212

展 覧 会 名	会 期	展 示 室	内 容	出品点数	入場料金	入場者数
第70回 毎日書道展中国展	8/20～8/27	1 2 3 4 5	書	830点	一般 600円 高校生以下無料	5,640
第58回 日本版画会展(広島会場)	8/27～9/3	1 2 3	絵画	117点	無料	1,628
第49回 広島県日本画協会展	8/27～9/3	4 5	絵画	60点	無料	928
第1回書画公募展 広島筆文化研究会	9/3～9/10	1 2 3 4 5	絵画、書、他(刻字)	185点	無料	973
第22回 グループ「Z」水彩展	9/10～9/17	1	絵画	18点	無料	524
第30回 アートグループ「滴」展	9/10～9/17	2	絵画	43点	無料	889
第54回 広島形象派展	9/10～9/17	3	絵画	60点	無料	677
第3回 橋本光博個展	9/10～9/17	4	絵画	37点	無料	1,001
第37回 互の会日本画展	9/10～9/17	5	絵画	66点	無料	834
第34回 一般社団法人新興美術院 広島支部展	9/17～9/24	1	絵画	23点	無料	548
第64回 広島職場美術展	9/17～9/24	2 3 4	絵画、彫塑、工芸、書、写真、 他(手芸)	223点	無料	1,057
第17回 凜の会展	9/17～9/24	5	絵画	30点	無料	449
第35回 産経国際書展瀬戸内展	9/24～10/1	1 2 3 4 5	書	317点	無料	705
第28回 風の会写真展「四季賛歌」	10/1～10/8	1	写真	48点	無料	727
日本水彩出品作家 彩遊会	10/1～10/8	2	絵画	36点	無料	917
第30回 クロッキー同好会人物素描展	10/1～10/8	3	絵画	60点	無料	742
第53回 グループいしがき展	10/1～10/8	4 5	絵画	96点	無料	875
第46回 広島彫刻会展	10/8～10/15	1	彫塑	25点	無料	368
第4回 アルファ フォトクラブ展	10/8～10/15	2	写真、他(挨拶)	87点	無料	564
第15回 「彩び」展	10/8～10/15	3	絵画、工芸、他(2017ワーク ショップモバイル、2018ワーク ショップ、デザイン)	263点	無料	710
広島YMCA学園 2018生徒作品展 「芸大美大受験科」「美術教室」	10/8～10/15	4 5	絵画、他(立体)	513点	無料	885
全日本写真連盟広島県本部フォトプ ラス支部 第4回写真展	10/15～10/22	1	写真、他(挨拶)	49点	無料	848
二科会写真部広島支部 第40回公募展	10/15～10/22	2 3 4 5	写真	432点	無料	2,001
第7回 「木絆会」版画展	10/22～10/29	1	絵画	40点	無料	572
第27回(2018)ぐるーぶNAN作品展	10/22～10/29	2	絵画	44点	無料	605
第25回 ROSE 野ばら会 作品展	10/22～10/29	3 4	絵画	113点	無料	830
土井晃写真展「沖繩・久米島中華」	10/22～10/29	5	写真	66点	無料	1,390
あいサポート アート展	10/29～11/5	1 2 3 4 5	絵画、工芸、書、他(版画、立 体造形、陶芸)	410点	無料	1,558
第42回 広島県高等学校総合文化祭 第50回 広島県高等学校美術・工芸 展(中央展)	11/5～11/12	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン)	400点	無料	928
第42回 広島県高等学校総合文化祭 第50回 広島県高等学校総合文化祭 書道展	11/12～11/19	1 2 3 4 5	書	267点	無料	1,189
日本画五人展	11/19～11/26	1	絵画	27点	無料	656
第111回 北翔展	11/19～11/26	2	絵画	50点	無料	746
ボーダレスアート展	11/19～11/26	3	絵画、彫塑、工芸、写真	74点	無料	625
世界人権宣言採択70周年記念 「世界人権宣言啓発書画」全国巡回展	11/19～11/26	4	他(書画)	31点	無料	377
第15回 フォルマーレ展	11/19～11/26	5	絵画、工芸	46点	無料	520
京都造形芸術大学 通信教育学部 広島学習会 第14回歩展	11/26～12/3	1	絵画、他(陶芸)	39点	無料	299
第49回 元陽展広島会場	11/26～12/3	2 3 4	絵画	98点	無料	2,902
ベタルス2018 絵画展	11/26～12/3	5	絵画	73点	無料	409

展 覧 会 名	会 期	展 示 室	内 容	出 品 点 数	入 場 料 金	入 場 者 数
第71回 広島県児童生徒書道展	12/3～12/10	1 2 3 4 5	書	3,125点	無料	5,920
比治山大学短期大学部美術科 第51回卒業制作展 第17回終了制作展	1/7～1/14	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン、 マンガ、映像)	170点	無料	513
第103回二科展(第63回広島巡回展)	1/14～1/21	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、他(デザイン)	585点	一般 600円 高大生以下無料	7,335
第27回 広島県シルバー作品展	1/21～1/28	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	266点	無料	1,654
第72回二紀展 第48回広島巡回展	1/28～2/4	1 2 3 4 5	絵画、彫塑	128点	一般 600円 大学生以下無料	6,611
第50回安田女子大学書道学科卒業制作展 (併催)安田女子大学書道学科 展(1・2・3年生)安田学園小・中・ 高等学校 書道展	2/4～2/11	1 2 3 4 5	書	293点	無料	1,119
平成30年度 広島県熊野高等学校 芸術類型 美術コース・書道コース 卒業作品展	2/11～2/18	1 2	絵画、工芸、書、他(鉛筆画、 パネル)	79点	無料	1,885
第47回 合同美術展	2/11～2/18	3 4	絵画、工芸、書、写真、他(つ まみ絵)	100点	無料	682
quatre カトゥル	2/11～2/18	5	絵画、彫塑	34点	無料	610
ニコールクラブ広島支部 第2回写真展	2/18～2/25	1	写真	44点	無料	849
第57回 広島大学大学院教育学研究 科造形芸術教育学専修・教育学部造 形芸術系コース修了・卒業制作展/論 文発表会	2/18～2/25	2 3	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン、 卒業パネル、卒業論文)	62点	無料	625
第53回 広島県写真連盟展	2/18～2/25	4 5	写真	209点	無料	1,285
第67回 書の友全国書道展覧会	2/25～3/4	1 2 3 4 5	書	2,998点	無料	2,210
奥田秀樹作品展	3/4～3/11	1	絵画、彫塑、他(立体作品)	14点	無料	469
第42回 広島県工芸美術作家協会展	3/4～3/11	2	工芸	25点	無料	500
広島芸術学会 芸術展示 第11回展	3/4～3/11	3 4	絵画、彫塑、書	21点	無料	530
シード展 シード美術研究所2018年度 在籍生徒作品展	3/4～3/11	5	絵画、彫塑	218点	無料	374
穴吹デザイン専門学校 卒業修了制作展2019	3/11～3/18	1 2 3	他(デザイン)	300点	無料	642
第53回 ひろしま美術研究所展	3/11～3/18	4 5	絵画、工芸、他(デザイン)	260点	無料	482
第37回 彩友会展	3/18～3/25	1 2	絵画	57点	無料	625
Image photograph 2019 写真展	3/18～3/25	3	写真、他(屏風)	54点	無料	795
西尾 裕 展	3/18～3/25	4	絵画	16点	無料	593
中元寺・嘉屋重二人展	3/18～3/25	5	絵画	23点	無料	608
第6回 はんが女子展	3/25～4/1	1	絵画	41点	無料	723
益村 司 絵画展	3/25～4/1	2 3	絵画	60点	無料	1,321
工房YAMANAKO同窓会展	3/25～4/1	4 5	工芸	150点	無料	964
合 計						108,247

8 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。そして、平成30年度は広島県立美術館の開館50年をふまえ、記念事業を施行した。

会員数 857人(個人601人 家族235人 学生8人 賛助12人 特別賛助1人)

1. 会報

発行：83号、84号、85号、86号

配布先：会員、美術館他

2. 美術情報及び友の会ニュースの発行

- ・美術情報：112号、113号、114号、115号
- ・友の会ニュース：155号～162号

3. 所蔵作品展のボランティアによるギャラリーガイド

- ・定時：火曜日～金曜日は毎日 14時から実施
土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施
特別展開催中の月曜日開館時は、14時から実施
- ・臨時：団体申し込み及び美術館の要請により随時実施
- ・ギャラリーガイド実績
定時：898名(ガイド延人員 445名)
学校等団体：10件(鑑賞者 440名、ガイド人員 24名)
職場体験ガイド：3件(対象者8名、ガイド人員3名)

4. ボランティア・ギャラリーガイド研修

◆所蔵作品展研修(美術館と共催・展示替えの時期)

平成30年 6月9日(土) 21名、8月4日(土) 22名、12月1日(土) 22名
平成31年 3月16日(土) 24名

◆研修

◇「児玉希望展」鑑賞

期日：平成30年6月3日(日) 参加者 11名
場所：奥田元宋・小由女美術館

◇「芹沢銈介の美の世界」・「紬に生きる宗廣力三」DVD鑑賞

期日：平成30年6月9日(土) 参加者 20名

◇「入野忠芳の創作について」

期日：平成30年10月13日(土) 参加者 30名
講師：入野泰子(入野忠芳令夫人)

5. 特別展関連講演会(美術館と共催)

◆平成30年4月21日(土)「パリジェンヌ展」関連

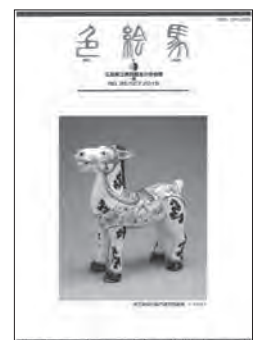
演 題：「劇場の女性たち－印象派絵画を中心に」
講 師：喜多崎 親(成城大学教授)



『色絵馬』No.83



『色絵馬』No.84



『色絵馬』No.85



『色絵馬』No.86

参加者：106名

◆平成30年10月20日(土)「ブリューゲル展」関連

演 題：「ブリューゲル一族の系譜と作品制作をめぐる状況」

講 師：高城 靖之(東京都美術館学芸員)

参加者：131名

◆平成31年1月26日(土)「サヴィニャック展」関連

演 題：「サヴィニャック：魔法のひみつ」

講 師：植木 啓子(大阪新美術館建設準備室 研究副主幹)

参加者：70名

◆平成31年2月23日(土)「第65回日本伝統工芸展」関連

演 題：「色鍋島・今右衛門の伝統」

講 師：十四代今泉今右衛門 [人間国宝(重要無形文化財「色絵磁器」の保持者)]

参加者：191名

6. 「もっと知ろうシリーズ」(美術館と共催)

◆第48回 平成30年5月15日(火)

演 題：「パリジェンヌ展」のギャラリートーク

講 師：山下 寿水(広島県立美術館学芸員)

参加者：26名

◆第49回 平成30年7月21日(土)

演 題：「和高節二の魅力」

講 師：永井 明生(奥田元宋・小由女美術館 学芸主幹)

参加者：42名

◆第50回 平成30年11月18日(日)

演 題：「近世広島焼物 竹屋窯から江波焼へ」

講 師：倉橋 清方(元呉市立美術館 館長)

参加者：56名

7. 美術鑑賞の旅

◆お散歩美術鑑賞会

◇頼山陽史跡資料館 「“描かれた”宮島」

平成30年7月28日(土)

ギャラリートーク：花本 哲志(頼山陽史跡資料館 主任学芸員)

参加者：23名

◇ひろしま美術館 「シャルル＝フランソワ・ドービニー展」

平成31年3月16日(土)

講 師：古谷 可由(ひろしま美術館 学芸部長)

参加者：39名

◆日帰り美術鑑賞旅行

◇九州国立博物館 「至上の印象派展 ビュールレ・コレクション」

・ 1班 平成30年5月31日(木) 34名

・ 2班 平成30年6月1日(金) 32名

◇山口県立美術館 「驚異の超絶技巧！ 明治工芸から現代アートへ」

ウッドワン美術館 「シャガールとエコール・ド・パリの画家たち」

平成30年10月11日(木) 36名

◇北九州市立美術館本館 「ジョルジュ・ルオー 聖なる芸術とモデルニテ」

出光美術館(門司) 「楽茶碗と京の華」

平成31年 2月15日(金) 34名

◆宿泊美術鑑賞旅行

◇「東京 秋の特別展覧会の旅」2泊3日

平成30年11月13日(火)～11月15日(木) 参加：39名

訪問美術館：三菱一号館美術館、国立西洋美術館、上野の森美術館「フェルメール展」、
東京都美術館、国立新美術館、すみだ北斎美術館、歌舞伎座観劇

◇「駿州から伊豆半島へ美術鑑賞の旅」2泊3日

平成31年 2月27日(水)～3月1日(金) 参加：39名

訪問美術館等：MOA美術館、静岡市立芹沢銈介美術館、松崎・長八美術館、
伊豆高原ステンドグラス美術館、久能山東照宮及び博物館、熱海市・起雲閣

8. 広島県立美術館開館50周年記念事業

◆記念講演会及び特別対談

広島県立美術館との共催により、下記の記念講演会・特別対談を実施した。

(1) 基調講演『美術館とは何だろう—その誕生と活動』

講師：高階 秀爾(大原美術館長)

(2) 特別対談『美術館の昨日・今日・明日—西洋と日本』

講師：高階 秀爾(大原美術館長)、千足 伸行(広島県立美術館長)

日時：平成30年12月8日(土) 13:30～15:45

参加者：159名



高階×千足対談



日帰り旅行 6月1日

Ⅳ 事業実施状況

事業名	事業内容	実施期間
展覧会開催事業 入館者数 455,181名		
所蔵作品展 入館者数 77,852名	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920-30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時
特別展 入館者数 377,329名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち 入館者数 20,754名	18～20世紀のパリを体現してきた女性たちの有り様を、印象派絵画やドレス、ポートレート等、ボストン美術館のコレクション約120点により多角的に紹介した。	平成30年4月11日 ～6月10日
広島県主催事業 第6回新県美展 (第70回広島県美術展) 入館者数 5,052名	県民の創作活動の奨励と鑑賞の機会を提供するための公募展を開催した。 応募総数 1,081点 大賞 7点、優秀賞 14点、奨励賞 35点 入選数 497点	平成30年6月23日 ～7月8日
ギブリの大神展 ～ナウシカからマーニーまで～ 入館者数 295,689名	アニメーション会社スタジオジブリの約30年の歩みを、ポスターやチラシなどの広告宣伝物、巨大なセットや映像、鈴木敏夫氏による企画書など未公開資料を含む資料類数千点により紹介した。	平成30年7月21日 ～9月24日
ブリュール展 画家一族 150年の系譜 入館者数 22,266名	貴重なプライベート・コレクションを中心に、風景画、風俗画、花の静物画など、大半が日本初公開となる作品約100点により、4世代150年にわたるブリュール一族の画業の魅力を紹介した。	平成30年10月8日 ～12月16日
広島県主催事業 第7回広島県ジュニア美術展 入館者数 4,804名	県内の児童・生徒達を対象に創作活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力の向上を図ることを目的として公募展を開催した。	平成30年12月15日 ～12月24日
サヴィニャック展 パリに かけたポスターの魔法 入館者数 18,110名	フランスを代表するポスター作家、レイモン・サヴィニャックの代表作を一堂に展示。大型ポスターから貴重な原画や資料まで、約200点を通して、パリの街角を彩ったサヴィニャックの世界を紹介した。	平成31年1月5日 ～2月11日
第65回日本伝統工芸展広島展 入館者数 10,654名	わが国の優れた工芸技術を受け継いだ陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸作品を、人間国宝から新進気鋭の若手まで広島県内作家を含め日本を代表する作家の作品301点で紹介した。	平成31年2月21日 ～3月10日
学習支援事業	所蔵作品展、特別展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般 美術講演会		
1,004名		
(82名)	「ベルト・モリゾと近代都市パリ」 講師：坂上 桂子(早稲田大学文学学術院教授)	平成30年2月25日 (13:30～)
(52名)	「ヨーロッパのメイクアップ&ヘアモード200年」 講師：津田 紀代(文化学園大学非常勤講師/元ポーラ文化研究所主任学芸員)	平成30年3月10日 (10:30～)
(75名)	「映像で見るパリジェンヌのファッション史ーウォルトからサン・ローランまでー」 講師：浜田 久仁雄(神戸ファッション美術館首席学芸員)	平成30年3月10日 (13:30～)
(106名)	「劇場の女性たちー印象派絵画を中心に」 講師：喜多崎 親(成城大学教授)	平成30年4月21日 (13:30～)
(138名)	「農民のブリュールから花のブリュールへー華麗なる画家一族」 講師：千足 伸行(当館館長/成城大学名誉教授)	平成30年10月8日 (14:30～)
(131名)	「ブリュール一族の系譜と作品制作をめぐる状況」 講師：高城 靖之(東京都美術館学芸員)	平成30年10月20日 (13:30～)
(159名)	開館50周年記念講演会・特別対談 第1部(講演会)「美術館とは何だろうーその誕生と活動」 講師：高階 秀爾(元国立西洋美術館館長・大原美術館館長) 第2部(対談)「美術館の昨日・今日・明日ー西洋と日本」 講師：高階 秀爾×千足 伸行(当館館長)	平成30年12月8日 (13:30～) (14:45～)

事業名	事業内容	実施期間
(70名)	「サヴィニャック：魔法のひみつ」 講師：植木 啓子(大阪新美術館建設準備室 研究副主幹)	平成31年1月26日 (13：30～)
(191名)	「色鍋島・今右衛門の伝統」 講師：十四代今泉今右衛門 [人間国宝(重要無形文化財「色絵磁器」の保持者)]	平成31年2月23日 (13：30～)
ギャラリートーク 1,498名	特別展等について、展覧会場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
271名 (26名) (16名) (41名) (10名) (26名) (5名) (32名) (12名) (8名) (95名)	パリジェンヌ展 山下 寿水(当館学芸員)	平成30年4月20日 (11：00～) (18：00～) 4月27日 (11：00～) (18：00～) 5月11日 (11：00～) (18：00～) 5月18日 (11：00～) (18：00～) 6月1日 6月8日
185名 (35名) (49名) (30名) (36名) (20名) (15名)	ブリューゲル展 藤崎 綾(当館主任学芸員)	平成30年10月12日 10月26日 11月9日 11月23日 12月7日 (11：00～) (17：00～)
129名 (10名) (16名) (23名) (30名) (20名) (30名)	サヴィニャック展 森 万由子(当館学芸員)	平成31年1月11日 1月18日 1月25日 2月1日 2月8日 (11：00～) (17：00～)
747名 (45名) (5名) (12名) (30名) (50名) (200名) (55名) (50名) (30名) (80名) (50名) (65名)	日本伝統工芸展 岡地 智子(当館学芸員) 小林 小斎(木工) 金城 一国斎(漆芸) 今田 拓志(陶芸) 粟根 仁志(七宝) ワークショップ参加の子供(全般) 部谷 きよみ(人形) 菅坂 安子(七宝) 佐故 龍平(金工)	平成31年2月22日 (11：00～) (17：00～) 3月1日 3月8日 2月23日 2月24日 3月1日 3月2日 3月2日 3月3日 3月8日 3月9日

事業名	事業内容	実施期間
(75名)	平 恵子(染織)	3月10日
99名	新県美展	
-	金本 啓子(絵画系)	平成30年6月23日
-	ゼロ・ヒガシダ(彫塑系)	6月23日
-	八木 健太郎(デザイン系)	6月23日
-	村上 宏治(写真系)	6月23日
67名	所蔵作品展	
(22名)	リレートーク 講師：角田 新、福田 浩子、森 万由子、藤崎 綾、神内 有理(当館学芸員)	平成30年5月25日
(45名)	リレートーク 講師：岡地 智子、山下 寿水、角田 新、隅川 明宏(当館学芸員)	平成31年3月8日
美術講座	所蔵作品展及び開催中の特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
420名		
(36名)	「パリジェンヌ展補遺：狂乱の時代—20年代のパリ」 講師：山下 寿水(当館学芸員)	平成30年5月27日 (13：30～)
(38名)	「広島県立美術館の50年」 講師：神内 有理(当館学芸員)	平成30年10月6日 (13：30～)
(47名)	「個性ある美術館コレクション—日本とアジアの工芸」 講師：福田 浩子(当館学芸課長)	平成30年10月14日 (13：30～)
(55名)	「激動する美術—両大戦間期のドイツ、フランスを中心に」 講師：山下 寿水(当館学芸員)	平成30年10月27日 (13：30～)
(51名)	「近代日本洋画の魅力—当館のコレクションから」 講師：藤崎 綾(当館主任学芸員)	平成30年11月3日 (13：30～)
(45名)	「自分を信じて—名井万亀の道—」 講師：角田 新(当館主任学芸員)	平成30年11月25日 (13：30～)
(76名)	「広島の絵画と京・江戸」 講師：隅川 明宏(当館学芸員)	平成30年12月2日 (13：30～)
(72名)	「ポスターの街・パリとサヴィニャック」 講師：森 万由子(当館学芸員)	平成31年2月3日 (13：30～)
ワークショップ	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
52名		
11名	サヴィニャック展	
(11名)	「自分を伝えるロゴタイプを作ろう」 講師：野村 勝久(グラフィックデザイナー・本展広報物デザイン制作)	平成30年1月27日 (13：00～)
6名	日本伝統工芸展	
(6名)	「ギャラリートークに挑戦しよう！」 講師：福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)	平成30年3月2日 (13：00～)
35名	所蔵作品展	
(15名)	「中央アジアの刺繍をしてみよう」	平成30年7月27日
(20名)	講師：福田 浩子(当館学芸課長)、岡地 智子(当館学芸員)	8月31日
各種イベント	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
1,339名		
670名	パリジェンヌ展	
(600名)	マルシェ	平成30年5月12日 (10：00～17：00)
(70名)	パリジェンヌ気分でヘアメイク体験	平成30年5月19日 (13：00～)

事業名	事業内容	実施期間
296名	ジブリの大博覧会	
(149名)	座談会「『ジブリの大博覧会』ができるまで」 講師：青木 貴之(スタジオジブリ、本展プロデューサー) 石森 達也(本展デザイナー) 堀尾 寛太(アーティスト・エンジニア)	平成30年7月21日 (11:00～)
(147名)	「天空の城ラピュタ」上映会	平成30年9月8日 (9:30～)
373名	日本伝統工芸展	
338名	出品作家による制作実演	
(170名)	講師：金城 一国斎(漆芸)	平成31年2月24日
(100名)	講師：部谷 きよみ(人形)	平成31年3月3日
(68名)	講師：平 恵子(染織)	平成31年3月10日
(35名)	スライドトーク「展覧会の『裏側』お見せします！」 講師：岡地 智子(当館学芸員)	平成31年3月9日
33名	ウェブレポーター	
(11名)	パリジェンヌ展	平成30年4月13日
(12名)	ブリュージュ展	平成30年10月12日
(10名)	サヴィニャック展	平成31年1月11日
コンサート	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
3,173名		
450名	パリジェンヌ展	
(220名)	「春に寄せて」 演奏：藤井 美雪(メゾソプラノ)、平野 満(ピアノ)	平成30年4月1日 (15:00～)
(230名)	「パリの空の下で」 演奏：野口 美紀、羽原 里美(アコーディオン)	平成30年5月12日 (12:00～)
112名	新県美展	
(112名)	「フルートの調べ」 演奏者：竹本 直子、城本 朝子(フルート)、河越 香織(ピアノ)	平成30年6月30日 (12:00～)
280名	ジブリの大博覧会	
(280名)	演奏：石原有希子&広島ジュニアマリンバアンサンブル	平成30年7月30日 (12:00～)
422名	ブリュージュ展	
(210名)	「16世紀フランドルの音楽(ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、打楽器など)」 演奏：ファナ古楽合奏団	平成30年10月20日 (12:00～)
(212名)	「初期バロックの音楽～スウェーデンからの潮流」 演奏：中川 詩歩(ソプラノ)、田尻 健(テノール)、福原 之織(チェンバロ)	平成30年12月1日 (12:00～)
430名	大植英次プロデュース「威風堂々クラシックin Hiroshima」	
(430名)	演奏：井前 慶子(ヴァイオリン)、朴 梨恵(ヴィオラ)、吉田 正子(チェロ)、 保屋野 美和、大植 英次(ピアノ)	平成30年11月24日 (13:15～)
255名	原田真二ロビーコンサート	
(255名)	演奏：原田 真二	平成30年11月30日 (17:00～)
351名	サヴィニャック展	
(256名)	「パリの街角で～マヌーシュ ジャズ」 演奏：TONTON TRIO	平成31年1月19日 (12:00～)
(95名)	演奏：広島文化学園大学	平成31年2月9日 (12:00～)
523名	日本伝統工芸展	
(420名)	「森本ケンタ ロビーコンサート&スペシャルミニトーク」 出演：森本 ケンタ トークゲスト：金城 一国斎(漆芸作家・本展受賞作家)	平成31年2月24日 (12:00～)

事業名	事業内容	実施期間
(103名)	演奏：広島文化学園大学	平成31年3月9日 (12:00～)
350名	さくらコンサート	
(350名)	演奏：大瀬戸 千嶋(サクソ&エレクトーン)	平成31年3月31日 (15:00～)
ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組(22番組)の視聴	常時
デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界の美術館の情報などを検索	常時
美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を自由に検索 http://www.hpam.jp/	常時
児童・生徒		
学校、地域との関連事業 美術作品鑑賞教室(作品持参) 247名	当館の所蔵作品を学校へ持ち込み、学芸員が自ら解説を行うことにより、児童生徒が豊かな感性を育む機会を提供するとともに、学校連携を深めることに努めた。	
(184名)	廿日市市立佐伯中学校(1～3年生)	平成30年10月17日
(46名)	広島県立庄原実業高等学校(1年生)	平成30年10月24日
(17名)	広島市立湯来西小学校(1～6年生)	平成30年11月12日
親子ギャラリートーク	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生(特別支援学校の相当学年を含む。)を対象として、友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00～) (11:00～)
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在329種)	
日本伝統工芸展出張授業 160名	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
(76名)	広島市立船越小学校 講師：馬船 宏明(漆芸)	平成30年11月30日
(13名)	広島県立高陽東高等学校 講師：木村 芳郎(陶芸)	12月14日
(13名)	三原市立木原小学校 講師：田代 昭夫(漆芸)	平成31年1月15日
(58名)	府中町立府中北小学校 講師：小林 松斎(木工)	1月18日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	平成30年5月29日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
(一般ガイド) 898名 (団体ガイド) 440名	火～金曜日の14:00から実施(土・日・祝日は11:00からも実施)	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等 108,247名	県民ギャラリー 利用団体数 91団体、利用日数 546延日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	平成30年4月2日 ～平成31年4月1日
利用者 10,941名	講堂 利用団体数 135団体、利用日数 166日	平成30年4月1日 ～平成31年3月31日

V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成30年度に行なった業務を報告する。

内容は、1 美術館内での業務等(館主体事業)、2 美術館外での業務等(他からの招聘等)、3 調査・研究活動、4 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。

学芸課職員の構成及び担当分野は次のとおり。

福田 浩子(学芸課長、工芸)	角田 新(主任学芸員、日本洋画)
藤崎 綾(主任学芸員、日本洋画)	神内 有理(学芸員、日本画)
山下 寿水(学芸員、西洋美術)	隅川 明宏(学芸員、日本画)
岡地 智子(学芸員、工芸)	森 万由子(学芸員、西洋美術)

■ 福田 浩子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち」事務局長
- ・特別展「ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～」事務局長
- ・特別展「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」事務局長
- ・特別展「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」事務局長
- ・所蔵作品展1期(4室、彫刻展示スペース、工芸担当)、2期、3期(4室、工芸担当)、4期(彫刻展示スペース、工芸担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展1期リレートーク(5/25)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(6/9)
- ・博物館実習講座「美術館と学芸活動」(8/17)
- ・職場体験対応(11/13広島市立観音中学校、2/4広島市立東原中学校)
- ・「第65回日本伝統工芸展」こどもワークショップ「ギャラリートークに挑戦しよう」(3/2)
- ・所蔵作品展2期「中央アジアの工芸」(約13分、字幕付)、「古写真を通じてみた中央アジア」(約3分、字幕付)動画の編集作成・上映
- ・所蔵作品展2期「中央アジアの工芸」SNS発信用動画11本作成
- ・所蔵作品展2期 ワークショップ「中央アジアの刺繍に挑戦しよう」(7/27、8/31)
- ・所蔵作品展3期 学芸員による連続講座②「個性ある美術館コレクションー日本とアジアの工芸」(10/14)

【研修・自己啓発】

- ・管理職研修(4/23)
- ・広島県美術館ネットワーク研修会(1/17)
- ・全国美術館会議学芸員研修会(3/22)

2 美術館外での業務等

- ・出張講座「美術館の歩き方」(2/18 JOIN広島、リーガロイヤルホテル)
- ・出張講座「中央アジアの刺繍をしてみよう！」(7/28安佐南区図書館)
- ・出張講座「文化体験 シルクロードのパラオを作って食べよう！」(11/12竹原市立大井公民館)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・染織作品調査(5/12、8/23、9/23、10/26、3/1)

- ・陶磁作品調査(5/20、8/20)
- ・七宝作品調査(5/23)
- ・金工作品調査(7/30)
- ・漆工作品調査(8/17、8/27、8/31)
- ・作家調査(5/18、8/4、12/6)
- ・中央アジア工芸調査(自費、7/31-8/11)

【館内出版物への執筆・発表】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑤中央アジアの工芸』執筆・編集(7月)

【館外出版物への執筆・発表】

- ・コラム「貴婦人たちのお茶の時間」、「19世紀パリジェンヌを魅了したカシミール・ショール」『ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち』図録、NHKプロモーション2017年
- ・(インタビュー記事)「広島県立美術館 所蔵作品展の充実に向けて」『ミュゼ』120号 アム・プロモーション2018年4月
- ・「魅惑のドレス パリジェンヌ展から①ドレス(3つのパーツからなる)」、「魅惑のドレス パリジェンヌ展から③ピエール・カルダン ドレス」『中国新聞』5/23
- ・「魅惑のドレス パリジェンヌ展から③」『中国新聞』5/25
- ・今井政之さん文化勲章「今井芸術の神髄」『中国新聞』10/25
- ・「第65回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事③栗根仁志」『朝日新聞』2/23
- ・「第65回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事④藤井義久」『朝日新聞』2/28
- ・「第65回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑦菅坂安子」『朝日新聞』3/4

4 社会貢献活動等

【審査委員等】

- ・平成30年度県民文化奨励賞推薦(ケンシン地域振興財団)
- ・平成30年度環境啓発ポスター・標語コンクール審査委員(広島県環境保健協会)
- ・広島空港ビル絵画コンテスト審査委員(広島空港)

【所属学会】

- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

【研究助成】

- ・平成30年度ポーラ美術振興財団研究助成

■角田 新

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「第6回新県美展(第70回広島県美術展)」(主担当)
- ・特別展「第7回ジュニア美術展」(副担当)
- ・特別展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」(次年度・主担当)
- ・所蔵作品展1期(4室、日本洋画担当)、3期(彫刻展示スペース、日本彫刻担当)、4期(2室、4室、日本洋画担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展1期 リレートーク(5/25)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(8/4、12/1)
- ・博物館実習「美術館の展示環境」(8/17)
- ・所蔵作品展3期 学芸員による連続講座⑤「自分を信じて-名井万亀の道-」(11/25)
- ・所蔵作品展4期 リレートーク(3/8)

【研修・自己啓発】

- ・平成30年度文化財虫菌害研究所 IPMコーディネーター資格取得講習会参加(7/5-6)

2 美術館外での業務等

- ・出張講座「水彩画の魅力」(7/26五月が丘公民館)
- ・広島県美術館ネットワーク IPMについての事例報告(1/17)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・郷土作家・作品調査：桐弘史郎(4/9)、福井芳郎(9/4)、佐々田憲一郎(11/30)

【館内出版物への執筆・発表】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑦菅井汲』執筆・編集(2019年1月)

【館外出版物への執筆・発表】

- ・美術ひろしま(作品解説)
- ・「広島・ヒロシマと美術」、『広島市被爆70年史 あの日まで、そしてあの日から 1945年8月6日』(7/28発行 広島市)

4 社会貢献活動・所属学会等

- ・広島県環境月間ポスター 審査員(4/4)
- ・ほくも私も食べてみたい、未来の食べ物夢絵画コンテスト 審査員(5/31)
- ・被爆70年史編修研究会
- ・美術ひろしま編集委員

■藤崎 綾

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち」(副担当)
- ・特別展「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」(主担当)
- ・特別展「追悼 水木しげる ゲゲゲの人生展」(次年度・主担当)
- ・所蔵作品展1期、3期(2室、日本洋画担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展1期 リレートーク(5/25)
- ・博物館実習(施設見学等対応)(7/5県立広島大学)
- ・絵画作品の展示と取扱について(7/10広島女学院中・高等学校)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(8/4、3/16)
- ・博物館実習(統括8/17-8/22)
- ・所蔵作品展3期 学芸員による連続講座④「近代日本洋画の魅力—当館のコレクションから」(11/3)
- ・「ブリューゲル展」ギャラリートーク(一般向け)(10/12、10/26、11/9、11/23、12/7)
- ・「ブリューゲル展」ギャラリートーク(団体向け)(11/1・11/10穴吹トラベル、11/4・11/7 NHK文化センター福山、11/17広島YMCAサタデイパッケージスクール、11/21広島市中央公民館、11/29東広島市立八本松小学校、12/7広島県高齢者健康福祉大学校、12/15アートの会)
- ・広島県研修センター講座(12/14美術作品鑑賞の視点と方法)
- ・春日野小学校公開研究授業(1/25)
- ・「広島県立美術館の教育普及活動」『広島大学・初等学習方法開発特講』(2/6)

【広報活動】

- 「ブリューゲル展」
- ・『広響第384回定期講演会』プログラム(10/7発行)
- ・『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報)no.85(10/10発行)
- ・『経済レポート』(2018年10月16日号)
- ・『経済春秋』(2018年11月号)

- ・エフエムふくやま「ママのアンテナ」『おはようときめきタイム』（10/1）
- ・広島テレビ「月曜特集」『テレビ派』（10/8）
- ・エフエムおのみち「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』（10/31）
- ・広島県立美術館フェイスブック・メールマガジン（11/16「キリストの降誕」、11/24「嬰兒虐殺とエジプト逃避」、11/30「地獄の表現」、12/7「お客様のお声から―曾野綾子『ブリュゲルの家族』」）

2 美術館外での業務等

- ・出張講座「『ブリュゲル展 画家一族 150年の系譜』を楽しむ」 「山路商と広島の近代洋画家」（8/1大竹市・廿日市市教育研究会中学校部会/廿日市市立大野東中学校）
- ・出張講座「『ブリュゲル展 画家一族 150年の系譜』を楽しむ」（11/21広島県立美術館講堂）

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

地域美術研究・作品調査：小林和作(7/4)、福井芳郎(9/4)、北川実(11/25)、佐々田憲一郎(11/30)、南薫造(3/13)、岡部繁夫(3/23)

【館内出版物への執筆・発表】

- ・「資料紹介：南薫造の1930（昭和5）年の台湾日記と関連作品」『広島県立美術館研究紀要』第22号

4 社会貢献活動・所属学会等

- ・全国美術館会議 地域美術研究部会（5/18第8回部会、11/15-11/16第9回部会出席、12/12幹事会出席。報告文執筆：第8回・第9回会合報告（全美ホームページ）、部会報告（『ZENBI』15号））
- ・公益社団法人青少年育成広島県民会議・図画審査（10/10）

■神内 有理

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～」（主担当）
- ・特別展「第7回ジュニア美術展」（副担当）
- ・特別展「第65回日本伝統工芸展」（副担当）
- ・特別展「入城400年記念 広島浅野家の至宝－よみがえる大名文化」（次年度・副担当）
- ・所蔵作品展（統括）
- ・所蔵作品展1期（3室、日本画担当）、2期（彫刻展示スペース、1室、2室担当）

【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展1期 リレートーク（5/25）
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー（6/9、8/4、3/16）
- ・所蔵作品展3期 学芸員による連続講座①「広島県立美術館の50年」（10/6）
- ・牛田小学校公開研究授業（1/17）

【研修・自己啓発】

- ・国宝・重要文化財防災・防犯対策研修会（6/21）（文化庁）

【広報活動】

- 「ジブリの大博覧会」
- ・『中国新聞』「ジブリの大博覧会」に寄せて（8/28）
 - ・『月刊経済春秋』「美術館あれこれ」（2018年7月号）
 - ・『色絵馬』（広島県立美術館友の会会報）no.84（7/10発行）
 - ・広島テレビ『ジブリの大博覧会がやってくる』（8/19）
 - ・広島テレビ『テレビ派 今イコ!』（8/27）
 - ・エフエムはつかいち 出演（8/7）

- ・エフエムおのみち『You Gotta Radio』（8/7）
- ・山陰放送ラジオ 出演（8/30）
「秋の所蔵作品展 開館50周年記念 広島県立美術館名品セレクション」
- ・『月刊経済春秋』「美術館あれこれ」：2018年9月号
- ・広島テレビ『テレビ派 メイドイン広島』「50周年特集」（11/22）

2 美術館外での業務等

- ・広島県立図書館資料展示「広島県立美術館の50年」（9/4 - 10/28）企画・展示補助

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・「浅野家の至宝展」（次年度）に関する調査：9/4（厳島神社）、11/21（東京文化財研究所）、12/9-10（東京文化財研究所・東京国立博物館資料館）、1/14-15（国会図書館）
- ・その他の調査：6/8（広島県庁）、11/22（毎日新聞社）

【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド④和高節二』編集・原稿執筆（7月発行）
- ・「所蔵作品紹介：橋本関雪」『色絵馬』第86号（1月発行）

【館外出版物への執筆】

- ・「地域社会と博物館」『博物館の歴史・理論・実践3—挑戦する博物館』（京都造形芸術大学・東北芸術工科大学出版局、2018年）
- ・「CLOSE UP 笹岡啓子—かけがえのない「死」を凝視する」、「WORKS栗根仁志」、「WORKS五十嵐智美」『美術ひろしま』（広島市文化財団、2018年）
- ・「浮世の画家—「没後50年 藤田嗣治展」を見て」『視る』no.499（京都国立近代美術館、2018年）
- ・「広島展報告」『日本工芸会中国支部会報』第24号（2018年12月）

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・京都国立近代美術館企画審査委員：11/16、3/11
- ・京都造形芸術大学通信教育部非常勤講師（博物館生涯学習概論担当）
- ・平成30年度広島県広報コンクール審査員：1/22
- ・紺綬褒章価格評価（西山柳平氏の寄附に係る評価）

■山下 寿水

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち」（主担当）
- ・特別展「第7回ジュニア美術展」（主担当）
- ・特別展「第6回新県美展（第70回広島県美術展）」（副担当）
- ・特別展「ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～」（副担当）
- ・特別展「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」（次年度・主担当）
- ・所蔵作品展2期、4期（1室、西洋美術担当）

【教育支援(教育普及)】

- ・予算要求、決算事務の調整に関すること
- ・美術図書の収集と整備に関すること
- ・美術館友の会の育成・支援に関すること
- ・「パリジェンヌ展」ギャラリートーク（一般向け）（4/20、4/27、5/11、5/18、6/1、6/8）
- ・「パリジェンヌ展」ギャラリートーク（団体向け）（4/20、5/15、5/18、5/19、6/3、6/6）

- ・「パリジェンヌ展」美術講座「パリジェンヌ展補遺：狂乱の時代—20年代のパリ」（5/27）
- ・所蔵作品展3期 学芸員による連続講座③「激動する美術—戦間期のドイツ・フランスを中心に」（10/27）
- ・所蔵作品展4期 リレートーク（3/8）
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー（6/9、12/1）

【広報活動】

- ・「パリジェンヌ展」テレビ・ラジオ出演（3/31、4/11、4/12、4/26）
- ・「パリジェンヌ展」寄稿（中国新聞）（5/1、5/24）

2 調査研究活動

【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑥マン・レイ 喜び、遊び、愉しむ。』編集・原稿執筆（1月発行）

【館外出版物への執筆】

- ・「作品紹介 フランシス・ピカビア」『広島県立美術館友の会会報』84号
- ・展覧会図録『印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション』（毎日新聞社、2018）作品解説13点執筆、年表作成
- ・「WORKS小西紀行」、「WORKS藤岡亜弥」『美術ひろしま』（広島市文化財団、2018）

3 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会 委員
- ・日本展示学会
- ・平成30年度（第19回）広島県献血推進ポスター 審査員（事前審査および6/28審査）
- ・広島グリーンアリーナ☆イルミネーション&写真コンテスト審査員（1/18審査）

■隅川 明宏

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」（副担当）
- ・特別展「入城400年記念 広島浅野家の至宝—よみがえる大名文化」（次年度・主担当）
- ・所蔵作品展4期（3室、日本画担当）

【教育支援(教育普及)】

- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー（12/1）
- ・所蔵作品展3期 学芸員による連続講座⑥「広島の絵画と京・江戸」（12/2）
- ・所蔵作品展4期リレートーク（3/8）
- ・美術作品鑑賞授業 補助（10/17、10/24、11/12）

【研修・自己啓発】

- ・文書管理・情報公開・個人情報保護に係る研修会（5/17広島県庁）
- ・平成30年度広島県美術館ネットワーク 研修会「IT・SNSを利用した美術館における新しい広報戦略について」（6/8ひろしま美術館）
- ・文化庁文化財部美術学芸課 第11回指定文化財（美術工芸品）企画展示セミナー 初年度（6/25-29東京国立博物館）
- ・広島県環境県民局 人権問題職場研修会「LGBTって何？ 性の多様性について考える」（10/10広島県庁）
- ・「」 人権問題職場研修会「同和問題について」（1/29広島県庁）

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・頼山陽史跡資料館 連続講座「近世絵画への招待」全5回のうち第1回「近世絵画の潮流—南蘋派をめぐって—」

- (6/16)、第2回「広島藩の絵師—岡岷山とその周辺—」(7/14)
- ・出張講座「名勝縮景園の歴史と美意識」(7/5、9/13、10/10、10/18、11/19)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島近世・近代美術に関する調査研究
- ・広島藩主浅野家伝来の美術品に関する調査研究

【館外出版物への執筆】

- ・作品紹介「広島に息づく近世の名品 第19回 東洋『十六羅漢図』—不易流行、個性派画家の青春時代」『Grandeひろしま』VOL.22、平成30年9月

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会

■ 岡地 智子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～」(副担当)
- ・特別展「第65回日本伝統工芸展」(主担当)
- ・特別展「入城400年記念 広島浅野家の至宝—よみがえる大名文化」(次年度・副担当)
- ・所蔵作品展3期(4室、工芸担当)、4期(彫刻展示スペース、工芸担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(8/4、12/1、3/16)
- ・所蔵作品展2期 ワークショップ「中央アジアの刺繍をしてみよう！」(7/27、8/31)
- ・所蔵作品展4期 リレートーク(3/8)
- ・「日本伝統工芸展」こども鑑賞コース出張授業(アシスタント)(11/30広島市立船越小学校、12/14広島県立高陽東高等学校、1/15三原市立木原小学校、1/18府中町立府中北小学校)
- ・「日本伝統工芸展」ギャラリートーク(2/22、3/1、3/8)
- ・「日本伝統工芸展」スライドトーク「展覧会の『裏側』お見せします！」(3/9)
- ・「日本伝統工芸展」こどもワークショップ「ギャラリートークに挑戦しよう！」(アシスタント)(3/2)

【研修・自己啓発】

- ・前期県初任研修(4/9-13自治総合研修センター、大和ミュージアム)
- ・LAN研修(4/19サテライトキャンパスひろしま)
- ・文書管理・情報公開・個人情報保護に係る研修会(5/16県庁税務庁舎)
- ・日本博物会協会中国支部総会(5/28-29白兔会館)
- ・文化財保存修復学会第40回大会(6/16-17高知市文化プラザかるぼーと)
- ・人権問題職場研修会(10/10、1/29自治会館)
- ・IPMセミナー(10/24九州国立博物館)
- ・後期県初任研修(11/12-15自治総合研修センター)
- ・美術教育シンポジウム「伝統工芸による美育—美術教育の新しい視点—」(11/24MOA美術館)
- ・全国美術館会議保存研究部会第51回会合(11/28-29金沢21世紀美術館)
- ・EVRI定例セミナー「つくり手の言葉から工芸を考える」(2/1広島大学)

【広報活動】

「日本伝統工芸展」

- ・朝日新聞 県内入選作品解説記事①金城一国斎(2/23)、②平恵子(2/24)、⑤部谷きよみ(3/2)、⑥今田拓志(3/3)、⑧宇田勢津子(3/8)、⑨小林松斎(3/9)

- ・『ビジネス朝日』（2019年2月号）
- ・「美術館あれこれ」『経済春秋』（2019年3月号）
- ・『広島交響楽団第387回定期演奏会 プログラム』
- ・NHK広島『お好みワイドひろしま』（2/22）
- ・広島ホームテレビ「大ちゃんのぶちトク中継」『みみよりライブ 5up!』（3/4）
- ・ラジオ第1/中国地方「コイしごと」『ひろしまコイらじ』（2/13）
- ・エフエムおのみち「よっちゃんの玉手箱」『You Gotta Radio』（2/27）

2 美術館外での業務等

- ・出張講座「第65回日本伝統工芸展を楽しむ」（1/17廿日市市平良市民センター）

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・県内作家調査：馬船宏明（5/18）、小林松斎（5/21）、栗根昭二郎（5/23）、木村芳郎（5/24）、金城一国斎（11/16）、平恵子（12/5）、栗根仁志（1/31）
- ・「日本伝統工芸展」に関する調査（11/21岡山県立美術館）
- ・「浅野展」（次年度）に関する調査（11/27熊本県立美術館、12/4野村美術館）

【館内出版物への執筆】

- ・『広島県立美術館所蔵作品ミニガイド⑤中央アジアの工芸』年表の作成（7月）
- ・『第65回日本伝統工芸展こどもガイド 工芸技法キャラクター図鑑』編集・原稿執筆（2月）

【館外出版物への執筆・発表】

- ・「日本の名品（河井寛次郎《飛躍成就花陶板》解説）」『中国化薬社内報ふれあい』No.76

4 社会貢献活動・所属学会等

- ・全国美術館会議 保存研究部会
- ・文化財保存修復学会

■森 万由子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」（主担当）
- ・特別展「第6回新県美展（第70回広島県美術展）」（副担当）
- ・特別展「ブリューゲル展 画家一族 150年の系譜」（副担当）
- ・特別展「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」（次年度・副担当）
- ・所蔵作品展1期、3期（1室、西洋美術担当）

【教育支援(教育普及)】

- ・美術作品鑑賞授業(10/17廿日市市立佐伯中学校、10/24広島県立庄原実業高等学校、11/12広島市立湯来西小学校)
- ・「ブリューゲル展」ギャラリートーク(団体向け)(10/29、12/14、12/16)
- ・「サヴィニャック展」ギャラリートーク(一般向け)(1/11、1/18、1/25、2/1、2/8)
- ・「サヴィニャック展」ギャラリートーク(団体向け)(1/27、2/2)
- ・「サヴィニャック展」美術講座「ポスターの街・パリとサヴィニャック」(2/3)
- ・「サヴィニャック展」ワークショップ「自分を伝えるロゴタイプを作ろう」(アシスタント)(1/27)
- ・所蔵作品展1期 リレートーク(5/25)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(8/4、3/16)

【研修・自己啓発】

- ・平成30年度広島県美術館ネットワーク研修会(6/8ひろしま美術館)
- ・平成30年度文化庁「大学における文化芸術推進支援事業」学芸員技術研修会(著作権)(2/25熊本市現代美術館)

【広報活動】

「サヴィニャック展」

- ・読売新聞「サヴィニャック展から（上・中・下）」（1/13、15、16）
- ・「美術館あれこれ」『経済春秋』（2019年1月号）
- ・広島ホームテレビ『みみよりライブ 5up!』（1/8）
- ・RCCラジオ『RCC PLAY! RADIO』（12/30）
- ・FMふくやま『レディオBINGO おはようときめきタイム』（1/1）
- ・FMはつかいち『いきいきFactory』（1/10）
- ・RCCラジオ『本名正憲のおはようラジオ』（1/14）
- ・エフエムおのみち『You Gatta Radio』（1/15）
- ・RCCラジオ『おひルーム』（1/18）

2 美術館外での業務等

- ・スライドトーク「ポスターの街・パリとサヴィニャック」（1/20エディオン蔦屋家電）

3 調査研究活動

【館外出版物への執筆・発表】

- ・「モーリス・ドニ作 パレ・デ・ナシオン壁画《平和の勝利》をめぐって」平成30年度 第5回美学会東部会例会 研究発表（3/9早稲田大学）
- ・「所蔵作品紹介 ライオネル・ファイニンガー」『広島県立美術館友の会会報』83号
- ・展覧会図録『印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション』（毎日新聞社、2018年）作品解説6点執筆

4 社会貢献活動・所属学会等

- ・日仏美術学会
- ・美学会

Ⅵ 入館者数一覧

展覧会名	所蔵作品展	特 別 展					
		ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち	第6回新県美展 (第70回広島美術展)	ジブリの大博覧会 ～ナウシカから マーニーまで～	プリューゲル展 画家一族 150年の系譜	第7回広島県 ジュニア美術展	
開催期日	H30. 4. 1 ～ H31. 3. 31	H30. 4. 11 ～ H30. 6. 10	H30. 6. 23 ～ H30. 7. 8	H30. 7. 21 ～ H30. 9. 24	H30. 10. 8 ～ H30. 12. 16	H30. 12. 15 ～ H30. 12. 24	
開催日数	338 日	61 日	16 日	66 日	70 日	10 日	
個人	一般	1,970	6,259	2,242	101,146	7,269	—
	高・大学生	177	263	92	11,408	285	—
	小・中学生	—	208	89	24,214	187	—
	小計	2,147	6,730	2,423	136,768	7,741	—
団体	一般	3,859	8,959	530	87,972	9,187	—
	高・大学生	620	328	35	5,875	385	—
	小・中学生	—	100	13	16,619	351	—
	小計	4,479	9,387	578	110,466	9,923	—
有料入館者数	6,626	16,117	3,001	247,234	17,664	—	
招待者等	71,226	4,637	2,051	48,455	4,602	4,804	
合計 (観覧者総数)	77,852	20,754	5,052	295,689	22,266	4,804	
一日あたり 観覧者数	230	340	316	4,480	318	480	

(注) 「1日あたり観覧者数」は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展の団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第6回新県美展(第70回広島美術展)」、「第7回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「第65回日本伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。

展 覧 会 名		特 別 展			合 計	総 計
		サヴィニヤック展 パリにかけた ポスターの魔法	第65回日本伝統 工芸展			
開 催 期 日		H31. 1. 5 ～ H31. 2. 11	H31. 2. 21 ～ H31. 3. 10			
開 催 日 数		38 日	18 日	279 日	617 日	
個 人	一 般	5,312	4,226	126,454	128,424	
	高・大学生	357	131	12,536	12,713	
	小・中学生	337	—	25,035	25,035	
	小 計	6,006	4,357	164,025	166,172	
団 体	一 般	6,993	4,053	117,694	121,553	
	高・大学生	296	40	6,959	7,579	
	小・中学生	494	—	17,577	17,577	
	小 計	7,783	4,093	142,230	146,709	
有料入館者数		13,789	8,450	306,255	312,881	
招 待 者 等		4,321	2,204	71,074	142,300	
合 計 (観 覧 者 総 数)		18,110	10,654	377,329	455,181	
一 日 あ た り 観 覧 者 数		477	592	1,352	738	

Ⅶ 美術品等収集状況

1 分野別収集美術品数一覧

(平成31年3月31日現在)

種 目		一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	238 (3)	3	347 (3)	12
	油 彩 画	230	62	292	528 (2)	4	824 (2)	211
	水 彩 画	89	4	93	217	0	310	1
	素 描	44	20	64	297 (3)	0	361 (3)	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	349 (17)	0	582 (17)	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	2	0	61	0
彫 塑	8	23	31	70	0	101	6	
工 芸	112	1,184	1,296	310 (3)	4	1,610 (3)	6 (1-0)	
書	5	0	5	93	1	99	0	
美 術 資 料	2	2	4	672 (3)	0	676 (3)	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,833 (31)	12	5,055 (31)	258 (1-0)	

※()内は30年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

2 収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
1	版画	朝井 清	女性像	1925(大正14)	9.8×12.9	木版・紙	寄附
2	版画	朝井 清	女性像	1925(大正14)	9.8×12.9	木版・紙	寄附
3	版画	朝井 清	木陰	1925(大正14)	7.1×8.2	木版・紙	寄附
4	版画	朝井 清	死	1927(昭和2)	16.0×23.0	木版・紙	寄附
5	版画	朝井 清	人物のいる風景	1927(昭和2)	10.8×14.3	木版・紙	寄附
6	版画	朝井 清	真夏	1928(昭和3)	24.0×33.0	木版・紙	寄附
7	版画	朝井 清	インコ	1930(昭和5)	17.2×24.5	木版・紙	寄附
8	版画	朝井 清	婦農	1932(昭和7)	20.0×33.0	木版・紙	寄附
9	版画	朝井 清	二河峡	1936(昭和11)	15.9×23.0	木版・紙	寄附
10	版画	朝井 清	広島の夕焼(サインあり)	1945(昭和20)	36.6×49.5	リノカット・紙	寄附
11	版画	朝井 清	広島の夕焼(サインなし)	1945(昭和20)	32.8×46.8	リノカット・紙	寄附
12	版画	朝井 清	鴨	1930(昭和5)頃	25.0×35.0	木版・紙	寄附
13	版画	朝井 清	開梱地		30.0×31.5	木版・紙	寄附
14	版画	朝井 清	茄		55.0×35.2	木版・紙	寄附
15	版画	朝井 清	蜥蜴	1946(昭和21)頃	6.7×10.5	木版・紙	寄附
16	版画	朝井 清	カフェー		12.5×8.4	木版・紙	寄附
17	版画	朝井 清	水辺の裸婦		10.5×10.7	木版・紙	寄附
18	素描	朝井 清	沖縄の女性	1946(昭和21)頃	21.5×17.8	墨・紙	寄附
19	素描	朝井 清	祇園祭	1954(昭和29)頃	36.3×26.5	フェルトペン・紙	寄附
20	絵画資料	朝井 清	瀬戸内海	1946(昭和21)頃	21.5×16.1	木版・紙	寄附
21	油彩画	小林和作	室戸岬		37.9×45.9	油彩・画布	寄附
22	素描	小林和作	黒部宇奈月		36.4×54.5	鉛筆・水彩・紙	寄附
23	日本画	小林和作	都井岬の海	1956(昭和31)	99.6×51.6	彩色・絹本	寄附
24	油彩画	若山為三	裸婦	昭和初年代頃	39.7×30.9	油彩・板	寄附
25	絵画資料	狩野探信守道	免許状(山野峻峯斎宛)	1826(文政9)	33.2×40.9	紙本墨書・軸装	寄附
26	日本画	山野旭峯斎義嗣	山野峻峯斎像	1854(嘉永7)	41.2×25.8	絹本彩色・軸装	寄附
27	日本画	山野旭峯斎義嗣	勿来関図	19世紀(江戸)	119.8×48.8	絹本彩色・軸装	寄附
28	絵画資料	山野家伝来	絵具箱	19世紀(江戸)	高34.3×巾20.3×奥33.2		寄附
29	陶磁	木村芳郎	碧釉稜壺	1991(平成3)	径38.5, 高37.5	半磁器	寄附
30	陶磁	木村芳郎	碧釉 水稜器	1995(平成7)	径25.8, 高64.0	半磁器	寄附
31	七宝	栗根昭二郎	銀箔地七宝蓋物	2000(平成12)	径23.5, 高8.5	銅・銀箔・銀線	寄附
32	人形	奥田小由女	天かける賛歌	1989(平成元)	193.0×1245.0	木芯粉桐塑彩色	受託

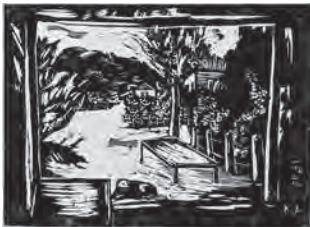
3 新規収集美術品より

朝井 清の版画作品と素描

朝井 清(あさい きよし 明治34年-昭和43年 1901-1968)は、呉市出身。呉海軍工廠に勤めながら独学で版画を習得。昭和4年に帝展へ初入選したのを皮切りに昭和13年には日本版画協会展で特賞を受賞して会員になるなど、版画家としての地歩を順調に固める。その後も昭和16年には新興美術協会展で受賞して同会々員になったほか、戦後は昭和27年に東光会々員、昭和35年には日版会の創立委員となって日本版画界の牽引役としても活躍した。広島県内に於いては広島大学で教鞭をとるなど、版画を軸に美術教育にも貢献した。

戦後、一気に色彩豊かになり花開いた感のある朝井の作風だが、その作風は突然出来上がったものではないことを示すうえで重要な作品群である。これらの作品の中で異彩を放つ「広島の夕焼け」は、昭和20年8月、被爆直後の広島で、行方不明の姉を探しまわった日の記憶をもとに制作された作品だが、昭和20年の日本版画協会展に出品され、GHQのプレスコードにも怯まず被爆地の情景を発表した気骨に賛嘆の声が寄せられたという*。同じ作品がフランク・シャーマン・コレクションに収蔵されており、シャーマンは後のインタビューで、この展覧会で作品を目にした際、作品そのものも気に入ったがプレスコードを恐れず作品を発表したガッツに感銘を受け、恩地幸四郎に仲立ちを頼んで入手したと語っている。終戦直後から占領終結まで、プレスコードが作家に与えた影響については多くの指摘がなされているが、いまだ不明瞭な点も多く、そうした視点からも重要な作品である。

*発表された展覧会については別の展覧会であった可能性が指摘されている。



006 朝井清《真夏》



008 朝井清《帰農》



010 朝井清《広島の夕焼け》サインあり



017 朝井清《水辺の裸婦》



018 朝井清《祇園祭》



019 朝井清《沖縄にて》



020 朝井清《瀬戸内海》

小林 和作 《室戸岬》《黒部宇奈月》《都井岬の海》

小林 和作(こばやし わさく 明治21年-昭和49年 1888-1974)は、山口県吉敷郡秋穂町出身。はじめ京都で日本画を学び、初期文展でも活躍するが、大正半ばに洋画に転向。昭和9年に尾道に転居し、以後独立展に出品を続けながら広島洋画界の振興や発展に尽くした。日本各地に取材した風景を、豊麗な色彩と堅牢な構図で描いた油彩画で知られる一方、「霞村」と号した画業初期や、洋画材の不足により戦中期頃から再び手がけた「瘡樹」時代の作品など、日本画の仕事も残している。

《室戸岬》は作品背面の画布に直接「室戸岬」「小林和作」と小さく書き込まれている。和作は室戸岬を何度も訪れており、写生地を根拠に制作年を特定することは難しいが、ナイフによる大ぶりの色置きと、それによる濁りの抑制からは、晩年の作である可能性が高い。小品ながら和作らしさが良く出た作品である。

《黒部宇奈月》も作品の背面には作品を手放す際に書かれたと思われる「黒部宇奈月 小林和作」という小さな墨書銘が入っている。この銘から富山県の宇奈月温泉周辺を描いたものと判る。宇奈月は黒部溪谷の入り口にあたる温泉町だが、和作は黒部ダム周辺を気に入り何度も訪れているため何年の旅行による作品か、足取りから制作時期を特定することはできない。しかし、大きさもあり、明るい画面を保ちながらしっかりと描き込まれた画面は、筆力が高く、和作らしさが見てとれる佳品といえる。

都井岬は、宮崎県の最南部・串間市にある太平洋に面した岬で、沿岸部には変化に富んだ島々や岩礁が点在し、日南海岸国定公園の中でも風光明媚な景勝地として知られる。作者は、1954年と翌年のそれぞれ春に宮崎・鹿児島海岸地方を訪れており、《都井岬の海》はこれらの写生旅行から生まれたと考えられる。爽やかな色彩が季節感を伝えるとともに、簡略化された岩肌や海面の表現などに見る大らかで力強い描写は、作者の画風の特徴をよく示している。制作後間もなく、作者から現所蔵者の祖父に渡った作品である。

若山 為三 《裸婦》

若山 為三(わかやま ためぞう 明治26年-昭和36年 1893-1961)は、広島市出身で大正末期にフランスに留学、帰国後は奈良や東京を拠点に活動した。留学中から写実表現に立脚した堅実な手法を用いて制作し、帰国後はより力強い表現による人物像などを描いて主に春陽会で活躍した。また、奈良では志賀直哉の知遇を得、後に奈良から東京へ移住した志賀の招きに応じて、若山も東京に転居するなど、親交の深い間柄であったことも知られている。

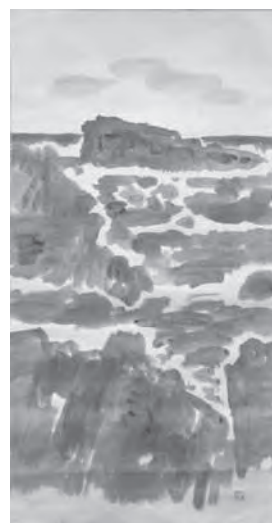
《裸婦》は、所蔵者の母が作者と遠戚関係にあったことから、



021 小林和作《室戸岬》



022 小林和作《黒部宇奈月》



023 小林和作《都井岬の海》



024 若山為三《裸婦》

戦前期から広島市内の所蔵者宅にあったもので、疎開により戦災を免れた。小品ではあるが、背景の処理なども手慣れており、量感表現への意識が感じられる人物描写や陰影表現に画風の特徴が認められる。ヨーロッパから帰国後、奈良を拠点に活動した時期の作と考えられる。

山野旭峯齋義嗣 《山野峻峯齋像》《勿来関図》

山野旭峯齋義嗣(やまの きょくほうさいよしつぐ 生没年未詳)は、広島藩の絵師・山野峻峯齋守嗣の子。諱は義嗣か。通称を啓内、号を峻齋、旭峯齋、勝秀とする。広島藩の御居間坊主、御茶道方として召し抱えられ、絵師として活動した。主な作品には、巖島神社への奉納絵馬がある。経歴は詳らかでないが、父・峻峯齋に学んだ後、狩野勝川院雅信(1823-1879、木挽町狩野家10代)に入門したとされる。

《山野峻峯齋像》は山野家に伝来した山野峻峯齋の遺像で、着賛の金子霜山(1789-1865)は広島藩儒である。

《勿来関図》は源義家の故事を描く。勿来関は常陸と陸奥の境界にあったと考えられる。寛治元(1087)年、後三年の役を終えて帰路に就いた義家は、「吹く風を なこそその関と 思へども 道もせにちる 山桜かな」(千載和歌集)と詠んだ。この歌意にちなんで、たびたび絵画化されたのが「勿来関図」である。本作品は、関を越えた義家が背に散る桜を振りかえる構図や、義家を(甲冑姿ではなく)萎烏帽子に直垂・行膝(むかばき)という狩装束姿に描く点など、江戸時代後期の狩野派様式に連なる特色を有している。また、暈しを加えた繊細な顔貌表現にも優れている。



026 山野旭峯齋
《山野峻峯齋像 金子霜山賛》



027 山野旭峯齋《勿来関図》

木村 芳郎《碧釉 稜壺》《碧釉 水稜器》

木村 芳郎(きむら よしろう 昭和21年 1946-)は、愛媛県生まれ。岡山商科大学の茶道部時代、茶道具を自作したのがきっかけで陶芸の道へ進む。卒業後、1972年よりロシア、ヨーロッパ、アメリカ大陸など世界47カ国を歴訪し、1973年、伊豆蔵寿郎に師事。1975年、東広島に「太祖窯」を開き、本格的に制作を開始すると、1976年の第23回日本伝統工芸展に初入選、1984年の第31回展で日本工芸会奨励賞受賞する。90年代以降は欧米を中心に海外の公募展へ積極的に出品、入選を重ねる。独特の青い釉薬「碧釉」を施した作品を一貫して発表している。

《碧釉 稜壺》は、轆轤で立ち上げた後、腰から口へ大きく渦を巻くように斜めに面取りした器形で、藁刷毛を使ったゴム抜きにより肩から胴にかけて刷毛目文を施す。4種の青い釉薬を全面にかけ、微妙な階調を伴う。内側を底面から口に向かって粗めの布で勢いよく拭うことにより口縁が歪み、形に面白さを与えている。

《碧釉 水稜器》は、三角形の3辺を膨らませ、やや歪ませたような形の底面から、高く引き上げられた花入で、底面から口まで伸びる三本の稜線が美しく、有機的な運動感がある作品である。同様に4種の青い釉薬を全面にかけ、下から上へ向かって濃から淡へとグラデーションをなす。いずれも1999(平成11)年に式年遷宮記念神宮美術館(三重)で開催された「青の表現－歌会始御題にちなみ－」展に招待出品された作品である。



029 木村芳郎《稜壺》



030 木村芳郎《水稜器》

栗根 昭二郎《銀箔地七宝蓋物》

栗根 昭二郎(あわね しょうじろう 昭和2年 1927-)は、広島県三原市生まれ。1965年より全国の工房を見て回るとともに、独学で七宝制作を始める。1977年に第24回日本伝統工芸展初入選、1984年に日本工芸会正会員となる。西日本における七宝焼の先駆者で、中国地方に後進を育ててきた。2001(平成13)年には広島県の依頼により皇太子殿下、妃殿下に七宝菓子器「安芸」を献上している。その高い技術から文化庁の要請を受け、明治初期に絶えた泥七宝の技法をよみがえらせた。

《銀箔地七宝蓋物》は厳島神社をモチーフに、一見花のようにもみえる紅葉を散らしたデザイン性の高い作品である。難度の高い「焼き仕上げ」を採用し、表面の細かな気泡を消している。覆輪には純銀を使用。2000(平成12)年の第43回日本伝統工芸中国支部展において最高賞である金重陶陽賞を受賞した作品である。



031 栗根昭二郎《銀箔地七宝蓋物「安芸」》

Ⅷ 美術品等の貸出し

平成29年度年報に下記の記載漏れがありました。お詫びして掲載いたします。

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
油彩画	エーリック ヒ・ヘッケル	木彫りのある静物	宮城県美術館 パナソニック汐留 ミュージアム	ルオーのまなざし—表現 への情熱(宮城展) 表現への情熱—カンディ ンスキー、ルオーと色の 冒険者たち(東京展)	29.08.12～10.09(宮城県美術館) 29.10.17～12.20 (パナソニック汐留ミュージアム)
日本画	平田玉蘊ほ か	諸家書画帖	奥田元宋・小由女 美術館	平田玉蘊の美の交遊	30.03.01～04.11 (奥田元宋・小由女美術館)
油彩画	長谷川利行	田端変電所	福島県立美術館 府中市美術館 碧南市藤井達吉現代 美術館	長谷川利行展	30.03.24～04.22(福島県立美術館) 30.05.19～07.08(府中市美術館) 30.07.21～09.09(碧南市藤井達吉現 代美術館)

(以下、平成30年度分)

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
油彩画	南 薫造	日の出	香川県立東山魁夷 せとうち美術館	瀬戸大橋開通30周年 せとうち気分・多島海を 描く	30.04.14～05.27 (香川県立東山魁夷せとうち美 術館)
版 画	吉田 博	瀬戸内海集「帆船朝」			
	吉田 博	瀬戸内海集「帆船午前」			
	吉田 博	瀬戸内海集「帆船午後」			
	吉田 博	瀬戸内海集「帆船霧」			
	吉田 博	瀬戸内海集「帆船夕」			
	吉田 博	瀬戸内海集「帆船夜」			
書	貝原 司研	故「貝」より	玄曠書道会	第55回現代総合書展	30.04.26～04.29 (広島県民文化センター)
日本画	児玉 希望	暮春	奥田元宋・小由女美 術館	生誕120年 児玉希望展	30.04.27～06.17 (奥田元宋・小由女美術館)
	児玉 希望	山とよむ			30.07.13～08.26 (富山県水墨美術館)
	児玉 希望	黎明	茨城県天心記念五浦 美術館		30.10.13～11.25 (茨城県天心記念五浦美術館)
	児玉 希望	荊軻			
	児玉 希望	景清			
	児玉 希望	室内			
	児玉 希望	春のバンガロー			
	児玉 希望	烟雨			
	児玉 希望	氷川			
	児玉 希望	浦町の雑園			
	児玉 希望	大川端			
	児玉 希望	七面鳥			
	児玉 希望	雨後			
	児玉 希望	松林			
	児玉 希望	モンブラン			
	児玉 希望	鷺			
	児玉 希望	群棲(沼)			
	児玉 希望	梵唄(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	海禾(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	白崖(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	滴律(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	金漾(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	円鎖(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	山			
児玉 希望	吾妻橋				

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
	児玉 希望	亭午			
	児玉 希望	踊			
	児玉 希望	観音			
	児玉 希望	降魔			
	児玉 希望	涅槃			
	児玉 希望	コモ附近トルノ風景			
	児玉 希望	セーヌ下流			
	児玉 希望	フォロ・ロマーノ			
	児玉 希望	バスキ			
	児玉 希望	カンヌ			
	児玉 希望	ルアン			
	児玉 希望	ベニスにて			
	児玉 希望	ジェノバ海岸			
	児玉 希望	バンドールにて			
	児玉 希望	ロンドンタワー			
	児玉 希望	ローマ アピア街道			
	児玉 希望	モレーの寺			
	児玉 希望	ニスにて			
	児玉 希望	霧のセーヌ河畔			
	児玉 希望	マルセイユ			
	児玉 希望	霧のベニスにて			
	児玉 希望	ベネチアの家			
	児玉 希望	ベルリン 歩道の ショーウィンドウ			
	児玉 希望	ノートルダム寺院			
	児玉 希望	アムステルダム 新緑 の家			
油彩画	巖 光	静物	町立久万美術館	町立久万美術館2018年度 自主企画展 開館30周年 記念「久万美 いま 30」	30.09.08~10.31 (町立久万美術館)
日本画	丸木 位里	池	広島市現代美術館	丸木位里・俊展	30.09.08~11.25 (広島市現代美術館)
	丸木 位里	柳暗			
	丸木 位里	牛			
漆 工	音丸 耕堂	堆黒玉簪香盆	高松市美術館	音丸耕堂展—華麗なる彫 漆世界	30.09.15~10.21(高松市美術館)
漆 工	川之辺一朝	金梨地瀧山水蒔絵料紙 文庫	石川県立美術館 そごう美術館 MOA美術館 株式会社NHKプロ モーション	URUSHI 伝統と革新	30.09.15~10.14(石川県立美術館)
	六角 紫水	理想界の図蒔絵手箱			31.01.01~01.27(そごう美術館)
	松田 権六	鷺蒔絵棚			31.03.15~04.16(MOA美術館)
					30.09.15~10.14(石川県立美術館)
油彩画	鶴岡 政男	ライフルマン	千葉市美術館 北九州市立美術館館 静岡県立美術館	1968年—激動の時代の芸 術	30.09.19~11.11(千葉市美術館) 30.12.01~31.1.27 (北九州市立美術館分館) 30.02.10~03.24 (静岡県立美術館)
日本画	甲斐庄楠音	横櫛	笠岡市立竹喬美術館 和歌山県立近代美術 館 新潟県立万代島美術 館	創立100周年記念 国画創 作協会の全貌展	30.09.14~10.21 (笠岡市立竹喬美術館)
	猪原 大華	果樹			30.11.03~12.16 (和歌山県立近代美術館) 30.01.04~02.17 (新潟県立万代島美術館)
油彩画	小林 和作	秋山	尾道市美術館	生誕130年 旅する文人— 小林和作	30.09.22~11.18(尾道市美術館)
	小林 和作	隠岐白鳥			
	小林 和作	山湖の秋			

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
金 工	山本 晃	重金箱「流麗」	山口県立萩美術館・浦上記念館	彫金のわざと美 山本晃の詩想と造形	30.10.02～11.25 (山口県立萩美術館・浦上記念館)
	山本 晃	切嵌象嵌接合せ鉢「青凜」			
	山本 晃	切嵌象嵌接合せ香炉「白鷺」			
	山本 晃	切嵌象嵌接合せ香炉「夕陽」			
漆 工	六角 紫水	銀嵌刀筆天部奏楽の図飾箱	岡山県立美術館	もっと伝統工芸 技と美の出会い(作品の模造)	30.11.09～12.09 (岡山県立美術館)
	六角 紫水	国宝當麻寺蔵 俱利伽羅龍蒔絵経箱(模写)			
	六角 紫水	刀筆文線の行通ひ香盆(双鳥之図丸盆)			
	六角 紫水	線のすさび麒麟文香盆			
	六角 紫水	螺鈿宝石小箱			
	六角 紫水	国宝巖島神社蔵 松喰鶴蒔絵小唐櫃(模写)			
日本画	川合 玉堂	溪村春麓図	笠岡市立竹喬美術館	幸野椋嶺が伝えたこと	30.12.21～31.01.14 (笠岡市立竹喬美術館)
日本画	橋本 雅邦	風神雷神	岡山県立美術館	江戸の奇跡・明治の輝き 一日本絵画の200年	31.03.15～04.21 (岡山県立美術館)
	川端 玉章	ナイアガラ瀑布図			
	横山 大観	井筒			
	菱田 春草	荘重(高土望岳)			
	川合 玉堂	溪村春麓図			

Ⅸ 関係法規

広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成28年10月12日

(設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、広島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上鞆町とする。

(業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設(以下「展示施設」という。)その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

(指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年広島県条例第28号)の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 展示施設等及び駐車場の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関すること。
- (5) 美術館の入館料の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

(開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日に当たる場合を除く。)
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可(以下「利用許可」という。)をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付することができる。

(利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

(展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

(入館料の納付等)

第11条 美術館の展示する美術品等を観覧する者は、別表第一に定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

(利用料金の納付等)

第12条 展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第二及び別表第三に定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

(入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
 - (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
 - (3) 療育手帳の交付を受けている者
 - (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
 - (5) 六十五歳以上の者
 - (6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生
 - (7) 小学校、中学校、高等学校又はこれらに準ずる学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者の引率者
 - (8) 祝日法第二条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
 - (9) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示(以下「特別展」という。)と併せて観覧する者
 - (10) その他知事が別に定める者
- 2 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、特別展に係る入館料を減免することができる。
- (1) 祝日法第二条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
 - (2) 祝日法第二条に規定する文化の日に入館する者
 - (3) ひろしま教育の日を定める条例(平成十三年広島県条例第四十号)第三条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者
 - (4) その他知事が別に定める者

(利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
- (2) 前条第一項第一号から第四号までに掲げる者(以下「身体障害者等」という。)又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
- (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。
- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
- (5) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校の生徒若しくはこれらに準ずる者が利用するとき。

(6) その他教育委員会が別に定める場合

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。

(1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。

(2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

(利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用許可の取消し等)

第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。

(1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。

(2) 第九条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。

(4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。

(5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。

2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

(遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。

(2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。

(3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。

(4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。

(5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。

(6) 指定管理者の指示に従うこと。

(7) その他教育委員会が定める事項

(禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(1) 寄附の募集

(2) 爆発物その他危険物等の持込み

(3) 行商その他これに類する行為

(4) 宣伝その他これに類する行為

(5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

(入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

(原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき(利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。)は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

(損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

(委任規定)

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。

2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事とその徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則(平成19年3月15日条例第21号抄)

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。(平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行)

(経過措置)

- 3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定によってした処分、手続その他の行為であつて、この条例による改正後のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。
- 4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月25日条例第56号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。
(定める日=平成19年12月26日)

附 則(平成22年6月28日条例第31号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年7月11日条例第31号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第23号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月16日条例第三号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月22日条例第7号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年10月12日条例第47号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

別表第1(第12条関係)

1 所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大学生及びこれに準ずる者	1人1回310円	1人1回250円	1人1回250円
その他15歳以上の者 (中学校又は高等学校の生徒 及びこれに準ずる者を除く。)	1人1回510円	1人1回410円	1人1回410円

2 特別展の場合

1人1回 2,090円以内で知事が定める額

別表第2(第12条関係)

展示施設等の利用料金の範囲

利用区分	施設区分	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
		1時間につき	1,750円以内	2,990円以内	2,990円以内	2,990円以内	3,190円以内
入場料有料の場合	1日につき	13,380円以内	23,870円以内	23,870円以内	23,870円以内	25,310円以内	
	1時間につき	930円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,650円以内	2,470円以内
入場料無料の場合	1日につき	6,690円以内	11,940円以内	11,940円以内	11,940円以内	12,660円以内	
	電気設備を利用する場合	実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- 1 この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 2 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 3 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 4 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3(第12条関係)

駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき 1時間まで 1時間を超える時間30分までごとに	410円以内 210円以内

広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)
広島県条例第3号

(設置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)
教育委員規則第1号

最終改正 平成29年3月23日教育委員会規則第1号

(趣 旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

(開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認

める場合は、この限りでない。

- 一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで
- 二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

(展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号又は同条第二項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金(条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

2 条例第十四条第一項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。

3 条例第十四条第一項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。

4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

(利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第二項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

(補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則(平成二九年三月二三日教育委員会規則第一号)抄

(施行期日)

1 この教育委員会規則は、平成二十九年四月一日から施行する。

(広島県美術展開催運営規則の廃止)

2 広島県美術展開催運営規則(昭和五十二年広島県教育委員会規則第二号)は、廃止する。

広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領

最終改正 平成12年2月1日

(設 置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)に広島県立美術館美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(意見の聴取)

第2条 美術館長は、美術品等を収集しようとするときは、当該美術品等の収集及び評価についてあらかじめ委員会の意見を徴するものとする。但し、「文化財保護法」第27条の規定により指定された国宝・重要文化財及び「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第3条の規定により登録された美術品並びに広島県文化財保護条例第3条の規定により指定された広島県重要文化財はこの限りでない。

(委員の構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから美術館長が委嘱する。

- (1) 美術館、博物館、大学、研究所等の職員

- (2) 美術評論家
- (3) その他、館長が適当と認める者
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は再任することができる。

(臨時委員)

第4条 美術館長が審議のため必要と認めた場合は、専門的知識を持つ者を臨時委員に委嘱できる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、委員会の会議を総理する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は(以下「会議」という。)は、必要に応じ美術館長が召集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、美術館において行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成元年7月11日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
 - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
 - (2) 近代の工芸作品
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
 - (3) 近代の彫塑作品
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
 - (4) その他の美術作品
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
 - (5) 美術資料
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
 - (6) 補助的関連資料
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
 - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料
 - (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品
 - (3) 本県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
 - (1) 絵画作品
 - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品

- 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品
- 3) 戦後における国際的評価の高い作家の作品
- (2) 工芸作品
 - 1) 東洋の伝統を受け継ぐわが国の代表的作家又は様式の作品
 - 2) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
 - 3) 近代工芸確立期（1920年代）及び戦後昂揚期（1960年代）の作品
 - 4) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品
 - 1920-1930年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品
 - 1) 欧米作家等の作品
 - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻(立体)作品
 - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
 - (2) “手で見る彫刻”作品
 - (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など
 - 近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など
 - わが国とアジア各国の優れた工芸作品（陶磁、染色、漆芸など）を収集する。
- 3 1920-1930年代(両大戦間)の美術作品など
 - 現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

広島県立美術館美術品等取扱要綱

(趣 旨)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則(昭和39年規則第33号。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定 義)

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

(管 理)

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

(寄 託)

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長(以下「館長」という。)に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者(以下「寄託者」という。)に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等(以下「寄託品」という。)の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

(寄託期間)

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

(一時返還)

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

(返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

(受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

(寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

(寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めるときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

(寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附をしようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄附申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。

(貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

(借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

(貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 貸付けを受けた者(以下「借用者」という。)は、貸し付けを受けた美術品等(以下「借用美術品等」という。)を転貸し、又は貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。
- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

(報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長(以下「局長」という。)に報告しなければならない。

(補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

1 利用形態

① 常設展示室(2階)

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

② 企画展示室(3階)

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体(その機関を含む。)又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について(昭和54年3月29日)」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

③ 県民ギャラリー(地階)

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー(地階)

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

⑤ 図書館(1階)

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

⑥ 情報ギャラリー(1階)

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。

講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

広島県立美術館評価委員会設置要項

(設置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)の業務の実績を評価し改善策を提示するとともに、美術館運営に関して助言を行うため、美術館に広島県立美術館評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、委員8名をもって組織する。

2 委員は、美術館の運営及び事業に関係する分野に見識を有する者のうちから、美術館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年間とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、美術館長は新たに委員を委嘱することができる。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、美術館長が指名する委員をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席を必要とする。

3 委員会は次の事項について審議する。

- (1) 美術館の評価方法に関する事
- (2) 美術館の事業計画の評価に関する事
- (3) 美術館の事業実績の評価に関する事
- (4) その他、美術館運営に関する助言・指導に関する事

4 委員長が必要と認めるときは、会議に必要な経験・知識を有する者を招き、意見を聴取することができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、美術館において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に際し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成23年6月29日から施行する。

X 名 簿

美術品等収集評価委員会

委員長	白石和己	前山梨県立美術館長
委員	井関和代	大阪芸術大学芸術学部教授
〃	島田康寛	前神戸市立小磯記念美術館長
〃	菅村亨	広島大学大学院教育学研究科教授
〃	中林和雄	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館副館長
〃	谷新	前宇都宮美術館長
〃	山梨俊夫	国立国際美術館長

広島県立美術館評価委員会委員

委員長	蓑豊	兵庫県立美術館長
委員	大小田博之	(一社)日本旅行業協会中四国支部長
〃	河野高信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴川敏之	美術家・就実短期大学教授
〃	竹内泰彦	広島県立美術館友の会会長(平成30年7月まで)
〃	佐伯正道	広島県立美術館友の会副会長(平成30年8月から)
〃	永野正雄	(株)テレビ新広島代表取締役相談役
〃	水沢勉	神奈川県立近代美術館長
〃	山下治子	雑誌ミュゼ編集長

職員

館長	千足伸行
プロジェクマネージャー	前田恭正
副館長	山本泰之
総括企画監	横手克尚
総務課長	廣山浩一郎
主幹	高浦雅史
事業調整員	三浦緑
事業調整員	藤井美也子
学芸課長	福田浩子
主任学芸員	角田新
〃	藤崎綾
学芸員	神内有理
〃	山下寿水
〃	隅川明宏
〃	岡地智子
〃	森万由子

平成30年度

広島県立美術館年報

令和2年1月31日発行

発行者 **広島県立美術館**

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22
電話(082)221-6246

印刷所 **株式会社 タカトープ rint メディア**

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-30
電話(082)244-1110

(人名については、敬称略)